# 原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(令和5年度 第1四半期)

福島県

# 目次

第 1	-	測定結果の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9
第2	2	測定項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
第3	3	測定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
第 4	1 – 4	(2) 中性子線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28 29
4	4	4-1-2 空間積算線量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
	4	(2) 集じん中測定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30 31 31 34 37
第 5 5		原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表 - 1 空間放射線	
Ę		(1) ガンマ線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39 42 43 44 47 49 53 54 55 56 57 58 61 62
第6	5	参考資料 - 1 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う	70
第7	7		79
い。 ○U	JR hi きた	ttp://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025c/genan183.html	
<u> </u>	福	語島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集	

# 第1測定結果の概要

福島県が「令和5年度福島県原子力発電所周辺環境放射能等測定基本計画」に基づき、令和5年度第1四半期(令和5年4月~令和5年6月)に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故による影響により、空間線量率については事故前の測定値の範囲を上回り、環境試料については一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っています。しかし、これらは、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

#### 1 空間放射線

- 空間線量率(ガンマ線)について、今期の測定値(月間平均値  $0.042\sim3.730~\mu$  Gy/h)は、事故前の測定値(月間平均値  $0.033\sim0.054~\mu$  Gy/h)を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。
- 空間線量率(中性子線)について、今期の測定値(月間平均値4 nSv/h)は、事故前の県内の測定結果\*1と同程度\*であり、中性子線量率の異常は確認されませんでした。
- 空間積算線量(90 日換算値)については、今期の測定値(0.15~9.9 mGy)は、事故前の測定値(0.10~0.14 mGy)を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

# 2 環境試料の核種濃度

○ 大気浮遊じん、降下物、土壌、海水及び海底土の5品目の試料からセシウム-134及びセシウム-137が検出され、上水の試料からはセシウム-137が検出されました。事故の影響により多くの試料で事故前の測定値を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、令和2年度から前四半期までの測定値(以下「令和2年度以降」という。)とほぼ同程度でした。

土壌の試料からコバルト-60 が検出 (1.6 Bq/kg 乾) されましたが、令和 2 年度以降の測定値 (ND~2.9 Bq/kg 乾) と同程度\*\*でした。

上水の一部(水源は表流水)からセシウム-137が検出(0.017 Bq/L)されています。この値は、 食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値\*である10 Bq/kg(10 Bq/L)を大きく下 回っています。

- 海水の全ベータ放射能を調査した結果、事故前の測定値(ND~0.05 Bq/L)と同程度\*でした。
- 大気中水分、上水及び海水の試料からトリチウムが検出されました。大気中水分のトリチウムの 測定値は、一部の地点で事故前の測定値(ND~23 mBq/m³)を上回りましたが、令和2年度以降の測 定値(ND~70 mBq/m³)と同程度\*でした。上水及び海水のトリチウムの測定値は、事故前の測定値 (上水:ND~1.3 Bq/L、海水:ND~2.9 Bq/L)と同程度\*でした。
- 土壌及び海水の試料からストロンチウム-90が検出されました。土壌及び海水のストロンチウム-90の測定値は、一部の地点で事故前の測定値(土壌: ND~4.3Bq/kg、海水: ND~0.002 Bq/L)を上回りましたが、令和2年度以降の測定値(土壌: ND~55Bq/kg、海水: ND~0.035 Bq/L)と同程度\*でした。

- 土壌の試料からウラン-234 (3.9~25 Bq/kg 乾)、ウラン-235 (0.19~1.2 Bq/kg 乾)、ウラン-238 (3.6~25 Bq/kg 乾)が検出されました。いずれの核種の放射能比も天然ウランの放射能比<sup>※2</sup>と同程度であり、土壌中のウランは天然ウランに由来するものと考えられます。
- 土壌の試料からプルトニウム-238 が検出されました。土壌のプルトニウム-238 の測定値は、事故前の測定値(ND~0.08 Bq/L 乾)と同程度\*\*でした。

土壌、海水及び海底土の試料からプルトニウム-239+240 が検出されました。土壌及び海底土のプルトニウム-239+240 の測定値は、事故前の測定値(土壌: ND~2.6 Bq/kg 乾、海底土: 0.13~0.61 Bq/kg 乾)と同程度\*\*でした。海水の測定値は令和2年度以降の測定値(ND~0.019 mBq/L)と同程度\*\*でした。

※1 環境における中性子線量率の測定結果 (平成 14 年度文部科学省実施): 4.6~14 nSv/h 県内 5 地点(福島市、猪苗代町、西会津町、いわき市)において、サーベイメータ型レムカウン タ(直径 2 インチ 5 気圧 ³He 比例計数管)を使用し、地表面より約 1m の高さで測定。

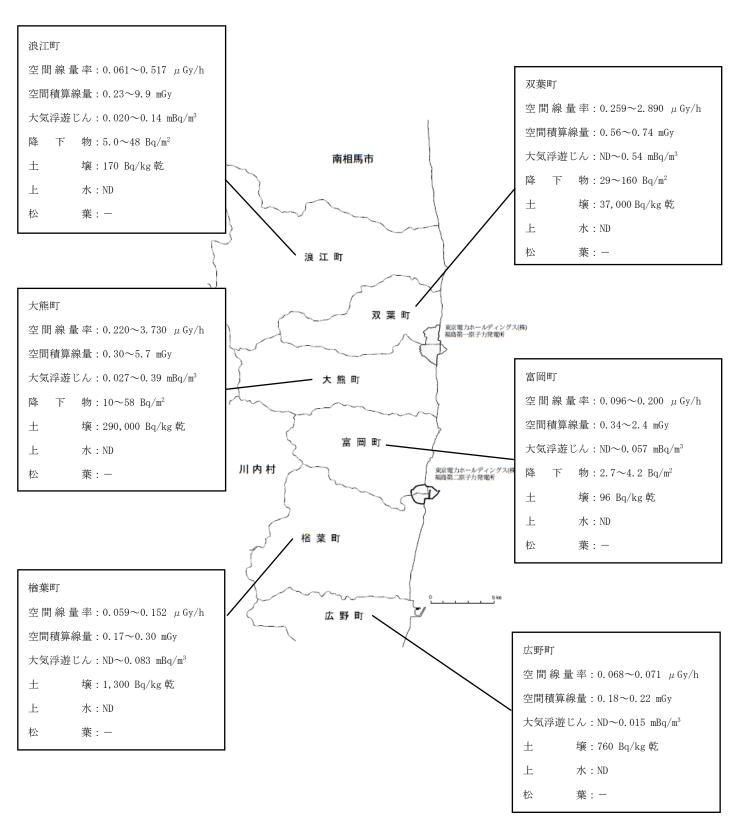
URL:https://www.kankyo-hoshano.go.jp/(環境放射線データベース)

URL:https://www.kankyo-hoshano.go.jp/wp-content/themes/jcac/pdf/ers\_abs45.pdf (「第 45 回環境放射能調査研究成果論文抄録集(平成 14 年度)文部科学省」I-20 環境における中性子線量率の全国調査)

- ※2 天然ウランの放射能比(ウラン-234:ウラン-235:ウラン-238=1:0.047:1)出典:文部科 学省発行 放射能測定法シリーズ No.14 ウラン分析法
  - (注) ※については、用語の解説 (9~11ページ) を参照してください。

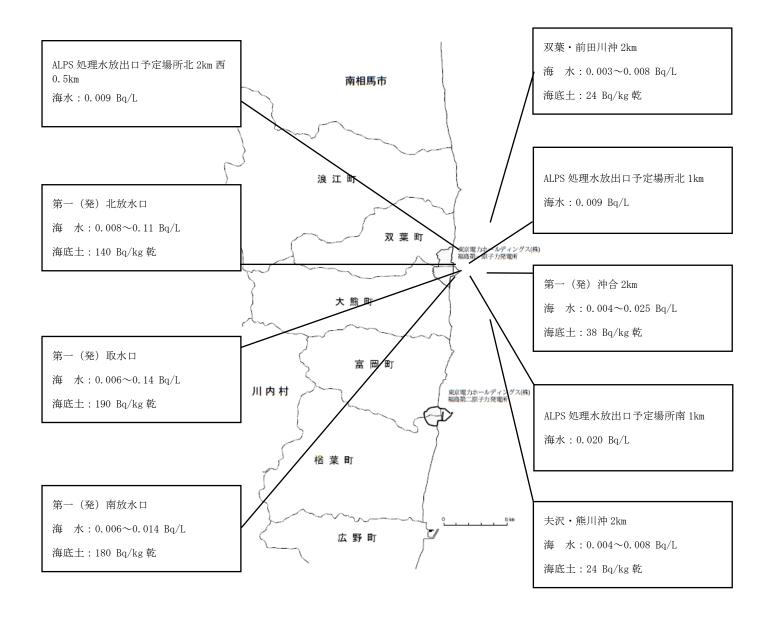
#### 【町別の空間放射線及び環境試料のセシウム-137 濃度】

※ 詳細な地点は p. 14 図 2-1 環境放射能等測定地点及び p. 16 図 2-3 環境試料採取地点を参照してください。

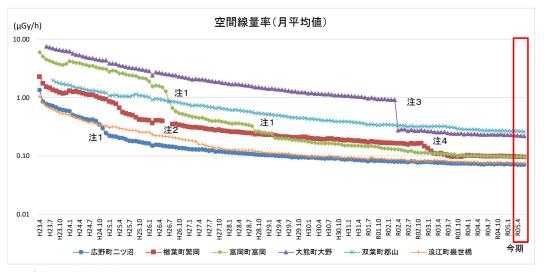


### 【福島第一原子力発電所沿岸海域の海水及び海底土のセシウム-137 濃度】

※ 詳細な地点は p.16 図 2 - 3 環境試料採取地点を参照してください。



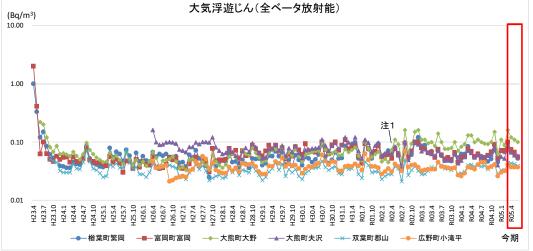
# 事故後の各項目毎のトレンドグラフ



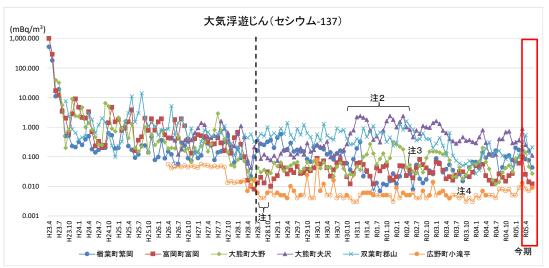
注1:除染による減少、注2:欠測 注3:大熊町大野は令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度より旧大熊町役場敷地内で測定を行っている。 注4:際地において造成工事が行われたことによる低下



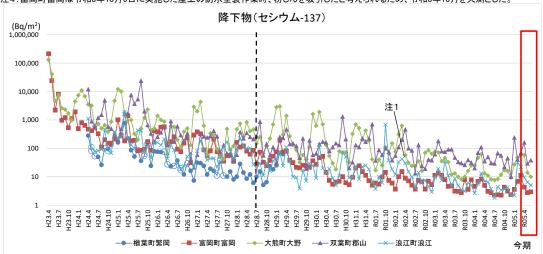
注1:除染による減少 注2:周辺において造成工事が行われたことによる低下



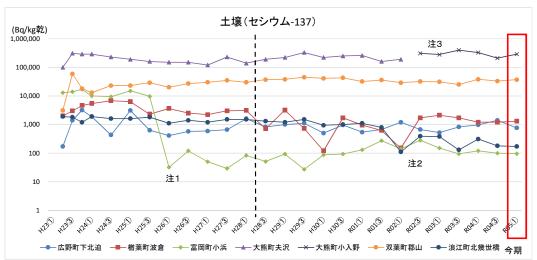
注1:大熊町大野は令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度より旧大熊町役場敷地内で測定を行っている。



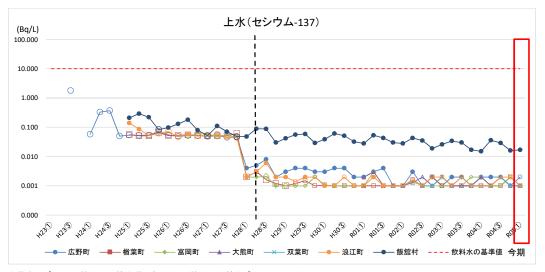
- ・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。 注1: 富岡町富岡は機器不具合のため平成28年7月から10月は参考値
- 注2:大熊町夫沢が平成30年度及び令和元年度の秋期~冬期にかけてセシウム-137濃度が上昇した要因は、土木工事により局舎周辺が裸地化し、風によって微細な土壌粒子が浮遊しやすい環境となり、強風により浮遊した土壌粒子を捕集した影響と考えられる。 注3:測定地点を、福島県旧原子カセンターから大熊町旧役場庁舎に令和2年4月1日から変更した。
- 注4: 富岡町富岡は令和3年10月6日に実施した屋上の防水塗装作業時、粉じんを吸引したと考えられるため、令和3年10月を欠測とした。



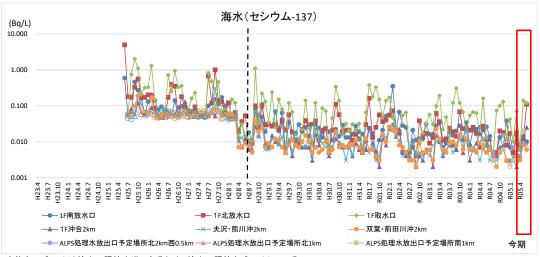
- ・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている
- ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており後出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。 注1:測定地点を、福島県旧原子カセンターから大熊町旧役場庁舎に令和2年4月1日から変更した。



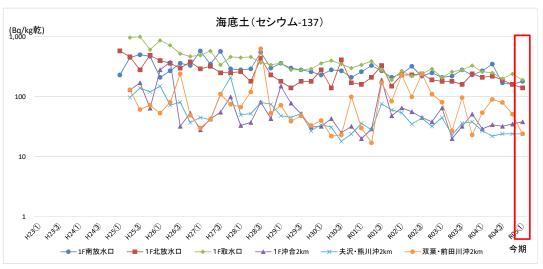
- 事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。 ・今期は測定対象外。
- 注1:除染による減少
- 注2: 浪江町北幾世橋は、従来の採取地が耕作により採取不可能になったため、同地点内で採取地を変更して除染終了後の土壌を採取した。
- 注3:大熊町夫沢は中間貯蔵施設工事により採取不可能となったため、令和2年度第3四半期より大熊町小入野で試料採取を行っている。

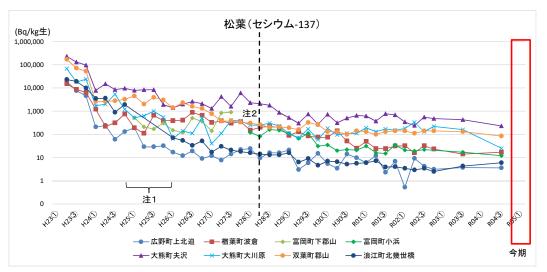


- ・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。



- ・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。





・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。 注1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施 注2: 富岡町下郡山は平成27年度第4四半期以降試料採取が困難となったため、平成28年度より富岡町小浜で試料採取を行っている。





#### 用語の解説

#### 1 同程度

空間線量率の測定値は、測定装置の設置場所周辺の環境変化、測定機器の更新等により変動するため、それぞれの測定地点における測定値が同様の測定を実施しているとみなせる期間の値の範囲内であったとき又はその範囲を下回った場合において、測定器系のトラブルが認められない場合には、同程度とします。空間積算線量、環境試料も同様です。

#### 2 降雨雪による自然放射線レベルの変動

一般に降雨雪時には、空気中に舞い上がっているラドン\*1、トロン\*2及びその子孫核種並びに大気浮遊じん等に含まれる自然の放射性物質が、雨滴等に取り込まれ地表付近に降下し、降り始めの一時期に空間線量率が上昇します。また、降雨雪が多くなると地表の水分による放射線の吸収作用により、大地からの放射線が遮へいされ、空間線量率が低下することがあります。

福島県においては、福島第一原子力発電所事故の影響により、およそ300nGy/h以下の地域では、自然の放射性物質が地表付近に降下するため、一時的に空間線量率が上昇しますが、300nGy/hを超える地域では、自然の放射性物質による上昇に比べ、降雨雪による遮へい効果が大きいため、一時的に低下する傾向が見られます。

- ※1 ラドン 大地に由来するウラン-238 から始まる壊変(ウラン系列)で生成された ラジウム-226 が壊変した放射性の希ガス(ラドン-222)です。
- ※2 トロン 大地に由来するトリウム-232 から始まる壊変(トリウム系列)で生成されたラジウム-224 が壊変した放射性の希ガス(ラドン-220)です。

#### 3 ガンマ線放出核種

原子力発電所からの影響を評価するため、環境試料に含まれるクロム-51、マンガン-54、コバルト-58、鉄-59、コバルト-60、ジルコニウム-95、ニオブ-95、ルテニウム-106<sup>※3</sup>、アンチモン-125、セシウム-134、セシウム-137<sup>※4</sup> 及びセリウム-144 等の核種について、放出されるガンマ線を測定し、定量しています。また、松葉、ほんだわらについては、これらに加えてヨウ素-131 も対象としています。

- ※3 ルテニウム-106 は純ベータ核種であるため、子孫核種であるロジウム-106 のガンマ線を測定し、定量しています。
- ※4 セシウム-137 は純ベータ核種であるため、子孫核種であるバリウム-137m のガンマ線を測定し、定量しています。

#### 4 ベータ線放出核種

環境試料に含まれるベータ線を放出する核種のうち、原子力発電所からの影響を評価するため、トリチウム及びストロンチウム-90 を測定対象としています。

#### 5 アルファ線放出核種

環境試料に含まれるアルファ線を放出する核種のうち、原子力発電所からの影響を評価するため、プルトニウム-238、プルトニウム-239+240を測定対象としています。また、土壌については、これらに加えてウラン-234、ウラン-235、ウラン-238、アメリシウム-241、キュリウム-244も対象としています。

#### 6 原子力発電所等に由来する影響

環境試料の核種濃度については、昭和55年以前に行われた中国の大気圏核実験の影響により、セシウム-137の放射能レベルの上昇が松葉などに見られるとともに、ほうれんそうなどの試料からジルコニウム-95、ニオブ-95、セシウム-137、セリウム-144などが検出されました。

その後、中国の大気圏核実験の停止に伴い、全体的に環境試料の放射能レベルは減少していましたが、現在に至っても、半減期の長いセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムが全国的に微量ながら検出されています。

昭和61年に起きた旧ソ連チェルノブイリ原子力発電所の事故により、県内でもヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137 などが一時的に検出されましたが、現在ではその影響は極めて小さなものとなっています。

福島第一原子力発電所の事故の影響により、現在は多くの試料からセシウム-134、セシウム 137 などが検出されています。また、土壌などの試料からはコバルト-60、アンチモン-125 も検出されています。空間線量率の上昇が確認された場合は、これまでの空間線量率の推移、原子力施設の測定値等の異常、気象、自然放射性核種等の影響、測定器等の異常、外部要因の影響の有無を確認し、原子力発電所等に由来する影響の有無を判断しています。

#### 7 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の相関関係

通常、一般環境の大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能濃度は、大気が安定し、 風が弱いときは高い傾向を示し、降雨雪時や強風の時は低い、というように変動していま すが、自然界のラドン、トロン濃度を反映し、一定の相関をもっていることが知られてい ます。これに対して、人工の放射性物質を含む浮遊じんが降下すると、この相関から外れ ます。

これまで、中国の核実験や旧ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故、福島第一原子力発電所事故の事故直後の際には、浮遊じん中の全ベータ放射能が高くなり、この相関から大きくずれた事例が見られました。

#### 8 確認開始設定値

大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の測定において、測定値が上昇 した場合、その測定値に施設寄与があったかどうかを判断する(施設寄与があった可能性 を否定できないと判断した場合を含む)ために、要因調査を開始するための設定値です。

ラドン・トロン壊変生成物の影響により、全アルファ放射能及び全ベータ放射能の経時的な変動は大きいですが、両者の比である $\beta/\alpha$ 比(全ベータ放射能を全アルファ放射能で除した比)はほぼ一定になります。

それを利用して、県では各測定地点における前月の全アルファ放射能及び全ベータ放射能の 10 分値をもとに  $\beta/\alpha$  比の平均値を算出し、  $\beta/\alpha$  比の平均値+ (10×標準偏差)を確認開始設定値としています。

#### 9 検出限界

放射能測定において、検出可能な最小の量又は濃度をいいます。測定値が検出限界以上であれば、その数値は十分に信頼性があるものとされます。

検出限界は測定試料の種類や量、測定条件の違い等により、測定ごとに変動します。

同じ種類の複数の試料で測定値が検出限界未満であった場合でも、それぞれの試料の検出限界は異なるため、本報告書においては、これらを一律に「ND」(Not Detected の略)と表記しています。「ND~(数値)」は、測定結果に検出限界未満のものと検出限界以上のものが存在することを表しています。この場合、右側の数値は「検出限界以上の数値の最大値」を表しています。

#### 10 飲料水の基準値

「WHO飲料水水質ガイドライン」で定められている飲料水中の放射性核種のガイダンスレベルのことで、セシウム-134、セシウム-137 ともに10Bq/Lと定められています。

#### 11 降下物

雨水及びちりを捕集し、その中に含まれる放射性物質を調査しています。これまで、過去に行われていた大気圏内での核爆発実験の影響、チェルノブイリ原子力発電所の事故、福島第一原子力発電所の事故の影響により核分裂生成物が確認されています。

#### 12 大気浮遊じん

原子力発電所から放出される粒子状の放射性物質を把握するため、大気中に浮遊する じん埃(ほこり)を捕集し、その放射能を測定しています。福島第一原子力発電所の事故 の影響により、セシウム-134、セシウム-137が検出されています。

## 13 土壌

原子力発電所から放出された放射性物質の蓄積状況を把握するため、土壌を採取し、その放射能を測定しています。福島第一原子力発電所の事故の影響により、コバルト-60、ストロンチウム-90、アンチモン-125、セシウム-134、セシウム-137、プルトニウム-238、プルトニウム-239+240、アメリシウム-241、キュリウム-244 が検出されています。

## 14 指標生物

環境中の微量元素の濃縮効果が期待でき、かつ、その地域で容易に採取できる生物であって、その放射能監視を行うことが簡便かつ有効である生物をいいます。陸上では松葉、海洋ではほんだわらがあります。

# 第2 測定項目

#### 令和5年度第1四半期(令和5年4月~令和5年6月)測定分

#### 1 測定項目

#### (1)空間放射線

項目	計画地点数	調査地点数 (今期)	測定頻度		実 施 機 関
空 間 線 量 率 (*1)	39	39	連	続	環境創造センター
空間積算線量	64	64	3 ヵ 月 積	算	<b>承見</b> 削垣 ピングー

<sup>\*1</sup> 中性子線3地点含む

#### (2)環境試料

( 2	2)塓	境試料	+															
1	X	分	1	試 料	名	計画地点数	調査地点数	採取回数	採取頻度		1		三試 料			ı		実施機関
Ľ			<u> </u>				(今期)	(今期)		全β	γ	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am,Cm	, (ALDA)
						17	17	3		全α全β (*2) 連続	51							
大		気		気浮遊	Ĕじん	9	9	3	毎月	連続 全α全β (*3)	27							
		×				16	16	3			48							
			J	大気中ス	水分	5	5	3	毎月				15					
降	下	物	降	下	物	10	10	3	毎月		30							
1.		4afe	土		壌	15	15	1	年2回		15							
土		杢	1.		壊	15	15	1	年1回					15	15	15	15	
陸		-dv	上		水	13	13	1	年4回		13		13					
座		小	上		八	15	0	0	年1回					0		0		
						C (1:4)	C (1:4)	3	毎月	18	18		18 (*6)	18		18		環境創造
						6 (*4)	6 (*4)	1	年4回				6 (*7)					センター
海		-1-	海		水	3(*4)	3(*4)	1	年4回				3 (*6)					
ଫ		//\	印		八	3 (*4)	3 (*4)	1	年4回				3 (*7)					
						2(*5)	2(*5)	1	年4回	2	2		2					
						∠ ( <del>*</del> 0)	2 ( <del>*</del> 0)	1	年1回					2		2		
						6 (*4)	6 (*4)	1	年4回		6			6		6		
海	底	土	海	底	土	0 (45)	0 (45)	1	年4回		2							
						2 (*5)	2 (*5)	1	年1回					1		1		
指	標	植物	松		葉	15	0	0	年1回		0	0						
指標	票海洋	羊生物	ほ	んだ	わら	2	0	0	年1回		0	0		0		0		
*0	`市(出	ガッコ	w	タによ	マ油は													

- \*2 連続ダストモニタによる測定
- \*3 リアルタイムダストモニタによる測定
- \*4 東京電力ホールディングス (株) 福島第一原子力発電所周辺海域
- \*5 東京電力ホールディングス (株) 福島第二原子力発電所周辺海域
- \*6 減圧蒸留法による測定
- \*7 電解濃縮法による測定

#### 2 測定項目 (比較対照地点調査)

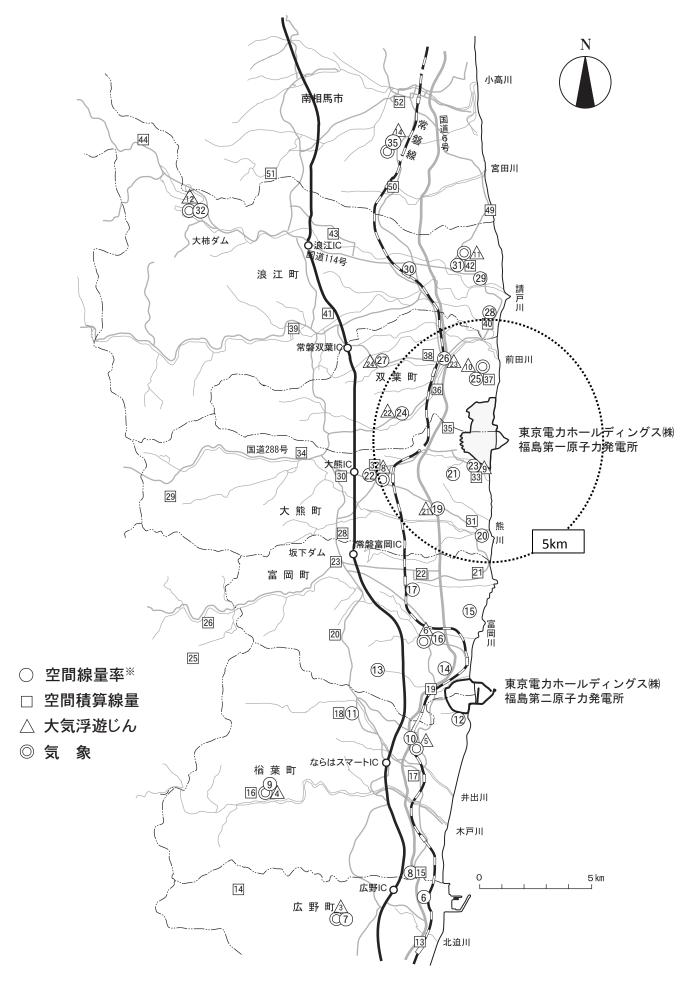
## (1)空間放射線

項目			計画地点数	調査地点数 (今期)	測定	頻度	実 施 機 関		
空間	<b>『</b>	泉	量	率	3	3	連	続	環境創造センター

#### (2)環境試料

<u> </u>	- / 垛児	H-4-I	_															
	区 分	÷	iid	料	2.	計画地点数	調査地点数		採取頻度			測定		数(名	今期)			実施機関
	_ /	,	i i	V 1-1 -	н	ит шешлизх	(今期)	(今期)	DIVIDOSOS	全β	γ	$^{131}I$	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am,Cm	人//E/(X)(X)
大		迩	大気	(浮遊	じん	7	7	3	毎月		21							
人			大乡	瓦中才	く分	1	1	3	д.71				3					
降	下	物	降	下	物	2	2	3	毎月		6							
土		壌	+-		壤	7	7	1	年1回		7			7		7		
1.		310	т.		780	1	1	1	平1回						1		1	環境創造
陸		水	L		水	2	0	0	年1回		0		0					センター
胜		小	4		八	1	U	V	平1回					0		0		
海		水	海		水	1	0	0	年1回	0	0		0	0		0		
海	底	土	海	底	土	1	0	0	年1回		0			0		0		
指	標植	物	松		葉	5	0	0	年1回		0	0						

図2-1 環境放射能等測定地点(福島第一・第二原子力発電所周辺)



※ ②、③は中性子線含む。

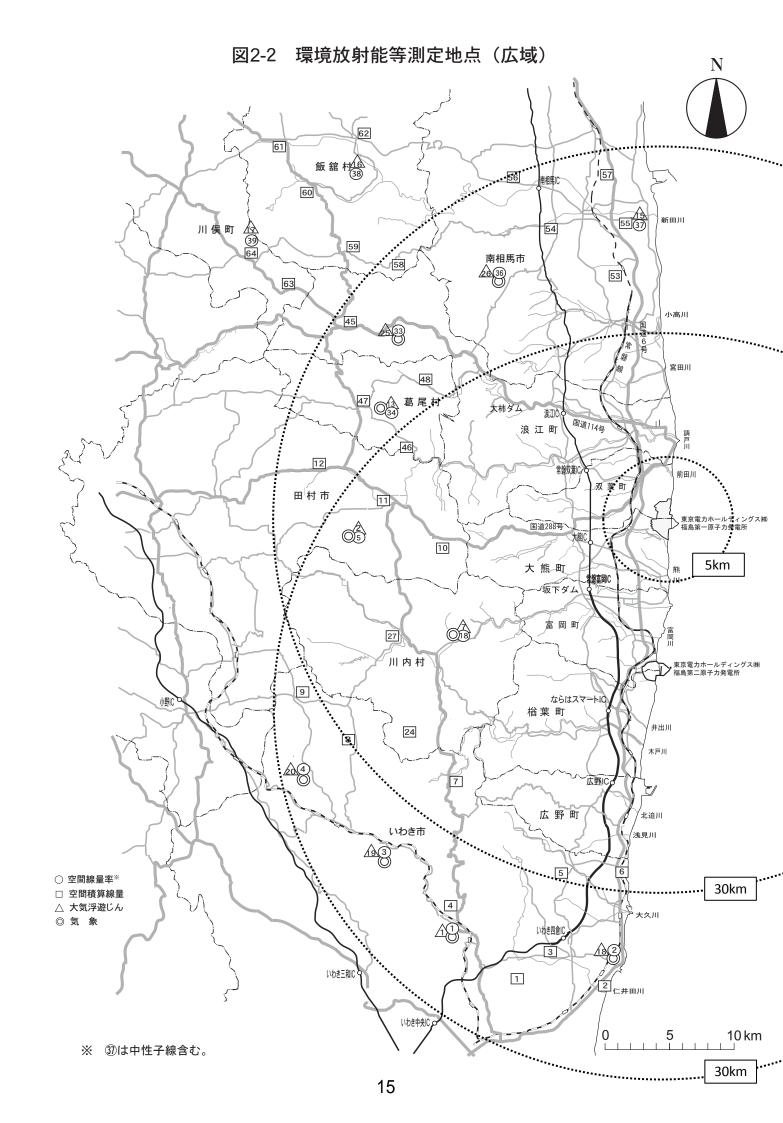


図2-3 環境試料採取地点(福島第一・第二原子力発電所周辺)

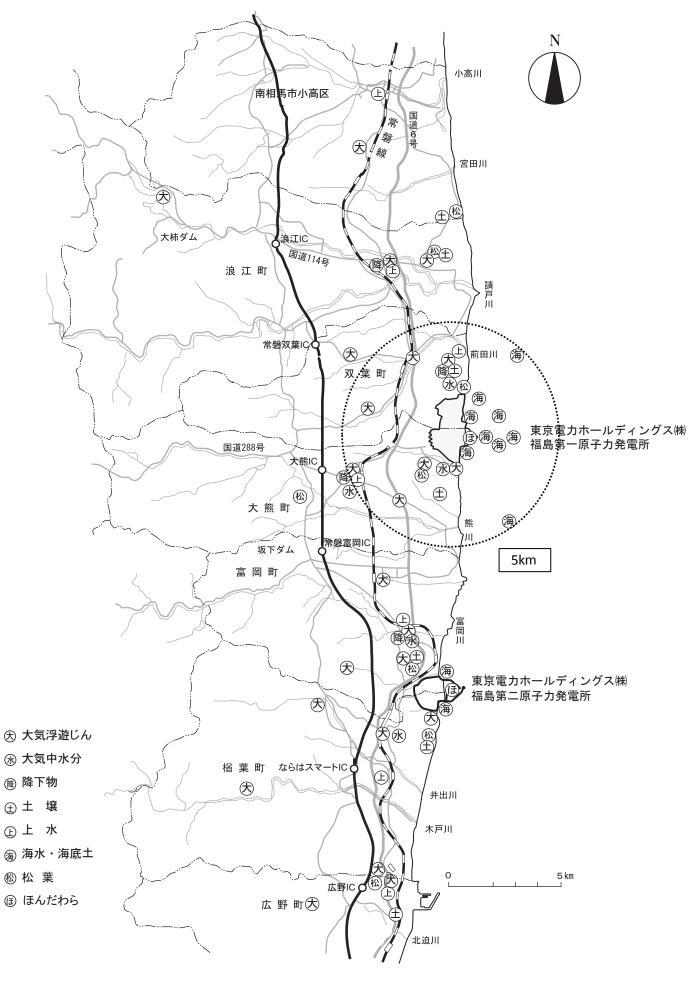
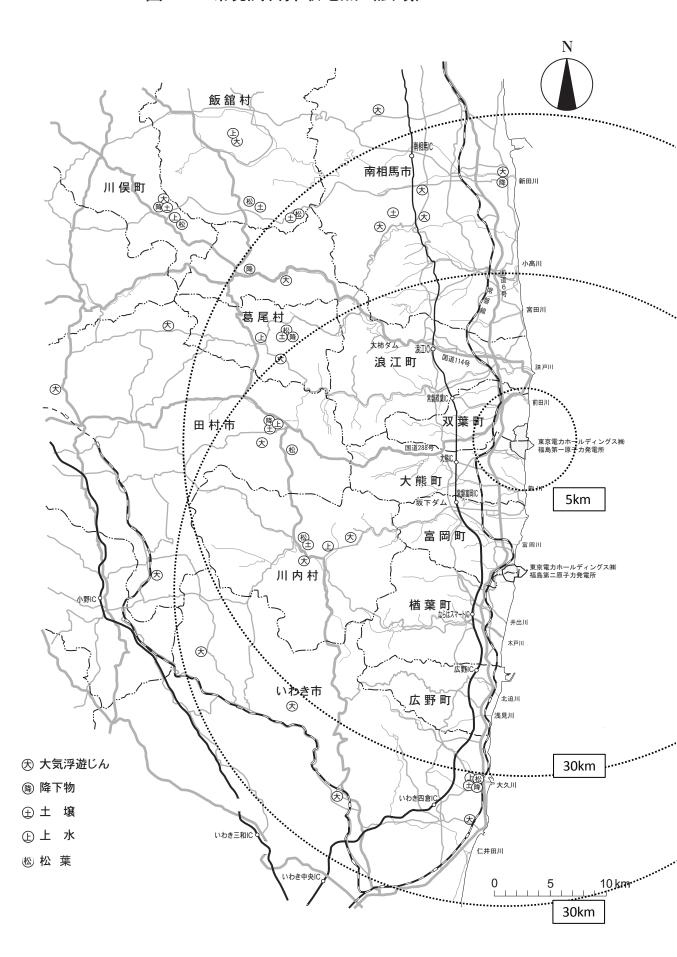
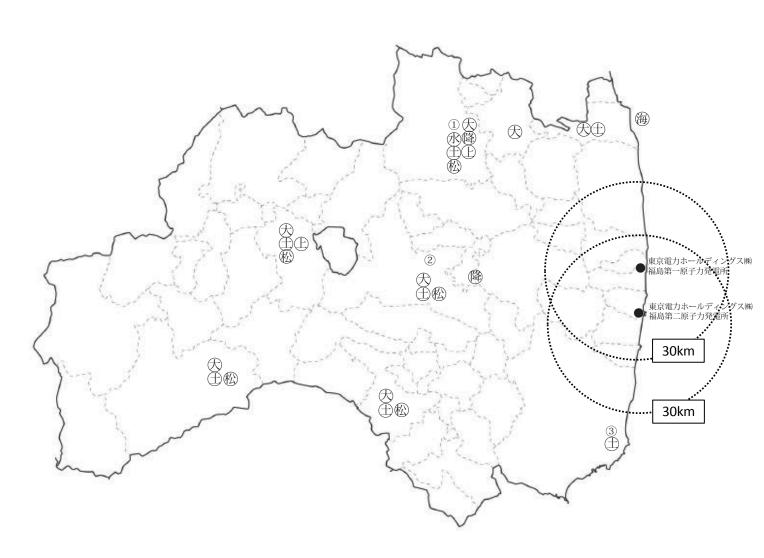


図2-4 環境試料採取地点(広域)



# 図2-5 環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点(県内全域)



- 空間線量率
- 大気浮遊じん水気中水分降下物

- 金海水・海底土
- ① 上水
- 秘 松葉

# 第 3 測 定 方 法

# 1 空間放射線

測定項目	測 定 装 置	測 定 方 法
空間線量率	モニタリングポスト	測 定 法:原子力規制委員会編「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年改訂) 検 出 器:低線量計 2″φ×2″NaI(T1)シンチレーション検出器 または半導体検出器 (日立製作所製 ADP-1122型他) 高線量計 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器 (日立製作所製 RIC-348型他) 中性子線量計 ³He比例計数管検出器 測定位置:地表上約3m、約1m 校正線源: <sup>60</sup> Co、 <sup>137</sup> Cs及び <sup>226</sup> Ra
空間積算線量	蛍光ガラス線量計測装置	測 定 法:文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量 測定法」(平成14年制定) 線 量 計:蛍光ガラス線量計(AGCテクノグラス製 SC-1型) 測 定 器:AGCテクノグラス製 FGD-202型 測定位置:地表上約1m 校正線源: <sup>137</sup> Cs

## 2 環境試料

(全α放射能、全β放射能、Cs-134、Cs-137濃度·H-3濃度·Sr-90濃度·U-234、U-235、U-238濃度·Pu-238、Pu-239+240濃度·Am-241、Cm-244濃度)

				大気浮遊じん		
項目	試料名	福島第一原子力発 (連続ダス	電所から30km圏内 くトモニタ)	福島第一原子力発 (リアルタイム	電所から30km圏内 ダストモニタ)	福島第一原子力発電所から30km 圏内 (連続ダストサンプラー)
	核 種 採取方法	<b>全アルファ放射能 全ベータ放射能</b> ダストモニタによる連彩 ・採取位置:地表	<b>Cs-134、Cs-137</b>	<b>全アルファ放射能 全ベータ放射能</b> ダストモニタによる連移 ・採取位置:	<b>Cs-134、Cs-137</b> E採取(ろ紙ステップ式) 地表上約2m	Cs-134、Cs-137 ダストサンプラーによる連続 採取 ・採取位置:地表上約2m
	採取容器等		3á	紙(アドバンテック東洋製 HE-4	OT)	
試料採取	採取量	約11, (吸引量:約9	000m³ 0m³/6時間)		200m³ 8m³/6時間)	約2,000m <sup>3</sup>
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)			なし		
前処理	方法	なし	1ヶ月分の集じんろ紙を電気 炉にて加熱分解し灰にする。	なし	1ヶ月分の集じんろ紙を電気 炉にて加熱分解し灰にする。	約1週間毎に回収した集じん ろ紙の集じん箇所を打ち抜き 型を用いて打ち抜き、1ヶ月分 をU8容器に収納する。
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測定 している場合)	なし	灰にした試料全量をU8容器に 充填する。	なし	灰にした試料全量をU8容器に 充填する。	50 φ mmの円の中心から46 φ mmを打ち抜き84.64%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。これを1ヶ月分まとめU8容器底面に収納する。
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	なし	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(500°C)。 ・充填する時に用いる器具類はボリエチレンフィルムで養生して使用。 ・18容器は新品を使用し、試料洗液後、2重に袋掛けをしている。	なし	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(500°C)。 ・充填する時に用いる器具類はポリエチレンフィルムで養生して使用。 ・18容器は新品を使用し、試料は流り、は大は後、2重に袋掛けをしている。	U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。
	測定法	6時間連続集じん、6時間放置 後全アルファ及び全ベータ放 射能を6時間同時測定	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(令和2年9月改訂)	全アルファ及び全ベータ放射 能を6時間連続集じん同時測 定		ニウム半導体検出器によるガ 一」(令和2年9月改訂)
	測定装置	ダストモニタ	ゲルマニウム半導体検出器を 用いたγ線スペクトロメータ	ダストモニタ	ゲルマニウム半導体検出器	を用いたγ線スペクトロメータ
	検出器等	ZnS(Ag)シンチレータとプラス チックシンチレータの吹きつけ 検出器・貼合せ検出器(日立 製作所製ADC-2121他)	ゲルマニウム半導体検出器 (キャンペラ製GC3018型他) 多波高分析器(キャンペラ製 LYNX DSA MCA型他)	ZnS(Ag)シンチレータとプラス チックシンチレータの吹きつけ 検出器(日立製作所製ADC- 2121)	ゲルマニウム半導体検出器 多波高分析器(キャンペラ	・ (キャンベラ製GC3018型他) 5製LYNX DSA MCA型他)
	測定試料状態	生	灰	生	灰	生
	測定容器	なし U8容器		なし	U8容器	U8容器
測定	供試料量	約11,	000m³	約2,2	100m <sup>3</sup>	約1,700m <sup>3</sup>
	測定時間	連続	80,000秒	連続	80,000秒	80,000秒
	検出限界値	全アルファ放射能 約0.2mBq/m³ 全ベータ放射能 約0.1mBq/m³ (6時間捕集,6時間計数時の)値	約0.003~0.01mBq/m³	全アルファ放射能 約300mBq/m³ 全ペータ放射能 約10,000mBq/m³	約0.02~0.06mBq/m³	約0.01~0.03mBq/m³
	測定におけるコンタミ防 止とその確認法	保守点検時にBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染 のないことを確認している。	保守点検時にBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染 のないことを確認している。	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染 のないことを確認している。
		Am-241, CI-36	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-	Am-241, CI-36	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-
	使用線源	eckert & ziegler社製の校正証 明書付きの標準線源を使用し ている。これによりトレーサビ リティを担保している。	54、Y-88 日本アイソトーブ協会製造の JCSS校正証明書付きの標準 線源を使用している。これに よりトレーサビリティを担保し ている。	eckert & ziegler社製の校正証 明書付きの標準線源を使用し ている。これによりトレーサビ リティを担保している。	54、Y-88 日本アイソトーブ協会製造の JCSS校正証明書付きの標準 線源を使用している。これに よりトレーサビリティを担保し ている。	54、Y-88 日本アイソトープ協会製造の JCSS校正証明書付きの標準 線源を使用している。これに よりトレーサビリティを担保し ている。
校正	線源校正頻度 (U8		(年1回)Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(年1回)Am-241及びCI-36を 用い計数効率校正を実施。	(年1回)Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(年1回)Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施
	BG測定頻度	年1回 900秒	月1回 試料測定時間の2倍 以上	年1回 300秒	月1回 200,000秒	月1回 試料測定時間の2倍 以上
備考			平成27年10月:測定時間変更 (3,600秒→21,600秒) 平成28年4月:前処理変更(生 →灰化)、測定時間変更 (21,600秒→80,000秒)		平成28年4月:測定開始	平成28年4月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定 に切り換え 令和2年4月:測定時間変更 (15,000秒→80,000秒)

		大氣河	遊じん	大気	中水分			
項目	試料名	福島第一原子力発電所から30km 個内 (簡易型ダストサンプラー)	福島第一原子力発電所から30km 個内 (簡易型ダストサンプラー)	福島第一原子力発電所から30km 国内	比較対照地点			
	核 種	Cs-134.	, Cs-137	ŀ	I–3			
	採取方法	ハイボリュームエアサンプ ラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m	ハイボリュームエアサンプ ラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m	シリカゲルを充填したカラム れる水分を捕集する。	に大気を通過させ、大気に含ま			
	採取容器等	ろ紙(GE	3-100R)		カラム(φ55 mm×H400 mm)2 本			
試料採取	採取量	約34,500m <sup>3</sup>	約1,150m <sup>3</sup>	約4.5	~45m³			
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	な	:L	<i>t</i>	<b>I</b> L			
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に 使用しているか)	・地点毎に採取器具を専用とし ・ろ紙が触れる部分を使用毎に		シリカゲルを充填したガラスカ る。	ラムは地点毎に専用としてい			
	方法	約1週間毎に回収したろ紙を 打ち抜き型を用いて打ち抜 き、1ヶ月分をU8容器に収納 する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸 めてU8容器に収納する。	減圧	蒸留法			
前処理	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測定 している場合)	1週間分の集じんろ紙(203× 254mm)を47.5φmmの打ち抜き器を用いて12ヶ所計52%を 採取する。これを1ヶ月分まと め週ごとのかたよりが出ない よう順にU8へ収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸 めてU8容器に収納する。	シリカゲルに吸着させた水分で る。 その後、所定量を減圧蒸留す				
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	U8容器は新品を使用し、試料 る。	充填後、2重に袋掛けをしてい	<ul> <li>前処理器具は大気中水分専用器具を使用している。</li> <li>使用するガラス器具類は洗浄後十分に乾燥させたものを使用している。</li> <li>デフロンバイアルは毎回新品を使用している。</li> </ul>				
	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマ ンマ線スペクトロメトリ	ニウム半導体検出器によるガ 一」(令和2年9月改訂)		所法」(平成14年改訂)に定める 蒸留法			
	測定装置		体検出器を用いた 가ロメータ		ラウンド液体 ションカウンタ			
	検出器等		(キャンベラ製GC3018型他) 5製LYNX DSA MCA型他)	日立製作所製	ULSC-LB7型他			
	測定試料状態	Ē	ŧ	液体シンチ	レータ混合物			
測定	測定容器	U87	容器	100 mLテフロンパイアル				
	供試料量	約18,000m <sup>3</sup>	約1,150m <sup>3</sup>	約50.00 mL				
	測定時間	80,000秒	80,000秒	3,000秒×1	0回の平均値			
	検出限界値	約0.002~0.007mBq/m³	約0.03~0.04mBq/m <sup>3</sup>	約1 mBq/m	i∼10 mBq/mi			
	測定におけるコンタミ防 止とその確認法	定期的にGe半導体検出器によないことを確認している。	SいてBG測定を行い、汚染の	試料毎に新品のバイアル瓶を 検出器の汚染確認は、毎測定				
		Cd-109、Co-57,60、Ce-139、C 54、Y-88	r-51, Sr-85, Cs-137, Mn-	H	H-3			
	使用線源	日本アイソトープ協会製造のJ 源を使用している。これにより る。	CSS校正証明書付きの標準線 トレーサビリティを担保してい	日本アイソトープ協会製造の 線源を使用している。これによ いる。	OJCSS校正証明書付きの標準 らりトレーサビリティを担保して			
校正	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(Uと計数効率校正を実施	J8・マリネリ)で幾何効率校正	(納入時) メーカーにて効率校正 (1年毎) メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。 精密点検時に、密封線源により効率確認。				
	BG測定頻度	月1回 試料測定時間の2倍以	Ł	測定	の都度			
備考		平成26年7月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定 に切り換え 令和2年4月:測定時間変更 (12,000秒一80,000秒)	平成23年11月:測定開始 平成27年7月:測定時間変更 (3600秒-2000秒) 平成28年4月:測定時間変更 (20,000秒-80,000秒)	平成30年4月:測定開始				

		降7	下物					
項目	試料名	佐倉谷 原フナ発展を42000	比較対照地点					
	核 種	Cs-134、	Cs-137					
	採取方法	建物屋上等に水盤を設置し、 取する。	1ヶ月後に盤内の水を全量採					
	採取容器等	大型水盤または小型水盤(SUS	S製バケツ)					
試料採取	採取量	0.5m <sup>2</sup> (大型水盤) または 0.0k	855m <sup>2</sup> (小型水盤)					
	前処理 (酸などの薬品添加を実 施しているか)	採取後、降下物1Lに対	し1mLの濃塩酸を添加					
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に 使用しているか)	容器は据え置き又は地点毎に	専用としている。					
	方法	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣を容器に採取する。						
前処理	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測定 している場合)	採取試料纟	全量を充填					
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	U8容器は新品を使用し、試料 る。	充填後、2重に袋掛けをしてい					
	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマ ンマ線スペクトロメトリ・						
	測定装置	ゲルマニウム半導 γ 線スペク	体検出器を用いた ハロメータ					
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器 多波高分析器(キャンベラ						
	測定試料状態	乾固物						
測定	測定容器	U87	器					
,,,,,,	供試料量	0.5m <sup>2</sup> (大型水盤) または 0.0855m <sup>2</sup> (小型水盤)						
	測定時間	80,000秒						
	検出限界値	大型水盤:約0.03~0.2MBq/km²程度 小型水盤:約0.2~0.7MBq/km²程度						
	測定におけるコンタミ防 止とその確認法	定期的にGe半導体検出器におないことを確認している。	いてBG測定を行い、汚染の					
		Cd-109, Co-57, 60, Ce-139 54, Y						
	使用線源	日本アイソトープ協会製造のJ 源を使用している。これにより る。						
校正	線源校正頻度	(年1回) Co線源や混合線源(しと計数効率校正を実施	18・マリネリ)で幾何効率校正					
	BG測定頻度	月1回 200,000秒						
備考		8地点で大型水盤、4地点で小平成24年4月:小型水盤による 平成27年6月:比較対照地点の 縮) 平成28年4月:前処理変更(2L: 面) 比較対照地点の 80,000秒)	採取開始 前処理変更(2L分取→2L濃					

項目	試料名			土壌							
	核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	U-234、U-235、U-238	Pu-238, Pu-239+240	Am-241, Cm-244					
	採取方法	村	県未耕土の表層(0mmから50mm	n)から一地点あたり5箇所以上、	、計3kg程度になるまで採取する	00					
	採取容器等			採土器							
試料採取	採取量			3kg程度							
	前処理 (酸などの薬品添加を実 施しているか)			なし							
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に 使用しているか)		採土器に	は共用で、採取の都度洗浄を行	っている。						
	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。									
前処理	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測定 している場合)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)									
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふる ・試料毎に地点専用のSUS製 ・試料処理毎に汚染がないこと ・U8容器は新品を使用し、試料	ふるいを使用(比較対照地点)	<b>√</b> δ₀							
	測定法	一リム干導体快田番によるカーンチウム分析法」(平成15年		文部科学省編「ウラン分析 法」(平成14年改訂)に定める TBP(リン酸三ブチル)抽出法		文部科学省編「アメリシウム 分析法」(平成2年)に定める イオン交換法					
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器を 用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置		α線スペクトロメータ	1					
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器 (キャンベラ製GC3018型他) 多波高分析器(キャンバラ製	日立製作所製LBC-4202B型		導体検出器(ORTEC製BU-017 器(ORTEC製デジタルMCA(ソフ						
	測定試料状態	LYNX DSA MCA型他) 乾土	鉄共沈物	酸化物	酸1	比物					
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mm φ)	ステンレス	坂(25mm <i>ф</i> )					
測定	供試料量	約100g	約100g	約10g	約	約50g					
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	80,0	0,000秒					
	検出限界値	約1~10Bq/kg乾土	約0.2~0.5Bq/kg乾土	約0.1~4Bq/kg乾土	約0.01~0.2 Bg/kg乾土						
	測定におけるコンタミ防 止とその確認法	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染 のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。		試料毎に新品のステンレス板: いては、毎月BG測定を行って						
		Cd-109、Co-57,60、Ce-139、 Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn- 54、Y-88	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244	Np-237,Am-241,Cm-244	<del>Gd=148,</del> Np=237,Am=241,Cm= 244					
	使用線源	日本アイソトー	プ協会製造のJCSS校正証明書	<b>替付きの標準線源を使用してい</b>	る。これによりトレーサビリティを	担保している。					
校正	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源 (U8-マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎JCAC分析確認調査時使 用試料にて効率確認。	ネルギー校正	10	(納入時)メーカーにて効率及びエ ネルギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検 1回					
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒		80,000秒					
備考		平成28年4月:採取方法変更( Cs-134、Cs-137の前処理変更		令和2年5月:測定開始	平成28年4月:採取方法変更( Cs-134、Cs-137の前処理変更						

項目	試料名			上水		
	核 種	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240	
	採取方法		- 各地点の上水(水道水	)を蛇口より容器に採取する。		
	採取容器等	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	ポリタンク	
試料採取	採取量	20L	1L	100L	100L	
	前処理 (酸などの薬品添加を実 施しているか)	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を 添加	なし	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を 添加	上水1Lに対し1mLの濃硝酸を添加	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に 使用しているか)	採取容器につ	いては、採取地点毎に新品の	容器を使用し、試料水にて共洗	いを実施している。	
	方法	加熱濃縮法	減圧蒸留法	イオン交換法	イオン交換法	
前処理	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測定 している場合)	採取試料全量を加熱濃縮。	1Lポリビンより上澄水100mLを分取。	採取試料全量を加熱濃縮後、 イオン交換法により処理。	10分程度蛇口から上水を流しつづけた後に採取する。 複数の採取容器の上水を、前処理 の際に混合し、均一化を図る。	
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	・試料処理毎に汚染がないこと	斗充填後、2重に袋掛けをしてし			
	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマ ニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(令 和2年9月改訂)	文部科学省編「トリチウム分析法」(平成14年改訂)に定める減圧蒸留法	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂)に定めるイオン交換法	文部科学省編「プルトニウム分析 法」(平成2年改訂)に定めるイオン 交換法	
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器 を用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド液体 シンチレーションカウンタ	低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	α線スペクトロメータ	
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器 (キャンベラ製GC3018型他) 多波高分析器(キャンベラ製	日立製作所製LSC-LB7型他	日立製作所製LBC-4202B型	シリコン半導体検出器(ORTEC製 BU-017-450型他) 多波高分析器(ORTEC製デジタル	
	測定試料状態	LYNX DSA MCA型他) 乾固物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	MCA(ソフトウェア)他) 酸化物	
	測定容器	U8容器	100mlテフロンバイアル	ステンレス皿(25mm $\phi$ )	ステンレス板 (25mm $\phi$ )	
測定	供試料量	20L	約50.00mL	100L	100L	
	測定時間	80,000秒	3,000秒×10回の平均値	3,600秒	80,000秒	
	検出限界値	約0.001~0.002Bq/L	約0.3~0.5Bq/L	約0.00015~0.0004Bq/L	約0.000003~0.00001 Bq/L	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染 のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を 使用し、検出器の汚染につい ては、測定時にBG測定を 行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	
		Cd-109、Co-57,60、Ce-139、 Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn- 54、Y-88	H-3	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244	
	使用線源	日本アイソトープ協会製造のJ	CSS校正証明書付きの標準線	源を使用している。これによりト	レーサビリティを担保している。	
校正	線源校正頻度	(年1回) Co線源や混合線源 (UB・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)メーカーによる簡易点 検、精密点検、各1回。精密点検 時に、密封線源により効率確 認。	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)JCAC分析確認調査時使 用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検1回 (毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 80,000秒	
備考		平成28年4月:前処理変更 (生→加熱濃縮法)				

項目	試料名				海水		
	核種	全ベータ放射能	Cs-134, Cs-137	н	-3	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240
	採取方法			海面にホースを入れ、表層の	k(~1m)をポンプにより採取す	- <b>ప</b>	
	採取容器等	ポリビン	ポリタンク	ポリ	ピン	ポリタンク	ポリタンク
試料採取	採取量	2L	40L	1L	2L	60L	100L
	前処理 (酸などの薬品添加を実 施しているか)	なし	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を 添加	ta	îL	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を 添加	海水1Lに対し1mLの濃硝酸を添加
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に 使用しているか)		採取容器につ	いては、採取地点毎に新品の	容器を使用し、試料水にて共洗	いを実施している。	
	方法	鉄・パリウム共沈法	リンモリブデン酸アンモニウム -二酸化マンガン共沈法	滅圧蒸留法	電解濃縮法	イオン交換法	イオン交換法
前処理	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測定 している場合)	2Lポリビンより上澄水1Lを分取。	20Lポリタンク2本から10Lず つ分取。	1Lポリピンより上澄水100mL を分取。	2Lポリビンより上澄水約1,200 mLを分取。	20Lポリタンク3本使用。内2 本は全量使用。残る1本は 10L分取。	10分程度ポンプから海水を排水した 後に採取する。 複数の採取容器の海水を、前処理 の際に混合し、均一化を図る。
	・採取地点毎の専用容器また ・試料処理毎に汚染がないこと とその確認法 ・U8容器は新品を使用し、試業 ・テフロンバイアルは毎回新品		を確認 充填後、2重に袋掛けをしてい	<b>ర</b> .			
	測定法	文部科学省編「全ベータ放射 能測定法」(昭和51年改訂)	原子力規制委員会編「ゲルマ ニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(令 和2年9月改訂)	文部科学省編「トリチウム分析法」(平成14年改訂)に定め る滅圧蒸留法	文部科学省編「トリチウム分析法」(平成14年改訂)に定める金属電極を用いた電解濃縮法	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂)に定めるイオン交換法	文部科学省編「ブルトニウム分析 法」(平成2年改訂)に定めるイオン 交換法
	測定装置	低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	ゲルマニウム半導体検出器 を用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド液体 シンチレーションカウンタ		低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	α 線スペクトロメータ
	検出器等	日立製作所製LBC-4202B型	ゲルマニウム半導体検出器 (キャンベラ製GC3018型他) 多波高分析器(キャンベラ製 LYNX DSA MCA型他)	日立製作所製	LSC-LB7型他	日立製作所製LBC-4202B型	シリコン半導体検出器(ORTEC製 BU-017-450型他) 多波高分析器(ORTEC製デジタル MCA(ソフトウェア)他)
	測定試料状態	鉄・バリウム共沈物	リンモリブデン酸アンモニウムと二酸化マンガンの混合物	液体シンチ	レータ混合物	鉄共沈物	酸化物
2014	測定容器	ステンレス皿(25mm¢)	U8容器	100mlテフロンバイアル	20 mL低拡散ポリエチレン バイアル	ステンレス皿(25mm $\phi$ )	ステンレス板(25mmφ)
測定	供試料量	1L	20L以上	約50.00mL	約1,000 mL	50L	100L
	測定時間	3,600秒×7回のうち最大最小 を除いた5回の平均値	80,000秒	3,000秒×10	0回の平均値	3,600秒	80,000秒
	検出限界値	約0.01Bq/L	約0.001~0.002Bq/L	約0.3~0.5Bq/L	約0.03~0.06Bq/L	約0.0005Bq/L	約0.000003~0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染 のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を ては、測定時にBG測定を行っ		試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
		U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> Sr-90	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、 Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn- 54、Y-88	Н	-3	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244
	使用線源	放射能測定シリーズ「全ベータ 放射能測定法」に基づき使用。	日本アイソトープ協会製造のJ 源を使用している。これにより る。		日本アイントープ協会製造の JRIA校正証明書付きの標準 線源を使用している。これに よりトレーサビリティを担保し ている。	日本アイソトーブ協会製造のJ 使用している。これによりトレー	CSS校正証明書付きの標準線源を -サビリティを担保している。
校正	線源校正頻度	測定の都度	(年1回)Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)メーカーによる簡易点 検、精密点検、各1回。精密点検 時に、密封線源により効率確 認。	県にて効率校正 (1年毎)メーカーによる簡易点	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)JCAC分析確認調査時使 用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検1回 (毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	測定の都度	月1回 200,000秒	測定(	の都度	測定の都度	月1回 80,000秒
備考		令和3年4月:測定時間変更 (1F周辺3,600秒測定5回のうち 長年一3,600秒測定7回のうち お最大最小を除いた5回の平 均値)	平成28年4月: 前処理変更 (生ーリンモリブデン酸アンモ ニウム-二酸化マンガン共沈 法)		令和4年5月:測定開始		

				1	松葉		
項目	試料名		海底土		福島第一原子力発電所から30km 圏内	比較対照地点	
	核種	Cs-134、Cs-137	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240	Cs-13	4, Cs-137	
	採取方法		船上から採泥器にて採取す	<b>ప</b> .	採取地点付近にある樹木より	2年葉を採取する。	
	採取容器等		採泥器		<b>ビ</b> =	ール袋	
試料採取	採取量		3kg程度		200	Dg程度	
	前処理 (酸などの薬品添加を実 施しているか)		なし		:	なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に 使用しているか)	採泥袋は地点毎に新品を使用	引し、採泥器は使用毎に洗浄して	ている。	採取地点毎に新品の袋に採取	Z .	
	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、10: する。	5℃で72時間以上加熱乾燥させ	る。次にふるいにかけ、十分に混合	95°Cで所定時間加熱乾燥後、粉砕機により粉砕		
前処理	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測定 している場合)	地点当たり数箇所から採取した 縮分法)	た試料を混合し、さらに、その証	は料から均等に分取。(インクリメント	乾燥後の試料から所定量を均	等に分取	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふる ・試料処理毎に汚染確認を行・ ・U8容器は新品を使用し、試料		・加熱乾燥に用いるパットは十分洗浄しで使用 ・粉砕器は、地点専用のものを使用 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしてい る。			
	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマ ニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(令 和2年9月改訂)	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年 改訂)に定めるイオン交換法	文部科学省編「プルトニウム分析 法」(平成2年改訂)に定めるイオン 交換法	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によ 線スペクトロメトリー」(令和2年9月改訂)		
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器 を用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	α 線スペクトロメータ		導体検出器を用いた ペクトロメータ	
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器 (キャンベラ製GC3018型他) 多波高分析器(キャンベラ製 LYNX DSA MCA型他)	日立製作所製LBC-4202B型	シリコン半導体検出器(ORTEC製 BU-017-450型他) 多波高分析器(ORTEC製デジタル MCA(ソフトウェア)他)		出器(キャンベラ製GC3018型他) ベラ製LYNX DSA MCA型他)	
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	乾	燥物	
測定	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mm¢)	ステンレス板(25mm φ)	U8容器		
炽炬	供試料量	約100g	約100g	100g	*	∱ 50g	
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	80.	.000秒	
	検出限界値	約0.5~1.5Bq/kg乾土	約0.15~0.25Bq/kg乾土	約0.01~0.2 Bq/kg	約0.1~	-2Bq/kg生	
	測定におけるコンタミ防 止とその確認法	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染 のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿 を使用し、検出器の汚染につ いては、測定時にBG測定を 行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器におことを確認している。	おいてBG測定を行い、汚染のない	
		Cd-109、Co-57,60、Ce-139、 Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn- 54、Y-88	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、C Y-88	Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、	
	使用線源	- 日本アイソトープ協会製造のJ サビリティを担保している。	CSS校正証明書付きの標準線	日本アイソトープ協会製造のJ を使用している。これによりトレ	CSS校正証明書付きの標準線源 ルーサビリティを担保している。		
校正	線源校正頻度	(年1回) Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎JCAC分析確認調査時使 用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネル ギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検1回 (毎月)県が密封線源により効率及びエ ネルギー校正を実施	(年1回)Co線源や混合線源(( 数効率校正を実施	U8・マリネリ)で幾何効率校正と計	
	BG測定頻度 月1回 200,000秒 測		測定の都度	月1回 80,000秒	月1回	月1回 200,000秒	
備考					秒) 平成28年4月:前処理変更(生 マニュアルに示す減容処理(別 より松の木が減少しており、継 採取量を抑える必要がある。高 検出可能である地点が多いこ	の測定時間変更(3,600秒→10,800 →乾燥) (化)は実施していない。除染等に 接続的に採取していくには、1回の また、松業はそのまま測定しても とから、濃楠をかいさくしても支障 ら、灰までの濃縮は行わず、乾	

項目	試料名		ほんだわら	
	核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240
	採取方法	採取地点付近	 近に生息しているほんだわらの	」 葉茎部を採取する。
	採取容器等		ビニール袋	
試料採取	採取量		9kg程度	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)		探取地点毎に専用の器具を	使用
	方法	・水洗後水切りし、95°Cで所定時間加熱乾燥後、粉砕器により粉砕	・水洗後水切りし、95°Cで所 定時間加熱乾燥後、粉砕器 により粉砕 ・乾燥後の試料を電気炉で加 熱分解し、生成した灰試料を イオン交換法により処理。	・水洗後水切りし、95°Cで所定時間 加穀乾燥後、粉砕器により粉砕 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分 解し、生成した灰試料をイオン交換 法により処理。
前処理	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際 に、試料を分取して測定 している場合)	乾燥後の試料から所定量を 均等に分取	灰試料から所定量を均等に 分取	灰試料から所定量を均等に分取
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	・加熱乾燥に用いるパットは 十分に洗浄して使用。 ・粉砕器は、地点専用のもの を使用。 ・U8容器は新品を使用し、試 料充填後、2重に袋掛けをし ている。	・加熱乾燥に用いるパット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉砕器は、地点専用のものを使用。	・加熱乾燥に用いるバット及び加熱 分解に用いる磁性皿は十分に洗浄 して使用。 ・粉砕器は、地点専用のものを使 用。
	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマ ニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(令 和2年9月改訂)	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年 改訂)に定めるイオン交換法	文部科学省編「プルトニウム分析 法」(平成2年改訂)に定めるイオン 交換法
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器を 用いた ア 線スペクトロメータ	低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	α 線スペクトロメ <b>ー</b> タ
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器 (キャンベラ製GC3018型他) 多波高分析器(キャンベラ製 LYNX DSA MCA型他)	日立製作所製LBC-4202B型	シリコン半導体検出器(ORTEC製 BU-017-450型他) 多波高分析器(ORTEC製デジタル MCA(ソフトウェア)他)
	測定試料状態	乾燥物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mm Ø)
測定	供試料量	約100g	約30~40g(生試料1kg相当の 灰試料量)	約20~40g(生試料500g~1kg相当 の灰試料量)
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒
	検出限界値	約0.1~0.2Bq/kg生	約0.1~0.2Bq/kg生	約1~3 mBq/kg生
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染 のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
		Cd-109、Co-57,60、Ce-139、 Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn- 54、Y-88	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244
	使用線源		CSS校正証明書付きの標準線	源を使用している。これによりトレー
校正	線源校正頻度	(年1回) Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認	(納入時)メーカーにて効率及びエネル ギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検(回 (毎月)県が密封線源により効率及びエ ネルギー校正を実施
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒
備考				

# 第 4 測 定 結 果

#### 4-1 空間放射線

#### 4-1-1 空間線量率

#### (1) ガンマ線

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域(以下「1F 近傍」という。)で 8 地点、福島第一原子力発電所から概ね半径 5km 以上 30km 未満又は福島第二原子力発電所から概ね半径 30km 未満の地域(以下「1F・2F 周辺」という。)で 31 地点、福島第一及び第二原子力発電所からそれぞれ 30km 以上離れた地域(以下「比較対照地点」という。)で 3 地点、計 42 地点で NaI シンチレーション検出器により空間線量率 (ガンマ線)を常時測定しました。各地点の測定結果は以下のとおりです。詳細な測定値は 39~42 ページを参照。

# ア 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、福島第一原子力発電所の事故(以下「事故」という。)の 影響により事故前の月間平均値を上回っています。年月の経過とともに減少する傾向にありま した。

事故直後の最大値と今期の測定値の最大値を比較すると、減少率の高い順から 1F・2F 周辺、1F 近傍、比較対象地点でした。今期の測定値は、いずれの月も数値の高い順から 1F 近傍、1F・2F 周辺、比較対照地点でした。

各地点の空間線量率(ガンマ線)の月間平均値

(単位:nGy/h)

測定	測定	各地点	京の月間平均値	1の範囲	過去の月間平均値				
エリア	地点数	4月	5月	6月	R2 $\sim^{*1}$	H26∼*1	事故直後*1	事故前*1	
1F	0	225~3,730	$225\sim3,730$ $223\sim3,670$ $220\sim3,570$			335~	910~		
近傍	8	今期最大値は事	故直後の最大値か	いら約 1/47 に減少	4, 370	18, 341	176, 000	33~54	
1F•2F	0.1	42~516	42~515	42~517	41~	44~	117~		
周辺	31	今期最大値は事	故直後の最大値か	ら約 1/113 に減少	936	2, 547	58, 454		
比較対	3	45~103	46~103	46~102	53~	61~	181~	39~42	
照地点	3	今期最大値は事故直後の最大値から約 1/36 に減少			119	220	3, 716	39,~42	

(注) \*1 R2~: 令和2年度第1四半期から前四半期まで。(次項以降も同じ)

H26~: 平成26年度から令和元年度第4四半期まで。(次項以降も同じ)

事故直後:事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。(次項以降も同じ)

事故前:平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。

なお、測定地点数は年度により異なる。

#### イ 1時間値の変動状況

各測定地点における1時間値の変動は、降雨雪による自然放射線レベルの変動\*があるものの、 新たな原子力発電所等に由来する影響\*はありませんでした。

(注) ※については、用語の解説 (9~12ページ) を参照してください。

各地点の空間線量率 (ガンマ線) の最大値 (1時間値) (単位:nGy/h)

測定	測定 地点数	各地	過去の最大値					
エリア		4 月	5月	6月	R2∼	H26∼	事故直後	事故前*1
1F 近傍	8	234~3,830	233~3,810	232~3,740	4 F00	18, 578	1 019 174	
	0	今期最大値は事故直後の最大値から約 1/266 に減少			4, 500	10, 570	1, 018, 174	
1F•2F	31	54~526	60~531	60~531				157
周辺		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/2996 に減 少			988	2, 674	1, 591, 066	
比較対	3	56 <b>~</b> 113	75~125	71~117	1.46	000	0.056	0.0
照地点		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/80 に減少			146	232	9, 956	88

(注) \*1 事故前: 平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。

なお、測定地点数は年度により異なる。

#### (2) 中性子線

1F 近傍で2 地点、1F・2F 周辺で1 地点、計3 地点で空間線量率(中性子線)を常時測定しまし た。各測定地点における月間平均値(4 nSv/h)は、事故前の県内の測定結果<sup>※1</sup>と同程度<sup>※</sup>であり、 中性子線量率の異常は確認されませんでした。詳細な測定値は43ページ参照。

※1 環境における中性子線量率の測定結果 (平成14年度文部科学省実施): 4.6~14 nSv/h

県内5地点(福島市、猪苗代町、西会津町、いわき市)において、サーベイメータ型レムカウンタ(直径 2インチ5気圧<sup>3</sup>He 比例計数管)を使用し、地表面より約1mの高さで測定。

URL:https://www.kankyo-hoshano.go.jp/ (環境放射線データベース)

URL:https://www.kankyo-hoshano.go.jp/wp-content/themes/jcac/pdf/ers\_abs45.pdf (「第 45 回環境放 射能調査研究成果論文抄録集(平成 14 年度)文部科学省」I-20 環境における中性子線量率の全国調査)

(注) ※については、用語の解説 (9~12ページ) を参照してください。

#### 4-1-2 空間積算線量

1F 近傍で7地点、1F・2F 周辺で57地点、計64地点で蛍光ガラス線量計(RPLD)により空気中 の放射線量を測定しました。詳細な測定値は44~46ページを参照。

90 日換算値は、事故の影響により事故前の測定値を上回っていますが、年月の経過とともに減少 する傾向にありました。

空間積算線量の90日換算値

(単位:mGy/90 日)

測定 測定 エリア 地点数		測定値	過去の測定値				
		(令和5年4月6日~ 令和5年7月6日)	R2~	H26∼	事故直後	事故前*1	
1F 7		0.49~5.7	0.50~	0.76~	2.38~		
近傍	,	今期最大値は事故直後の最大値から約 1/24 に減少	16	45	137. 79	0.10~	
1F•2F		0. 15~9. 9	0.15~	0.15~	0.18~	0.14	
周辺	57	今期最大値は事故直後の最大値から約 1/3 に減少	12	31	35. 84		

(注) \*1 事故前:事故前から測定していた20地点における平成15年度第1四半期から平成22年度第3四半期まで。

#### 4-2 環境試料

#### 4-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

#### (1) 6時間連続集じん・6時間放置後測定

1F 近傍で3地点、1F・2F 周辺で14地点、計17地点で6時間連続集じん・6時間放置後の全アルファ放射能及び全ベータ放射能を測定しました。詳細な測定値は47~48ページを参照。

#### ア 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、原子力発電所からの距離に関係なく、 いずれの月も事故前の月間平均値と同程度\*でした。

(注) ※については、用語の解説 (9~12ページ) を参照してください。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値 (単位: Bq/m³)

測定項目	測定	測定	各地点0	)月間平均個	直の範囲	過去の月間平均値			
例足項目	エリア	地点数	4月	5月	6月	R2∼*2	H26∼	事故直後	事故前*1
_	1F	3	0.012~	0.012~	0.011~	0.005~	0.004~	0.007~	
全 アルファ	近傍	J	0.033	0.032	0.028	0.048	0.059	0.039	0.007~
放射能	1F•2F	14	0.013~	0.011~	0.010~	0.002~	0.003~	0.009~	0.076
从又对1日日	周辺	14	0.043	0.038	0.037	0.064	0.088	0.046	
^	1F	3	0.043~	0.042~	0.039~	0.021~	0.022~	0.025~	
全ベータ	近傍	J	0.12	0.11	0.10	0.16	0.16	0. 22	0.018~
放射能	1F•2F	1.4	0.037~	0.034~	0.033~	0.020~	0.017~	0.030~	0. 12
///// HE	周辺	14	0.085	0.076	0.070	0. 12	0.13	2.0	

<sup>(</sup>注) \*1 事故前: 平成13年9月から事故前(平成23年3月10日以前)まで。

#### イ 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は事故前の最大値とほぼ同程度でした。また、空間線量率の高低にかかわらず、全アルファ放射能及び全ベータ放射能に強い相関が見られていることから、これらの変動は、全アルファ放射能及び全ベータ放射能の相関関係\*による自然放射能レベルの変動と考えられました。巻末のグラフ集(111~119 ページ)に相関図を示しております。

(注) ※については、用語の解説 (9~12ページ) を参照してください。

<sup>\*2</sup> 大熊町大野の地点は、令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度第1四半期から採取地点を旧大熊町役場敷地内に変更。

(単位:Bq/m³)										
過去の	最大値									
H26∼	事故直後	事故前*1								
0. 21	0. 19									

測定項目	測定	測定	各地点	気の最大値の	の範囲	過去の最大値				
例足項目	エリア	地点数	4月	5月	6月	R2∼*2	H26∼	事故直後	事故前*1	
全	1F 近傍	3	0.050~ 0.29	0.053~ 0.19	0.054~ 0.23	0. 31	0. 21	0. 19	0.58	
アルファ放射能	1F·2F 周辺	14	0.055~ 0.24	0.048~ 0.17	0.064~ 0.17	0.38	0.42	0. 34	0.56	
全 ベータ	1F 近傍	3	0.13~ 0.89	0.13~ 0.62	0.13~ 0.68	0. 97	0. 62	1.3	0.78	
放射能	1F·2F 周辺	14	0.098~ 0.63	0.090~ 0.36	0.095~ 0.29	0.77	0.71	54	0.76	

- (注) \*1 事故前: 平成13年9月から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
  - \*2 大熊町大野の地点は、令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度第1四半期から採取地点を旧大熊町役 場敷地内に変更。

#### (2) 集じん中測定

1F 近傍で 6 地点、1F・2F 周辺で 20 地点、計 26 地点で集じん中の全アルファ放射能及び全ベー タ放射能を測定しました。各測定地点における放射能濃度の変動は、ろ紙送り直後や放射能濃度が 低い場合\*を除き、全ベータ放射能を全アルファ放射能で除した比 (β/α 比) がほぼ一定である ことから、自然放射能レベルの変動と考えられました。巻末のグラフ集(120~132 ページ)に全ア ルファ放射能及び全ベータ放射能の推移を示しております。

※ ろ紙送り直後のデータは、大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全ア ルファ放射能に比べ高くなり、 $\beta/\alpha$  比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低い場合は、放 射線の計数が小さいことから $\beta/\alpha$  比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。(放射能測定法シリ ーズ No. 36「大気中放射性物質測定法」より)

#### 4-2-2 環境試料の核種濃度(ガンマ線放出核種)

今期に測定した環境試料は、大気浮遊じんが 49 地点 147 試料、降下物が 12 地点 36 試料、土壌 が 22 地点 22 試料、上水が 13 地点 13 試料、海水が 11 地点 23 試料、海底土が 8 地点 8 試料の 6 品 目で合計 249 試料でした。詳細な測定値は 49~53、56~61 ページを参照。

上水を除く 5 品目の 38 試料からセシウム-134 が、全 6 品目の 177 試料からセシウム-137 が検出 され、そのうち、事故前の測定値を上回った試料は、セシウム-134が38試料、セシウム-137が 176 試料でした。事故の影響により多くの試料で事故前の測定値を上回りましたが、事故直後と比 較すると大幅に低下しており、令和2年度以降の測定値とほぼ同程度でした。

土壌1地点1試料からコバルト-60が検出(1.6 Bq/kg 乾)されましたが、令和2年度以降の測 定 (ND~2.9 Bg/kg 乾) と同程度\*でした。

上水の一部(水源は表流水)からセシウム-137が検出(0.017 Bq/L)されています。この値は、 食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値\*である10 Bq/kg(10 Bq/L)を大きく下 回っています。

(注)※については、用語の解説 (9~12ページ) を参照してください。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

= 101 A=	上在		地点			過去の	測定値		
試 料 名	核種	採取エリア	数	測定値	R2∼*2, 3	H26∼	事故直後	事故前*1	
		1F 近傍	7	ND~0.009	ND~0.094	ND~1.8	0.072~38	ND	
	Cs-134	1F•2F 周辺	35	ND	ND~0.007	ND~0.65	ND~1, 100	ND	
大気浮遊		比較対照地点	7	ND	ND	ND∼0.13	ND~8.2	_	
じん(mBq/m³)		1F 近傍	7	0.027~0.54	ND~1.6	ND~5.2	0.14~39	ND	
	Cs-137	1F•2F 周辺	35	ND~0.14	ND∼0.23	ND~2.1	ND~990	ND	
		比較対照地点	7	ND~0.033	ND∼0. 28	ND~0.45	ND~10	_	
		1F 近傍	2	ND	ND	ND~0.54	ND	ND	
	Co-60	1F•2F 周辺	8	ND	ND	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	ND	ND	
	Sb-125	1F 近傍	2	ND	ND∼0.45	ND~2.0	ND		
		1F•2F 周辺	8	ND	ND∼3.1	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	ND		
	Cs-134	1F 近傍	2	0.23~3.5	0.20~26	ND~1, 200	$76 \sim$ 5, 000, 000		
降 下 物 (Bq/m² (MBq/km²))		1F•2F 周辺	8	ND∼0.96	ND~4.2	ND~110	ND~ 940,000	ND	
(MDQ/KIII ))		比較対照地点	2	ND∼0. 20	ND~1.6	ND∼180	ND~ 140,000	ND	
		1F 近傍	2	10~160	7.7~460	17~4, 300	170~ 5,600,000	ND~0.15	
	Cs-137	1F•2F 周辺	8	0.38~48	0.38~72	ND~670	ND~ 1,000,000	ND -0.13	
		比較対照地点	2	0.19~7.0	0.08~36	ND~620	ND~ 150,000	ND∼ 0.093	
1		1F 近傍	2	ND~1.6	ND~2.9	ND~5.3	ND	ND	
土 (Bq/kg 乾	Co-60	1F•2F 周辺	13	ND	ND	ND~1.9	ND	עוו	
(事故直後及び		比較対照地点	7	ND	ND	ND	ND	ND	
(事成直接及び H26 ~ H27 は		1F 近傍	2	ND	ND	ND~130	ND	ND	
Bq/kg 湿))	Sb-125	1F•2F 周辺	13	ND	ND	ND	ND	Nυ	
24/118 1316//		比較対照地点	7	ND	ND∼10	ND∼28	ND	ND	

#### (注)「一」は測定値なし。

- \*1 事故前: 平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
- \*2 大気浮遊じんの 1F 近傍の大熊町大野の地点は、令和元年度末に局舎を移設したため、令和 2 年度から採取地点を旧大熊町役場敷地内に変更。
- \*3 土壌の1F近傍の大熊町夫沢の地点は、中間貯蔵施設工事により採取不可能になったため、令和2年度第3四半期から採取地点を大熊町小入野に変更。

4 lot 4=	<del>比</del> 任	松下・リフ	地点	301 <del>-                                   </del>		過去の	測定値		
試 料 名	核種	採取エリア	数	測定値	R2~*2, 3, 4, 5	H26∼	事故直後	事故前*1	
		1F 近傍	2	800~6, 300	840~ 15, 000	2,300~ 49,000	2,700~ 230,000	ΝD	
土 壌	Cs-134	1F・2F 周辺	13	ND∼230	ND~490	3.1~ 7,800	32~12,000	ND	
(Bq/kg 乾		比較対照地点	7	ND~43	ND~160	2.9~690	14~9, 200	ND	
(事故直後及び H26~H27 は		1F 近傍	2	37, 000~ 290, 000	25,000~ 400,000	20,000~ 330,000	3, 100~ 310, 000	ND 10	
Bq/kg 湿))	Cs-137	1F·2F 周辺~	13	75~10,000	20~ 10,000	7.7~ 52,000	75~26,000	ND∼16	
		比較対照地点	7	27~1,900	33~2,900	37~4,500	18~14,000	ND~30	
		1F 近傍	2	ND	ND	ND	_	ND	
	Cs-134	1F·2F 周辺	11	ND	ND~0.001	ND~0.062	ND~0.17	ND	
上 水		比較対照地点	2	_	ND	ND~0.002	ND	ND	
( B q / L )		1F 近傍	2	ND	ND~0.002	ND~0.003	_	ND	
	Cs-137	1F·2F 周辺	11	ND~0.017	ND~0.043	ND∼0.18	ND~0.29	ND	
		比較対照地点	2	_	ND~0.005	ND~0.011	ND	ND	
		1F 放取水口	3	ND~0.003	ND~0.010	ND~0.35	ND~2.4		
		1F 沖合	3	ND	ND	ND~0.067	ND~0.094		
	Cs-134	ALPS 処理水放出 口予定場所周辺	3	ND	ND	_	_	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND~0.012	ND~0.20		
		松川浦	1	_	ND	ND~0.005	ND	ND	
海水		1F 放取水口	3	0.006~ 0.14	0.003~ 0.31	ND~1.1	ND~5.0		
( B q / L )		1F 沖合	3	0.003~ 0.025	0.002~ 0.023	ND~0.31	ND~0.19	ND $\sim$	
	Cs-137	ALPS 処理水放出 口予定場所周辺	3	0.009~ 0.020	0.003~ 0.015	_	_	0.003	
		2F 放水口	2	0.012~ 0.013	0.005~ 0.040	ND∼0. 12	0.12~0.42		
		松川浦	1	_	0.005~ 0.020	ND∼0. 028	ND	ND∼ 0.002	

- (注)「一」は測定値なし。
  - \*1 事故前:平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
  - \*2 土壌の 1F 近傍の大熊町夫沢の地点は、中間貯蔵施設工事により採取不可能になったため、令和 2 年度第 3 四半期から採取地点を大熊町小入野に変更。
  - \*3 上水の1F近傍の大熊町の地点は令和元年度から再開。
  - \*4 上水の1F近傍の双葉町の地点は令和2年度第3四半期から再開。
  - \*5 海水の ALPS 処理水放出口予定場所周辺の測点は、令和 4 年度から測定を実施。

크 에 4	+ <del>**</del> ***	松野・リマ	地点	测点体		過去の	測定値		
試 料 名	核種	採取エリア	数	測定値	R2∼	H26∼	事故直後	事故前*1	
		1F 放取水口	3	ND	ND	ND∼1.1	ND∼1.3		
	Mn-54	1F 沖合	3	ND	ND	ND	ND~0.62	ND	
	MII <sup>-</sup> 54	2F 放水口	2	ND	ND	ND	ND		
		松川浦	1	1	ND	ND	ND	ND	
		1F 放取水口	3	ND	ND	ND~1.0	ND~1.3		
	Co-60	1F 沖合	3	ND	ND	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	ND		
海底土		松川浦	1		ND	ND	ND	ND	
(Bq/kg 乾)		1F 放取水口	3	3.1~4.1	3.2~17	8.7~320	120~450		
	Cs-134	1F 沖合	3	ND	ND~13	ND~130	25~72	ND	
	03 104	2F 放水口	2	ND	ND~6.9	3.0~68	47~230		
		松川浦	1		ND	ND~4.4	1.3	ND	
		1F 放取水口	3	140~190	160~350	140~870	230~1,000		
	Cs-137	1F 沖合	3	24~38	20~240	17~630	61~170	ND~0.97	
	05 101	2F 放水口	2	41~52	34~120	50~200	100~470		
		松川浦	1	_	2.6~6.6	1.8~13	2.6	ND~2.3	

<sup>(</sup>注)「一」は測定値なし。

\*1 事故前: 平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。

#### 4-2-3 環境試料の核種濃度(ベータ線放出核種)

海水 11 地点 23 試料について、全ベータ放射能を調査した結果、事故前の測定値  $(ND\sim0.05$  Bq/L) と同程度\*\*でした。詳細な測定値は  $59\sim60$  ページを参照。

大気中水分 6 地点 18 試料、上水 13 地点 13 試料、海水 11 地点 32 試料の合計 63 試料について、トリチウムを調査した結果、大気中水分 6 地点 18 試料、上水 1 地点 1 試料、海水 3 地点 4 試料から検出されました。大気中水分のトリチウムの測定値は、事故前の測定値(ND~23 mBq/m³)を上回りましたが、令和 2 年度以降の測定値(ND~70 mBq/m³)と同程度でした。上水及び海水のトリチウムの測定値は、事故前の測定値(上水:ND~1.3 Bq/L、海水:ND~2.9 Bq/L)と同程度\*でした。詳細な測定値は  $54\sim55$ 、 $59\sim60$  ページを参照。

土壌 22 地点 22 試料、海水 11 地点 23 試料、海底土 8 地点 8 試料について、ストロンチウム-90 を調査した結果、土壌 18 地点 18 試料、海水 11 地点 22 試料から検出されました。土壌及び海水のストロンチウム-90 の測定値は、一部の地点で事故前の測定値(土壌:  $ND\sim4$ . 3Bq/kg、海水:  $ND\sim0$ . 002~Bq/L)を上回りましたが、事故直後と比較すると低下しており、令和 2 年度以降の測定値(土壌:  $ND\sim55Bq/kg$ 、海水:  $ND\sim0$ . 035~Bq/L)と同程度\*でした。詳細な測定値は  $58\sim61$  ページを参照。

(注)※については、用語の解説 (9~12ページ) を参照してください。

### 環境試料のベータ線放出核種濃度

試 料 名	<b>按</b> 種	採取	地点	测学店		過去の	測定値	
武 科 名	核種	エリア	数	測定値	R2 $\sim$	H30*2∼	事故直後	事故前*1
大気中		1F 近傍	3	7.0~36	ND~70	ND~64	_	ND~23
水 分	H-3	1F•2F 周辺	2	5.1~12	ND~14	ND~14	_	ND~14
$(mBq/m^3)$		比較対照地点	1	5.0~8.6	ND~12	ND~21	ND~41	ND~12

#### (注)「一」は測定値なし。

- \*1 事故前: 平成20年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
- \*2 大気中水分の1F近傍、1F·2F周辺は平成30年度から再開。

試 料 名	<b>拉托</b>	採取	地点	测学店		過去の	測定値	
試 料 名	核種	エリア	数	測定値	R2~*2,4	H26∼ <sup>*3</sup>	事故直後	事故前*1
土 壌		1F 近傍	2	16~40	22~55	19~61	15~81	ND∼3.5
土 壌 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F·2F 周辺	13	ND~2.4	ND~3.4	0.22~17	ND~14	ND 03. 5
(DQ/ Kg 毕乙)		比較対照地点	7	ND~2.0	ND~6.2	0.42~16	ND∼32	1.8~4.3
上 水		1F 近傍	2	ND~0.40	ND~0.47	ND~0.48		ND~1.2
上 水 (Bq/L)	H-3	1F·2F 周辺	11	ND	ND~0.60	ND~0.94	ND∼0.96	ND' ~ 1. Z
(вч/г)		比較対照地点	2	_	ND~0.46	ND∼0.85	ND~1.4	ND~1.3

### (注)「一」は測定値なし。

- \*1 事故前:平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
- \*2 土壌の1F近傍の大熊町夫沢の地点は、中間貯蔵施設工事により採取不可能になったため、令和2年度第3四半期から採取地点を大熊町小入野に変更。
- \*3 上水の1F近傍の大熊町の地点は令和元年度から再開。
- \*4 上水の1F近傍の双葉町の地点は令和2年度第3四半期から再開。

10k 4£	h	1+1 <del>1</del>	採取	地点	油(4)		過去0	測定値	
試料	名	核種	エリア	数	測定値	R2∼*2	H26∼	事故直後	事故前*1
			1F 放取水口	3	0.01~ 0.02	ND∼0.07	ND∼0.38	0.02~1.7	
			1F 沖合	3	0.01~ 0.02	ND~0.07	ND~0.05	ND∼0.14	
海 (Bq/L	水	全べー タ放射 能	ALPS 処理水放 出口予定場所 周辺	3	0.01	0.01~ 0.03	-	1	ND∼0.05
			2F 放水口	2	0.01~ 0.02	0.01~ 0.07	0.01~ 0.06	0.02~ 0.05	
			松川浦	1	-	0.04~ 0.06	0.02~ 0.06	0.02	ND∼0. 03

#### (注)「一」は測定値なし。

- \*1 事故前: 平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
- \*2 海水の ALPS 処理水放出口予定場所周辺の測点は、令和 4 年度から測定を実施。

= N Not +	1445	採取	地		\Tit = \frac{1}{2}		過去の	測定値	
試 料 名	核種	エリア	点数		測定値	R2∼*³, 4	H26∼	事故直後	事故前*1,2
		1F 放取水	3	減圧 蒸留法	ND~0.39	ND∼1.4	ND∼2.6	ND∼6. 2	
		П	3	電解 濃縮法	0.05~0.21	ND~0.66	_	_	
		1F 沖合	3	減圧 蒸留法	ND	ND~0.35	ND~0.91	ND∼0.58	
	H-3	11 11 11	3	電解 濃縮法	ND	ND~0.10	_	_	ND∼2.9
		ALPS 処理 水放出口	3	減圧 蒸留法	ND	ND	_	_	
		予定場所 周辺	3	電解 濃縮法	ND	ND~0.11	_	_	
海水		2F 放水口	2	減圧 蒸留法	ND	ND	ND~0.86	ND∼0.56	
( B q / L )		松川浦	1	減圧 蒸留法	1	ND~0.37	ND	ND	ND~0.46
		1F 放取水 口	3	0.00	008~0.012	ND~0.035	ND∼0.76	0.005~2.9	
		1F 沖合	3	ND	~0.0016	ND~ 0.0016	ND~0.031	0.001~ 0.26	
	Sr-90	ALPS 処理 水放出口 予定場所 周辺	3	0.00	09~0.0013	ND∼ 0. 0013	_	_	ND∼0.002
		2F 放水口	2	0.00	07~0.0009	0.0007~ 0.0009	0.0008~ 0.0030	0.033~ 0.034	
		松川浦	1		_	0.0009~ 0.0018	0.0010~ 0.0011	0.001	0.001~ 0.002

- (注)「一」は測定値なし。
  - \*1 事故前:平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
  - \*2 事故前の海水の H-3 の測定は、減圧蒸留法による。(検出限界値:約0.3~0.5 Bq/L)
  - \*3 海水の ALPS 処理水放出口予定場所周辺の測点は、令和 4 年度から測定を実施。
  - \*4 海水の1F 放取水口、1F 沖合及びALPS 処理水放出口予定場所周辺のH-3 は令和4年度から電解濃縮法による 測定を実施。(検出限界値:0.03~0.06 Bq/L)

試 料 名	核種	採取	地点	測定値		過去の測	則定値	
	1次1里	エリア	数	例是但	R2∼	H26∼	事故直後	事故前*1
		1F 放取水口	3	ND	ND~0.44	ND~4.6	ND∼1.2	
海 底 土	Sr-90	1F 沖合	3	ND	ND∼0.28	ND~0.71	ND∼0. 19	ND
(Bq/kg 乾)	31-90	2F 放水口	2	ND	ND~0.21	ND∼0.32	ND~0.21	
		松川浦	1	_	ND∼0.28	ND~0.21	ND	ND~0.02

<sup>(</sup>注)「一」は測定値なし。

\*1 事故前:平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。

### 4-2-4 環境試料の核種濃度(アルファ線放出核種)

土壌 16 地点 16 試料について、ウラン-234、ウラン-235 及びウラン-238 を調査した結果、16 地点 16 試料からウラン-234 (3.9~25Bq/kg 乾)、ウラン-235 (0.19~1.2Bq/kg 乾)、ウラン-238 (3.6~25Bq/kg 乾)が検出されましたが、いずれの核種の放射能比も天然ウランの放射能比※1 と同程度 であり、土壌中のウランは天然ウランに由来するものと考えられます。詳細な測定値は 58、61 ページを参照。

土壌 22 地点 22 試料、海水 11 地点 23 試料、海底土 8 地点 8 試料の合計 53 試料について、プルトニウム-238 を調査した結果、土壌 2 地点 2 試料からプルトニウム-238 が検出されました。土壌のプルトニウム-238 の測定値は、令和 2 年度以降の測定値(ND $\sim$ 0.10 Bq/kg 乾)と同程度\*\*でした。詳細な測定値は 58 $\sim$ 61 ページを参照。

土壌 22 地点 22 試料、海水 11 地点 23 試料、海底土 8 地点 8 試料の合計 29 試料について、プルトニウム-239+240 を調査した結果、土壌 15 地点 15 試料、海水 9 地点 11 試料、海底土 8 地点 8 試料からプルトニウム-239+240 が検出されました。土壌及び海底土のプルトニウム-239+240 の測定値は、事故前の測定値(土壌:  $ND\sim2.6$  Bq/kg 乾、海底土:  $0.13\sim0.61$  Bq/kg 乾)と同程度\*でした。海水の測定値は、令和 2 年度以降の測定値( $ND\sim0.019$  Bq/L)と同程度でした。詳細な測定値は  $78\sim82$ ページを参照。

- (注)※については、用語の解説 (9~12ページ) を参照してください。
- ※1 天然ウランの放射能費(ウラン-234:ウラン-235:ウラン-238=1:0.047:1)出典:文部科 学省発行 放射能測定法シリーズ No.14 ウラン分析法

		採取	地点			 過去の		
試 料 名	核種	エリア	数	測定値	R2~*2,3	H26∼	事故直後	事故前*1
		1F 近傍	2	13~16	11~15	_	_	_
	U-234	1F·2F 周辺	13	3.9~25	3.1~28	_	_	_
		比較対照地点	1	7. 0	6.1~8.1	_	_	_
		1F 近傍	2	0.78~0.79	0.51~	_	_	_
土 壌		17 处伤	4	0. 78, 0. 79	0. 67			
土 壌 (Bq/kg 乾)	U-235	1F•2F 周辺	13	0.19~1.2	0.11~1.7	1	_	_
(DQ/Kg FL)		比較対照地点	1	0. 26	0.25~	_	_	_
		<b>元教</b> 別 思地点	1	0.20	0.39			
		1F 近傍	2	15~17	10~13		_	_
	U-238	1F•2F 周辺	13	3.6~25	3.0~35		_	_
		比較対照地点	1	6. 9	5.3~8.4	_	_	_

環境試料のアルファ線放出核種濃度

- (注)「一」は測定値なし。
  - \*1 事故前:平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
  - \*2 土壌のU-234、U-235、U-238 は令和2年度から調査を実施。
  - \*3 土壌の1F近傍の大熊町夫沢の地点は、中間貯蔵施設工事により採取不可能になったため、令和2年度第3四半期から採取地点を大熊町小入野に変更。

로 에 4로	+2:45	採取	地点	迎点*4		過去の	測定値	
試 料 名	核種	エリア	数	測定値*4	R2∼* <sup>2, 3</sup>	H26∼	事故直後	事故前*1
		1F 近傍	2	ND~0.05	0.01~0.10	ND~0.09	ND~0.03	MD ~ .0 .02
	Pu-238	1F•2F 周辺	13	ND	ND~0.02	ND~0.05	ND~0.05	ND∼0. 03
		比較対照地点	7	ND~0.02	ND~0.03	ND~0.03	ND~0.18	ND~0.08
	Pu-	1F 近傍	2	0.05~0.28	0.04~0.35	0.05~0.37	0.20~0.34	ND~0.44
	239+240	1F·2F 周辺	13	ND~0.36	ND~0.40	ND~0.97	ND~0.66	ND' ~ 0. 44
土 塚	239+240	比較対照地点	7	ND~0.41	ND~0.85	ND∼1.2	ND~4.8	ND~2.6
(Bq/kg 乾)	)	1F 近傍	2	測定中	0.02~0.20	0.02~0.18	0.02~0.16	_
	Am-241	1F•2F 周辺	13	測定中	ND~0.19	ND~0.44	ND~0.25	
		比較対照地点	1	0.07	0.08~0.14	0.06~0.41	0.11	_
		1F 近傍	2	測定中	ND~0.02	ND~0.02	ND	_
	Cm-244	1F•2F 周辺	13	測定中	ND~0.03	ND	ND	
		比較対照地点	1	ND	ND	ND	ND	_
		1F 放取水口	3	ND	ND	ND~0.010	ND	
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	ND	
	Pu-238	ALPS 処理水放出 口予定場所周辺	3	ND	ND	_	_	_
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	ND	
<i>₩</i> →		松川浦	1	_	ND	ND	ND	_
海水		1F 放取水口	3	ND~0.018	ND~0.019	ND~0.016	ND~0.014	
(mBq/L)	)   	1F 沖合	3	ND~0.012	ND~0.011	ND~0.010	ND~0.010	
	Pu- 239+240	ALPS 処理水放出 口予定場所周辺	3	ND~0.010	ND~0.008	_	_	ND~0.013
	239 1240	2F 放水口	2	0.009~ 0.013	ND~0.015	ND~0.020	ND~0.011	
		松川浦	1	_	ND	ND	ND	ND∼0.012
		1F 放取水口	3	ND	ND	ND	ND	
	Pu-238	1F 沖合	3	ND	ND∼0.02	ND~0.01	ND~0.02	_
	1 u 230	2F 放水口	2	ND	ND	ND	ND	
海底土	:	松川浦	1	_	ND	ND	ND	_
(Bq/kg 乾)		1F 放取水口	3	0. 23~0. 26	0.09~0.40	0.09~0.43	0.08~0.32	
	Pu-	1F 沖合	3	0. 28~0. 41	0.19~0.50	0.21~0.61	0.33~0.52	0.15~0.61
	239+240	2F 放水口	2	0. 22~0. 27	0.13~0.36	0.14~0.31	0.21~0.25	
		松川浦	1		0.20~0.28	0.18~0.31	0. 20	0.13~0.40

- (注)「一」は測定値なし。
  - \*1 事故前:平成13年度から事故前(平成23年3月10日以前)まで。
  - \*2 土壌の1F近傍の大熊町夫沢の地点は、中間貯蔵施設工事により採取不可能になったため、令和2年度第3四半期から採取地点を大熊町小入野に変更。
  - \*3 海水の ALPS 処理水放出口予定場所周辺の測点は令和 4 年度から測定を実施。
  - \*4 土壌 15 地点 15 試料で Am-241 及び Cm-244 を測定中。

第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表

5-1 空間放射線

単位 線量率:nGy/h 測定時間:h 上段:平均值 (下段):最大値

是 問 問 問 拳 骨 海 時 間 後 小 型 開 開 R6. 後 小 海 開 調 12 拳 骨 斯 明 明 聯 軍軍軍 10 拳 骨 軍軍軍 6 拳 骨 明 祖 温 温 拳 骨 軍軍軍 鎌 骨 開節調 720 720 720 720 720 720 720 720 720 720 720 720 720 纖 暈 96 (115) 116 (132) 148 (161) 192 (206) 46 (61) 78 (95) 48 (66) 61 (75) 69 (82) 71 (94) (85) 69 60 (75) 事 開 調 744 744 744 744 744 744 744 744 744 744 744 744 744 2 海 小 118 (133) 197 (210) 150 (162) 47 79 (93) 48 (66) 61 (77) 69 (84) 71 (90) 68 (83) 69 60 (78) 97 測定 時間 720 720 720 720 720 720 720 720 720 720 720 720 720 R5. 海 小 200 (211) 97 (1111) 118 (132) 152 (161) 79 (93) 50 (64) 49 (62) 62 (78) 70 (80) 71 (89) (82) 69 59 (78) \*\*ここうまからいど 都路馬洗戸 \*\* \$P ۵<del>۲</del> ₩.  $\equiv_{\scriptscriptstyle \mathfrak{L}}$ \*\*溁 凯 湿染 急沮 4 海里 湾 ু 空間線量率 測定年月 測定項目 × <sup>\*</sup>/理 おお e **N** 舞 03 2.2 <u>H</u> 測定地点名 11 <sup>\*</sup> ≟⊥  $\vec{x} \leftarrow$ -\<del>-</del> 40<del>K</del>  $\hat{z} \equiv$ ~{1 | ∻∃ △驟 <u>-≅</u> "波 いわき市 七 ₽ 干 田林市 広野町 広野町 楢葉町 楢葉町 楢葉町 楢葉町 富岡町 楢葉町 いわき いわき 2 3 5 9 7 8 6 10 11 12 13

	測 時間														
8															
	定 線量 雪														
2	a 時間														
	線量率														
R6. 1	測定 時間														
	線率														
12	測時時間														
	線														
11	測定時間														
	線奉														
10	測時間														
	線 <sup>容</sup>														
6	測定時間														
	線車率														
	測定時間														
∞	線量率														
	測定時間														
7	線量率														
	測定時間	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720
9	線量率	121 (138)	114 (133)	96 (111)	194 (211)	107 (127)	531 (557)	774 (832)	3, 570	220 (232)	1, 890 (1980)	2, 620 (2920)	259 (271)	381 (405)	262 (281)
	測定時間	744	744	744	744	744	744	744	742	744	742	742	744	744	744
5	線量率	122 (138)	116 (134)	97 (1110)	195 (210)	107 (121)	538 (566)	745 (825)	3,670	223 (233)	1,940 (2030)	2, 790 (3030)	263 (273)	389 (410)	269 (284)
4	測定時間	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720
R5. 4	線車率	123 (136)	117 (132)	97 (106)	196 (207)	108 (121)	547 (567)	740 (783)	3, 730	225 (234)	1,980 (2040)	2, 890 (3040)	266 (274)	393 (411)	274 (284)
11111111111111111111111111111111111111	通用	# <del>=</del>	*	* <u>15</u>	<b>3楼</b>	ω <del>Κ</del>	# # #	*	<u>≨</u> 4□	ूर्भ	** **	<sub>32</sub> HI	# <b>∃</b>	, T	€ 47
測定年月	測定項目 測定地名	· · · ·	·* 禁	× åmm	·被 6	-\$ -= -= -=	\$ \$ \$	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	7.4.2.4. H	**************************************	# <del>1</del> K	* ∃	· · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	# <del>*</del> * 1
	/ 演	富岡町	富岡町	富岡町	富岡町	川内村	大熊町	大熊町	大熊町	大熊町	大熊町	双葉町	双葉町	双葉町	双葉町
	No.	14	15 運	16	17	18	19 7	20 7	21 7	22 7	23 7	24 🕱	25 🛪	26 孩	27   3

No	測定年月 測定項目 測定地点名		R5.4 測定 時間	紫	5 事 事	機機	6 測定時間	機	事 事 事		通 時間 第	線量 海率	<ul><li>測定線量</li><li>時間率</li></ul>	10 画 浏定 時間	1	11	1	12 測定時間	Re 線量 率	R6. 1 測定 時間	整	測定 練量 時間 率
28	浪江町 請 『 戸	*1 90 (102)	720	90 (109)	744	89 (110)	720															
29	浪江町 桶。塩	*1 62 (76)	720	(80)	744	61 (83)	720															
30	浪江町 渡 **	) 116 )	720	(130)	744	113 (132)	720															
31	浪江町 幾 "世"	橋 (86)	720	76 (89)	744	75	720															
32	浪江町 光帯 ダ	516 A (526)	720	515 (531)	744	517 (531)	720															
33	浪江町 南""津	379	720	375 (392)	744	369	720															
34	葛尾村 覧	》 湯 (125)	720	114 (127)	744	113 (132)	720															
35	南相馬市 泉 ****	88 税 (88)	720	87 (103)	744	(102)	720															
36	南相馬市 横 川 ダ	167 A (175)	720	166 (175)	744	163 (175)	720															
37	, 、 摹 中倒阳嵐	* <sub>*</sub> 42 孫 (54)	720	42 (60)	744	42 (60)	720															
38	飯箱村 伊・舟・	》 积 (127)	720	114 (134)	744	113 (126)	720															
39	川俣町 『木	。 屋 (116)	720	105 (124)	744	104 (117)	720															

注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 \*1 可搬型モニタリングポストによる測定

₩ (	空間線量率(比較対照地点)																				<b>₩</b> 4	位 蔡貴率:1段:平均值	単位 線量率:n6y/h 測定時間:h 上段:平均值 (下段):最大值	参問:h 値
W _	測定年月		R5. 4		2		9		7	∞		6		10		11		12		R6. 1		2		
į	測定地点名	紫樹	<b></b> 展世	1	測定   時間	が 機 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	無無	線 軸 科	事 三 三	<b>黎</b>	無 三 三 三	<b>蒙</b>	無 型 三 三 三	(株) (本)	無 型 三 三 三	<b>基</b> 科	世 三 三 三	職 掛	帝 三 三 三 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	<b>基</b> 科	型型 三型	職 掛	型型 三型	職 科
1	福島市 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	*1 45	45 720 56)	90 46 (80)	744	46 (71)	969																	
2	郡山市 日 和 田	# 103 H (113)	)3 720 (3)	103 (125)	744	102 (117)	720																	
3	いわき市 卒	59 (70)	9 720	59 (75)	744	59 (74)	720																	

5-1-1(3) 中性子線量率																						単位 禁順: 下級: 坪均	単位 綠量率:nSv/h 測定時間:day 上段:平均值 (下段):最大值	E時間:day 大値	
	1	1										-												1	
<b>严</b> / ,	恶 /	測定年月		R5. 4		22	9		7		∞		6		10		::		12		R6. 1		23	.,	8
灣定地点名	乘/	測定項目	*************************************	a 測定 日数	線 <sup>科</sup>	過一一数	線車率	画 型数	<b>藤</b>	測定 日数	※ 参	測定 ※	※ 参	測定 線 型数	線 率 日	測定 組数 率	量 測定 1 日数	※ ※ ※ ※	l 測定 日数	<b>神</b>	三	線 種 母	国産業	線 <sup>極</sup>	画 型数
	10	8	4	o o	4	9.1	4	00																	
H H H		髷	(4)	000	(4)	Te	(4)	000																	
			4	o o	4	9.1	4	00																	
11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		民	(2)	90	(2)	10	(2)	00																	
7: 井田 田田		Ħ	4	00	4	9.1	4	06																	
#iiil E		溁	(4)		(4)	10	(4)	OC .																	

No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5m未満の地域 環境中の中性子線強度が低いために1時間値では測定値のばらつきが大きいことから、1日間値を掲載している 紐

5-1-2 空間積算線量

mGy)		画 所 数																						
(単位		積算線量																						
		) 河 数																						
		積算線量																						_
		測定日数																						
		積算線量																						
	9 .	測定日数	16	91	91	91	91	91	91	16	91	91	91	91	16	91	91	91	91	91	91	91	91	91
	. 6 ~R5. 7.	[算線量	(0.17)	(0.22)	(0.19)	(0.22)	(0.20)	(0.23)	(0.29)	(0.31)	(0.19)	(0.28)	(0.24)	(0.19)	(0.18)	(0.22)	(0.17)	(0.23)	$(0.20^{*1})$	(0.30)	(0.34)	(0.35)	(2.4)	(0.40)
	R5. 4	積	0.17	0.22	0.19	0.22	0.20	0.23	0.29	0.31	0.19	0.29	0.24	0.19	0.18	0.23	0.17	0.23	$0.20^{*1}$	0.30	0.35	0.35	2.4	0.41
	測定期間	測定項目名	かしも教	よっくら四	大野野	ふくおか 福 一 岡	おおかき大	まえっぎ 末	1	しだんみょう	Ĩ.Ψ	ばば場	************************************	vib vi šib 岩井 沢	しもあきみがわ 下浅見川	ほうきだいら 第	やまだおか山田田岡	おっとじろう乙が次の	が、出	かみしばおか上	大	歩がなる。本本をある。	おらがはま小良ケ浜	よのもりきた夜の森北
		測定地点名	いわき市	いわき市	いわき市	いわき市	いわき市	いわき市	いわき市	いわき市	いわき市	田村市	田村市	田村市	広野町	広野町	楢葉町	楢葉町	楢葉町	楢葉町	富岡町	富岡町	富岡町	富岡町
		No.	1	2	3	4	2	9	2	8	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22

(単位 mGy)

mGy)		測定日数																						
(単位 m		₩ ₩																						
<b>当</b> )		線量																						
		積算線量																						
		ful JX																						
		測 日 数																						
		積算線量																						
		測定 日数																						
		積算線量																						
	9	測定日数	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91
	. 6 ~R5. 7.	[算線量	(0.48)	(0.46)	(0.64)	(0.24)	(0.20)	(0.30)	(0.35)	(1.2)	(2.4)	(0.49)	(5.7)	$(1.1^{*2})$	(3.9)	(0.67)	(0.56)	(0.74)	(6.9)	(0.23)	(0.66)	(0.23)	(0.61)	(3.4)
	R5. 4.	積	0.49	0.46	0.65	0.24	0.21	0.30	0.35	1.2	2.4	0.50	5.8	$1.1^{*2}$	4.0	0.68	0.57	0.75	10	0.24	0.67	0.23	0.62	3.4
	測定期間	測定項目	かみておか上手手間	みったし	かいのきか	ごまいざわ五枚沢	かみかわうち 上川内	*************************************	あきひがおか 旭ケ丘	野がみ	くまがわり	大 野	まっとぎわ 夫が祝	ゅっか み 湯 の 神	5x 5 C* Hts 長者原	きょう さく 清 戸 道	こおりやま剤	ながる様	并手手	ight of the second of the sec	が野田	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	がかを塔	ひ るさ ね 昼 曽 根
		測定地点名	富岡町	川内村	川内村	川内村	川内村	大熊町	大熊町	大熊町	大熊町	大熊町	大熊町	大熊町	大熊町	双葉町	双葉町	双葉町	浪江町	浪江町	浪江町	浪江町	浪江町	浪江町
		No.	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44

(単位 mGy)

V											ſ
		測定期間	R5. 4.	. 6 ~R5. 7.	. 6						
No.	) 測定地点名	測定項目点名	積第	算線量	通定田数	積算線量	原 足 教	積算線量	) 河 数	積算線量	测日定数
45	5 後江町	が、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	0.97	(0.96)	91						
46	5 萬尾村	おおはなち大放	0.29	(0.29)	91						
47	7 葛尾村	は か も で	0.40	(0.39)	91						
48	3 葛尾村	のゆき野・行	1.3	(1.3)	91						
49	9 南相馬市	. 清	0.21	(0.21)	91						
50	) 南相馬市	なななる。	0.23	(0.23)	91						
51	1 南相馬市	からまま 川 房	0.69	(0.68)	91						
52	2 南相馬市	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	68.0	(0.38)	91						
53	3 南相馬市	南	0.17	(0.16)	91						
54	1 南相馬市	**************************************	0.17	(0.17)	91						
22	5 南相馬市	かばま	0.15	(0.15)	91						
26	3 南相馬市	. * * * 原	0.30	(0.30)	91						
22	7 南相馬市	, m to the factor of the facto	0.21	(0.21)	91						
28	3 飯舘村	おらびだいら 蕨	09.0	(0.59)	91						
59	9 飯舘村	な ** * * 5 長 ** * 祝	$0.36^{*1}$	$(0.36^{*1})$	91						
09	) 飯舘村	がいとが飯	0.45	(0.45)	91						
61	飯舘村	うすいし	08.0	(0.79)	91						
62	2 飯舘村	くきの草	0.69	(0.68)	91						
63	3 川俣町	やまきやさかした 山木屋坂下	0.66	(0.65)	91						
64	4 川俣町	や <sub>まき</sub> や 山 木 屋	0.27	(0.27)	91						
(#	) 1 (	) 内計90日挽管値	拗質値						Ì		

( ) 内は90日換算値 拱) 1

No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径2km未満の地域\*1 令和5年4月6日に設置場所を移設した影響による低下\*2 周辺の除染作業の影響による低下 01 to 4

型 国 证 单位 放射能濃度:Bq/m³ 測定時間:h 真演 上段:平均值 (下段):最大値 単元 運河 当所 R6. 1 真質 選定事 12 運油 単元 Ξ 運河 単記記 10 運貨 祖 海 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 運運 通信 運河 672 648 672 720 720 720 720 720 720 720 720 654 654 単元 (0,065) (0.067) (0.070) 0.028 0.052 (0.14)0.049 (0.17) 0.013 0.033 (0.11) 0.016 0.039 (0.12) 0.022 (0.064) 0.042 (0.095) 0.011 0.052 (0.23) 0.013 (0.081) 0.055 (0.25) 744 744 744 684 744 744 726 726 祖祖 祖祖 684 684 684 684 744 0.030 0.012 (0.048)(060.0) 0.014 (0.058) (0.108)0.018 (0.084) 0.040 (0.14)0.014 (0.101) (0.092) (0.31) (0.13)0.052 (0.19)0.034 0.037 0.062(0.36) 0.017 0.025 (0.10)0.049 0.067 運河 720 720 祖祖 祖祖 720 720 720 720720 720720 720 720 720 720 720 R5.4 (0, 067) (0.23) 0.038 (0, 055) (0.11) 0.068 (0.45)(0.15) 0.035 (0.16)0.0590.015 (0.073) (0.12) 0.014 0.037 (0.10) 0.019 0.041 0.016 (0.18) 0.019 (0.14) 0.074 0.028 0.051 (0.21) 運河 5-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ペータ放射能 1177 全アルファ 金アルフ 苯 \* 苯 苯 \* 苯 \* 本 \* \* \* γ γ 4 4 ₩ 7 # # 放 英 ₩ 放 ₩ 枚 敚 殸 ₩ 菽 4# 茶 菽 4# ₩ 菽 敚 ∜ 菽 敚 <sub>έ</sub>Ξ <sub>é</sub>E きだ が 書 路 리**슨** 기**는** 후 <sup>2,1</sup>(rB ₩ ′¥ 田村市 広野町 楢葉町 川内村 楢葉町 福岡町

ıo

9

2

es

720

0.028

744

720

茶

放  $\; \Leftrightarrow \;$ 

\*\*\*

大熊町

∞

0.033 (0.29)0.12 (0.89)

4

菽

7

(0.16)0.032 720

0.10 (0.68)

744

0.11 (0.62)

720

菽

	事 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国																		
eo	通定																		
23	題和																		
	三三世																		
R6. 1	選定 計画 記述																		
	通定																		
12	題都																		
	測定																		
	測定時間																		
11	通声																		
	過定時間																		
10	通定																		
	型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型																		
6	通定																		
	通過																		
∞	通定																		
	題定																		
7	通定																		
		720	720	720	720	720	720	636	636	672	672	099	099	720	720	720	720	720	720
9	通海	0.012 (0.083)	0.058 (0.28)	0.011 (0.054)	0.039 (0.13)	0.017	0.036 (0.14)	0.032 (0.12)	0.070 (0.21)	0.037	0.063 (0.24)	0.016	0.035	0.011 (0.081)	0,062 (0,27)	0.010 (0.072)	0.053 (0.24)	0.013 (0.092)	0.060
		744	744	744	744	672	672	744	744	744	744	744	744	744	744	744	744	744	744
10	通定	0.012 (0.085)	0.059	0.012 (0.053)	0.042 (0.13)	0.019 (0.073)	0.038 (0.12)	0.030 (0.157)	0.070 (0.28)	0.038	0.068	0.016 (0.078)	0.036 (0.12)	0.016 (0.083)	0.076 (0.31)	0.011 (0.073)	0.057	0.015	0.067
	過定時間	720	720 (	720	720 (	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720	720 (
R5. 4	河海	0.015 (0.10)	0.066	0.012 (0.050)	0.043	0.022 (0.10)	0.043 (0.17)	0.029 (0.16)	0.068	0.043 (0.24)	0.073 (0.34)	0.018 (0.057)	0.039	0.019 (0.12)	0.085 (0.42)	0.013 (0.082)	0.061	0.016 (0.097)	0.070 (0.31)
	ш	77 (	を 3	7 7 ((	夕 郶	77 (	タ 細	77 (	夕 器	77 (	夕 郶	7 7 ((	夕 錦	77 (	多龍	7 7 ((	夕 錯	7 7 ((	₹ 總
	測定項目	金アルブ放射	金水水	金ブルン放射	かが、	金フルン放射	会を対し、	金アルン放射	会を対し、	金イル、教	金べる	金アルン放射	かが、	金アルン	金ベー放射	金アルン放射	が及り、	金イル、株林	金ベーを発
H	/		.K		∃ =	د	権		4	\$			<b></b>		<b>供</b>		<b></b>	÷	岻
測定年月		, , ,		22			刺		大 補	¢	EX	*		5		4	库		<del>K</del>
$\  / \ $	测定地点名		展開		₩X E	旨是			7.15.17.m]	拉加斯			<b>用相场</b>	## 早 #			瀬 語 村	H 0/1	
	No. / 測定#		K 		21		1		21		2		4. EE		er er		91		3

注) 1 №.の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5㎞未満の地域

 $^{144}$ Ce R R 8 9 9 8 N R 2 2 Ð 9 9 B N 9 9 N N 8 2 8 9 9  $\Theta$ N 8 9 ND R 8 B 9 9 2 N 0.0120.0760.043 0.014 0.012 0.0260.093ND 0.083 0.057 0.008 0.0470.0560.024 0.093 0.0090.0270.14 0.25 0.17 0.54 0.13 0. 11 0.21 0.11 2 2 2 2 B 2 2 2  $\supseteq$ 600 2 2 2 Ð 8 8 2 包  $\Box$ 2  $\mathbb{R}$  $\Box$ 8 B 2 2 2  $\supseteq$ 8 8 2 R  $\mathbb{R}$ Ð  $\Box$  $\exists$ 2 2  $\Box$ 2 999 R B 9 9  $\exists$ 8 8 8 8 9 9 9 9 9  $\exists$ 8 8  $\mathbb{R}$ 9 9 9  $\mathbb{R}$ 8 8 8 999 9 9  $^{106}\mathrm{Ru}$ 見見 9  $\Box$ 9 9 見見 999 9  $\mathbb{R}$ 見見  $\mathbb{R}$ ND  $\mathbb{R}$ 999  $\mathbb{R}$  $\mathbb{R}$ 9 8 8 2222 2 (mBq/m<sup>3</sup>  $\exists$ 2 2  $\exists$ 2 2 9 9 9 9 R 2 2 2 2 2 2  $\Theta$ 2 2  $\exists$ 9 9  $\mathbb{R}$ 2 2  $\Theta$ 2  $\Theta$  $\exists$  $\exists$ 999  $\exists$ B 庚 ND ND 8 8 999 8 8 999  $\mathbb{R}$ 2 2 8 8 9 ND 2 2  $\mathbb{R}$ R 8 2 8 8 8  $\exists$ 8 8 2222 8 種 2 2 2 9 9 8888 9 9 9 2222 9 2 2 2  $\mathbb{R}$  $\exists$ 2  $\supseteq$ 9 9 2 2 2 2 2 9 9 2 B 2 2 2  $\Box$ 8  $\mathbb{R}$ M R 2 2 2 2  $\supseteq$ 9 9 2 2 B S S 2  $\exists$  $\exists$  $\mathbb{R}$ 9 9  $\mathbb{R}$ 8  $\mathbb{R}$ 8 8 9 9 2 9 9 2  $\mathbb{R}$ 8 8  $\mathbb{R}$  $\exists$  $\Box$ 2  $\mathbb{R}$ 2 8  $\mathbb{R}$  $\mathbb{R}$ 9 9  $\mathbb{R}$ 8 2 54Mn  $\mathbb{R}$ ND 8 8 9 9 9 2 9 9 9  $\mathbb{R}$ ND 9 9 9 B B 9 8 ND  $\exists$  $\exists$ 8 N N  $\Theta$ 9 9 ND  $\exists$ N N  $\exists$ 8 2  $^{51}\mathrm{Cr}$  $\Box$ B 2 2 見見 2 2 R B 2  $\exists$  $\exists$  $\exists$  $\exists$  $\mathbb{R}$  $\exists$  $\exists$  $\exists$ 2 2  $\exists$  $\Theta$  $\exists$  $\exists$  $\mathbb{R}$  $\mathbb{R}$  $\exists$  $\exists$  $\exists$  $\exists$  $\supseteq$  $\mathbb{R}$ 2 5. 6. 7 6. 5. 7. 7 7 7 ъ. 9 7 ъ. 9 7 6. 7 ъ. ъ. 7 6. 5. 9 7 ъ. 9 5. 6. 7 ъ. 9 ъ. 9 7 噩 R5. 浑 ? ? ? ? ? ? 7 ? ? 7 ? 7 7 ? 7 ? 7 ? 7 ? 7 ? 7 7 7 ? ? ? 7 ? ? ? ? 母 5. 9 4. 5. 6. 4. 5. 6. 4. 5. 9 4. ъ. 9 4. г. 6. 4. 5. 9 4. 5. 9 4. 5. 9 4. 5. 9 4. 5. 6. 4 5. 9 R5. (連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) 連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) 連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) (連続ダストモニタ) みやこじうまあらいと 都路馬洗戸 これ者があり、 \*\* ドガダム 木戸ダム Ltmbjt 下 川内 おおき大権ダム を発生を発生した。 お小 ぎ 世 で は 記 が 国 お大の事 こおりやま郡 ž 決 以 名 ξŧΚ うさま市 田村市 浪江町 広野町 川内村 楢葉町 楢葉町 富岡町 大熊町 大熊町 液江町 10 11 12 % 2 ಣ 4  $\infty$ 6 \_ Ŋ 9

5-2-2(1) 大気浮遊じんの核種濃度

$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$									校	種	度 (mBa/m³)	'm³)				
### (### A 1 ~ #	No.	異	垣	取期	$^{51}\mathrm{Cr}$	<sup>54</sup> Mn	co <sub>se</sub>	$^{59}\mathrm{Fe}$	O2 <sub>09</sub>	$^{95}\!\mathrm{Zr}$	95NF		$^{125}\mathrm{Sb}$	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce
##RFF (#WF 7 Fee = 7)			상 ( 호)	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
「			夏 湯	5. 1 $\sim$ R5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND
(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)		( <u>)</u>	<b>連続ダストモニタ)</b>	6. 1 $\sim$ R5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND
####################################			いずみさわ	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	N	ND	ND	N	ND	ND	ND	0.017	ND
####################################			光 、	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	N	ND	R	ND	N	R	N	N	R	ND	ND
(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)			重続ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND
##1			かいばま	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND
(			画 洪	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND
### (中学学)			<b>連続ダストモニタ)</b>	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
### (1967 + 1974 )			いたみさわ	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND
14(4)  14(4)			伊书祝	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND
(		<u>(1)</u>	重続ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	N	ND	ND	N	ND	ND	N	0.013	ND
140年			라. # 라.	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
(14年) (144			图 米 四	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND
(サントラ ( アード		( <u>)</u>	<b>連続ダストモニタ)</b>	6. 1 $\sim$ R5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
(ナウき計 (リアルタイム) R5 6.1 ~ R5. 7.1 ND			ひきのはま 久 之 浜	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	18 113	ひゃ出	(リアルタイム	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
快報売         R5 4.1 ~ R5 5.1 ~ R5 5.1 ND			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	MD	ND	ND
いわき計         (リアルタイム)         (R.5. 5. 1 ~ R.5. 6. 1)         ND			しもおけうり 下 桶 売	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
対策計画         形5、6.1 ~ R5、7.1 ~ ND	19 113	ちゃま	(リアルタイム	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大統則         (リアルタイム			<sub>かわまえ</sub> 川 前	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大熊町 大熊町 (リアルタイム)         R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1         ND	20 113	ひゃ出	(リアルタイム	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大熊町 (リアルタイム) R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1 ND			tabeletik 向 角	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.037	ND
双葉町 $f(x) = f(x) = f$		熊町	(リアルタイム	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	ND
政権         前         R5 4 1 ~ R5 5 1         ND			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND
双葉町 (リアルタイム R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1 和 ND			&∃ ** */田	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	ND
対応能力         R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1         ND		(兼5	(リアルタイム	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.084	ND
対応 信         投が 意介         R5 も 1 ~ R5 5.1         ND			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.16	ND
双葉町 (リアルタイム (アルタイム) R5. $6.1$ $\sim$ R5. $6.$			しんぎん 新 山	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.037	ND
グストモニタ)       R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1       ND		無可	(リアルタイム	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	MD	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.059	ND
$\frac{h^2 h^2 h^2 h^2}{2 h^2 h^2}$ R5. 4. 1 $\sim$ R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1 $\sim$ R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 1 ND			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND
双葉町 (リアルタイム R5. $6.1$ $\sim$ R5. $6.1$ ND			かみはとり上が	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
$R5.~6.~1~\sim~R5.~7.~1$ ND		集]	(リアルタイム	5. 1 $\sim$ R5. 6.	N	ND	ND	N	ND	ND	R	ND	N	N	0.051	ND
			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND

A	-		14	4					核	種濃	度 (mBq/m³)	'm³)				
(中) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	O		Ę	<b>松</b>	$^{51}\mathrm{Cr}$	<sup>54</sup> Mn	°28Co	$^{59}\mathrm{Fe}$	O) <sub>09</sub>	$^{95}\mathrm{Zr}$	$q_{\mathrm{N}_{\mathrm{96}}}$	<sup>106</sup> Ru	<sup>125</sup> Sb	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\mathrm{Cs}$	$^{144}\mathrm{Ce}$
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			みなみつしま 南 津 島	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.046	ND
(中) (大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・大大・	52	浪江町	(リアルタイム	5. 1 $\sim$ R5. 6.	N	ND	ND	N)	ND	ND	ND	ND	ND	N	0.083	ND
(株別人) (株別人			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	N N	ND	ND	© N	ND	ND	R	ND	ND	N	0.062	ND
(大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大			よこかも横川ダム	4. 1 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	N)	ND	ND	N	0.055	ND
		南相馬市		5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	N	N N	ND	ND	R	N	ND	N	0.062	ND
(タストサンプラー) (Ric 4.3 ~ 68.5.1   20 2			ダストモニタ)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND
(株式 マンチングラ) (R. G. I - 2 R. G. I N D N D N D N D N D N D N D N D N D N			か か な が 無	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
(オストサンブラ) E.B. E. 1 ~ RE, 2.1 M NO	22	広野町		5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND
(4×1-4×1-4) (4×1				6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND
### (タストサングラ) R5 5.1 ~ R5 5.1 8 N9			やまだおか	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	N)	ND	ND	N)	ND	ND	N	ND	ND
(メストサンプラー) Ris G 1 ~ Ris G 2 3 ~ Ris G 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	82	楢葉町	国田 三	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	N)	ND	ND	(N	ND	ND	N	ND	ND
(タストサンブラ) R5 5.1 ~ R5 6.1 NO			(タストサンプラー)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
### (*** *** *** *** *** *** *** *** ***			ئەر ئەر ئەر	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	N)	ND	ND	N	ND	ND	N	ND	ND
(メント・サンプラー) R. G. 1 ~ R. G. 7 3	67	楢葉町	以	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ON	ND	ND	ND	0.019	ND
(メストサンブラー) (R.5.5.1 ~ R.5.5.1 ) ND			(タストサンファー)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
## ### ### ### ### ### ### ### ### #			なみくら	4. 3 $\sim$ R5. 5.	N	ND	ND	ND	ND	ND	N)	ND	ND	N	ND	ND
(タストサンプラン) R5 G G 1 ~ R5 G 1 の ND	30	楢葉町	(漢) (漢)	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	N)	ND	ND	N)	ND	ND	N	0.024	ND
## (			(タストサンプラー)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.037	ND
##  ##  ##  ##  ##  ##  ##  ##  ##  #			本分でおりやま -	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
(タントサンプラー)   R5 6.1 ~ R5.7.3 ND	31	富岡町		5. 1 $\sim$ R5. 6.	R	ND	N	R	ND	ND	R	N	ND	N	ND	ND
電効性         (メストサンブラー)         (R5 4.1 a)         (R5 5.1 a)         (R5 6.1 a)         (R0 6.1 a)         (R0 7.1 a) </td <td></td> <td></td> <td></td> <td>6. 1 <math>\sim</math> R5. 7.</td> <td>ND</td> <td>0.037</td> <td>ND</td>				6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.037	ND
範囲         下野山 (タストサンブラー)         R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1         ND			しもこおりやま	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
### (サンプラン) ### (サントサンプラン) ### (サンプラン) ### (カンプラン)	32	富岡町	日常	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
範囲         表の様         R5 4.3 ~ R5 5.1         ND			(タストサンフラー)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.030	ND
ability (タストサンブラー) R5. 6. 1 ~ R5. 6. 1 ND			표 변경 -	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.038	ND
(タストサンプラ)         R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3         ND         <	33	富岡町		5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.032	ND
技能         (タストサンプラー)         R5. 5. 1         R5. 6. 1         ND         N				6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	MD	0.057	ND
大熊町 (ダストサンプラー)     R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1     ND     ND <t< td=""><td></td><td></td><td>みなみだい</td><td>4. 3 <math>\sim</math> R5. 5.</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>ND</td><td>0.10</td><td>ND</td></t<>			みなみだい	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND
検証的         (タストサンプラー)         R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3         ND	34	大熊町		5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND
<ul> <li>検え着</li> <li>(タストサンプラー)</li> <li>R5.5.1 ~ R5.6.1</li> <li>ND ND</li> </ul>			(タストサンフラー)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	(N)	ND	ND	ND	0.39	ND
设立所 (ダストサンプラー) R5. 6. 1 ~ R5. 6. 1 ND			4) 4	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
(タストサンファー)       R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3       ND	35	浪江町	後江	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	N)	ND	ND	ND	ND	ND	N	090.0	ND
海着も損       R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1       ND			(タストサンプラー)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND
田村市 (簡易型ダスト R5.5.1 ~ R5.6.1 ND			産きお着	4. 3 $\sim$ R5. 5.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
$-)$ R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3 ND	36	田村市	(簡易型ダスト	5. 1 $\sim$ R5. 6.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			サンプラー)	6. 1 $\sim$ R5. 7.	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	N	0.004	ND

Ñ	-1	五万	松 臣 田					核	種濃	度 (mBq/m³)	/m³)				
INO.	•	Ę	<b>松</b>	$^{51}\mathrm{Cr}$	54Mn	$^{\rm o}$	$\theta_{ m H_{6g}}$	$^{\mathrm{O}}\mathrm{O}_{09}$	$^{95}\mathrm{Zr}$	$qN_{g_6}$	<sup>106</sup> Ru	$^{125}\mathrm{Sb}$	$^{134}\mathrm{Cs}$	$^{137}\mathrm{Cs}$	$^{144}$ Ce
		************************************	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	ND	ND	QN	ŒΝ	ON	ND	ND	ON	ND	ND	ΩN	ON
37	田村市	(簡易型ダスト	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	ND	ND	QN	ŒΝ	QN	ND	N	QN	ND	N	ΩN	ND
		サンプラー)	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND
		*************************************	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	ND	ND	QN	ΩN	ON	ND	ND	ON	ND	ND	0.004	QN
38	田村市	(簡易型ダスト	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	ND	ND	QN	ΩN	ON	ND	ND	ON	ND	ND	800.0	ND
		サンプラー)	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. $3^{*1}$	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
		**************************************	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
39	川内村	(簡易型ダスト	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	ND	ND	QN	ŒΝ	ON	ND	N	ON	ND	N	0.014	ND
		サンプラー)	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND
		居 場	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	ND	ND	QN	ŒΝ	ON	ND	ND	ON	ND	ND	0.031	ND
40 ₱	南相馬市	(簡易型ダスト	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.044	ND
		サンプラー)	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.075	ND
		**** **** ***	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.033	ND
41	南相馬市	(簡易型ダスト	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
		サンプラー)	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.048	ND
		できばら梅原	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	ND
42 ₽	南相馬市	(簡易型ダスト	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND
		サンプラー)	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	ND	ND	QN	ΩN	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.025	ND

\*1 簡易型ダストサンプラーが停電のため、R5.6.12 11:22~ R5.6.11 11:23まで停止した。

		<sup>144</sup> Ce	ND	ND	ON	ON	ND	ND	ON	ND	ND	ND	ND	ND	ON	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		$^{137}Cs$	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.033	ND	ND	ND	ND	ND
		$^{134}$ Cs	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		$^{125}\mathrm{Sb}$	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		<sup>106</sup> Ru	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	度 (mBq/m³)	$q_{N^{36}}$	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	種濃	$^{95}Zr$	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	核	оЭ <sub>09</sub>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		<sub>59</sub> Fе	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		<sub>58</sub> Co	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		<sup>54</sup> Mn	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		$^{51}\mathrm{Cr}$	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
対照地点)	E		R5. 4.6	R5. 5.10	R5. 6.7	R5. 4. 5	R5. 5. 9	R5. 6. 2	R5. 4. 7	R5. 5.11	R5. 6. 6	R5. 4. 5	R5. 5. 9	R5. 6. 2	R5. 4. 7	R5. 5.11	R5. 6. 6	R5. 4. 7	R5. 5.11	R5. 6. 6	R5. 4. 5	R5. 5. 9	R5. 6. 2
度 (比較	2 田田	Хh	4.5 $\sim$	$\sim$ 6.9	$\sim$ 9.9	4. 4 $\sim$	$5.8 \sim$	6. 1 $\sim$	4. 6 ~	$5.10$ $\sim$	6. 5 $\sim$	4. 4 $\sim$	$5.8 \sim$	6. 1 $\sim$	4. 6 $\sim$	$5.10$ $\sim$	6. 5 $\sim$	4. 6 $\sim$	$5.10$ $\sim$	6. 5 $\sim$	4. 4 $\sim$	$5.8 \sim$	6. 1 $\sim$
)核種濃			R5.	. R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.	R5.
-2-2(2) 大気浮遊じんの核種濃度(比較対照地点)	TĮ		ボッキ 半 田 ※ 田 ※	(簡易型ダスト	サンプラー)	道手動	(簡易型ダスト	サンプラー)	***	(簡易型ダスト	サンプラー)	陪和斯	(簡易型ダスト	サンプラー)	" 田 曹	(簡易型ダスト	サンプラー)	まれた。	(簡易型ダスト	サンプラー)	**国 2 2 世	(簡易型ダスト	サンプラー)
2(2) 大気	7			福島市			会津若松市			報口市			白河市			相馬市			伊達市			南会津町	
-2-	ž	NO.		П			2			က			4			5			9			7	

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 「-」: 欠測2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。3 ろ縦の灰化処理はせず、ろ縦を直接08容器で測定した。

53

5-2-6	3(1) 大気中水	5-2-3(1) 大気中水分のトリチウム濃度			
			トリチウム濃度	度	備考
No.	0. 地 点 名	探 取 期 間	大気中濃度 (mBq/m³)	捕集水濃度 (Bq/L)	大気中水分量 (g/m³)
	一 梅 瀬 町	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	5.4	0.74	7.3
		R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	8.6	0.90	9.6
	Lif san 繁 岡	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	9.2	0.65	14
	富岡町	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	5.1	0. 68	7.5
2		R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	9.0	0.60	10
	2.5.4. **********************************	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	12	0.81	15
	大熊町	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	7.0	0.95	7.4
6		R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	11	1.1	9.8
	*************************************	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	12	0.81	15
	大熊町	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	16	2.1	7.7
4		R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	28	2.7	10
	#っと 決 税	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	36	2.4	15
	双準町	R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	15	1.9	7.8
5		R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	20	1.9	10
	まか やま 計	R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	20	1.3	16

No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域 ( 注

3 検出限界値はおおむね5mBq/m³以下

<sup>2 「</sup>ND」:検出限界未満 「一」:欠測

5-2-3(2) 大気中水分のトリチウム濃度(比較対照地点)

(注) 「ND」: 検出限界未満 数値は有効数字2桁にて表記

5-2-4(1) 降下物の核種濃度

(I)# :		年一初278年版区	反反				-								ć				
Ž	幸	五谷		Ħ	単組							核種	濃度	$(Bq/m^2 (MBq/km^2)$	q/km²) )	•	•	•	
740				₹				$^{51}\mathrm{Cr}$	<sup>54</sup> Mn	<sub>58</sub> Co	$^{29}\mathrm{Fe}$	60°Co	$^{95}\mathrm{Zr}$	$^{95}\mathrm{Nb}$	<sup>106</sup> Ru	$^{125}\mathrm{Sb}$	$^{134}\mathrm{Cs}$	$^{137}\mathrm{Cs}$	$^{144}$ Ce
			R5.	4. 4	?	R5. 5.	2	ON	ON	N	N	ND	ON	ND	N	N	ON	0.51	ND
П	いわき市	i Oseottま i 久之策	± R5.	5. 2	?	R5. 6.	2	ND	ND	N	N	N	ND	N	R	N	ON	1.7	ND
			R5.	6. 2	?	R5. 7.	4	ND	ND	N	N	ND	ND	ND	N	N	ON	0.38	ND
			R5.	4. 4	?	R5. 5.	2	ON	ON	N	N	ND	ON	ND	N	N	ON	1.0	ND
2	田本計	がかれる	k R5.	5. 2	?	R5. 6.	2	ND	ND	N	N	N	ND	N	R	R	ON	1.3	N
		i	R5.	6. 2	?	R5. 7.	4	ND	N	N N	N	N	ND	N	N	N	ND	1.1	N
			R5.	4. 3	?	R5. 5.	1	ON	ND	N)	ND	ND	ON	ND	N	ND	ON	4.2	ND
3	富岡町	で みな 西 で 数 下	n R5.	5. 1	?	R5. 6.	1	ND	ND	N	N	ND	ND	ND	N	N	ON	2.7	ND
			R5.	6. 1	?	R5. 7.	3	ND	ND	N	N	N	ND	N	R	R	ON	2.9	N
			R5.	4. 3	?	R5. 5.	1	ND	ND	N)	N	M	ND	M	M	N	1.3	28	N
4	大熊町	ねています。	F R5.	5. 1	?	R5. 6.	1	ND	ND	N	N	N	ND	N	R	R	0.30	14	N
			R5.	6. 1	?	R5. 7.	3	ND	ND	N)	N	N	ND	N	R	N	0.23	10	N
			R5.	4. 3	?	R5. 5.	1	ND	ND	N N	N	N	ND	M	N	N	3.5	160	ND
2	双葉町	におりやま	<sup>±</sup> R5.	5. 1	?	R5. 6.	1	ND	N	N N	N	N	ND	N	N	N	0.61	29	N
			R5.	6. 1	?	R5. 7.	3	ND	ND	N N	R	N	ND	N	R	R	0.81	38	N
			R5.	4. 3	?	R5. 5.	1	ON	ND	N)	N	N	ND	ND	N	N	0.10	6.0	ND
9	南相馬市	「香では米	ξ R5.	5. 1	>	R5. 6.	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.5	ND
			R5.	6. 1	?	R5. 7.	3	ND	ND	© N	R	N	ND	N	R	R	ND	0.96	N
			R5.	4. 4	?	R5. 5.		ND	ND	N)	N	ND	ND	M	N	N	ND	9.6	N
2	浪江町	ななりなります。	R5.	5. 2	?	R5. 6.	2	ND	ND	N N	N	N	ND	N	R	N N	ND	6.4	ND
	· :	:	R5.	6. 2	?	R5. 7.	4	ND	ND	© N	R	N	ND	N	R	R	ND	5.0	N
			R5.	4. 4	?	R5. 5.	2	ND	ND	N)	N	M	ND	M	N	M	96.0	48	N
∞	浪江町	で使った。	R5.	5. 2	?	R5. 6.	2	ND	ND	N	N	ND	ND	ND	N	N	ND	16	ND
			R5.	6. 2	>	R5. 7.	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	ND
			R5.	4. 4	?	R5. 5.	2	ND	ND	N	ND	ND	ND	ND	N	ND	ON	12	ND
6	葛尾村	がながる	R5.	5. 2	?	R5. 6.	2	ND	ND	N	N	ND	ND	ND	N	N	ND	11	ND
			R5.	6. 2	>	R5. 7.	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8.3	ND
			R5.	4. 4	?	R5. 5.	2	ND	ND	N	ND	ND	ND	ND	N	ND	ON	9.2	ND
10	川俣町	やませる日本	R5.	5. 2	>	R5. 6.	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	9. 5	ND
			R5.	6. 2	>	R5. 7.	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.3	ND
注)	1 No. 6	り網掛け音	部分は東	京電力.	ホード	ディングス	、株式会社	留島第一原子	No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域	・ら半径5km未	き満の地域								

1 No. の網掛け部分は果児 2 「ND」: 検出限界未満

2) 降下物(	1の核種濃度	芟 (比較対照地点)												
4		#					核	種 濃 度	$(Bq/m^2)$	$(MBq/km^2)$ )				
H H	ή. Έ	坏 收 朔 间	$^{51}\mathrm{Cr}$	<sup>54</sup> Mn	<sub>58</sub> Co	<sub>59</sub> Fe	$^{\mathrm{O}}\mathrm{O}_{09}$	$^{95}\mathrm{Zr}$	$q_{ m N}_{ m 26}$	<sup>106</sup> Ru	$^{125}\mathrm{Sb}$	$^{134}$ Cs	$^{137}\mathrm{Cs}$	$^{144}$ Ce
		R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	ON.	ON	ND	ND	QN	ON.	N)	ON	ON.	0.20	7.0	ND
福島市	まっきた 大米田 米田米	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	QN	ON	ND	ON	QN	QN	(N)	QN	(N	0.056	4.4	ND
		R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND
		R5. 4. 3 $\sim$ R5. 5. 1	ŒN	ND	ND	ND	QN	ON	ON.	ON	QN	QN	0.39	ND
三春町	深。"然	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1	(IN)	ND	ND	ND	QN	ND	ND	ND	ON	QN	0.25	ND
		R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND

(注) 1 「ND」:検出限界未満 「/」:対象外核種 2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

1	試料名	種類又は	探取地点番号	採取	功典	全~"一数射能									颒	榧	斃	風										
1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1		新位	A OTKAKIEM-T	1		搬	<sup>51</sup> Cr	S4Mn	°C°														$\eta^{862}$	™ <sup>SIS</sup> Pu	239-210 <b>Pu</b>	J 2411Am	<sup>244</sup> Cm	у Ж
2         由時間 搭載         RS. 5.18         (2)         No.			中を合い	rc,		\	ON	ON	ON	ND	ND	ND	ND				(A)		\	0.26		0.	8.3	ND	0.03	测定中	测定中	650
4			田村市	rö.		\	ON.	ND	ON.	ND ND	ON.	ND ND					(A)		\	0.54		0.	12	ON.	ND	測定中	測定中	730
4 Making light         150 Making light </td <td></td> <td></td> <td>広野町</td> <td></td> <td></td> <td>\</td> <td>ON.</td> <td>ON</td> <td>QN.</td> <td>ON.</td> <td>ON.</td> <td>ND ON</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>\</td> <td>1.1</td> <td></td> <td>0.73</td> <td>15</td> <td>©.</td> <td>0.07</td> <td>測定中</td> <td>測定中</td> <td>610</td>			広野町			\	ON.	ON	QN.	ON.	ON.	ND ON					0		\	1.1		0.73	15	©.	0.07	測定中	測定中	610
5         面面			检集町			\	ON	ON	ON	ND	ND	ND					(A)		\	ON		0	20	Q.	Ø	測定中	測定中	520
1         大幅性 記憶         1         ND			當岡里	rej		\	QN.	ON	ON	ND ND	ON.	ND ND			LC)		0		\	ND		0.	3.6	ON.	ON	測定中	測定中	240
44         8         Ackert 33%         R. 5.31         Bokest         7         80         80         80         80         80         80         80         80         630         80         7         7         6         16         16         16         10           44         8         Ackert         8         6         30         80         80         80         370         80         7         7         40         13         0           10         Mace         10         Mace         10         ND			川内村			\	QN.	ON.	ON	ON.	ND ON	ND ND			8		0		\	ON.		1.2	25	R	Ø	测定中	测定中	820
分類         Name (a)         Name (b)         Name (c)			大熊町			\	ON.	ND	ON.	ND ND	ON.	ND ND					(A)		\	16		0.	15	ON.	0.05	測定中	測定中	380
According lighting         R.B. 5.26         No.         No. <td>土壌</td> <td></td> <td>双葉町</td> <td></td> <td>Bq/kg幣</td> <td>\</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ND</td> <td>ND</td> <td>1.6</td> <td>ND</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(A)</td> <td></td> <td>\</td> <td>40</td> <td></td> <td>0.</td> <td>17</td> <td>0.05</td> <td>0.28</td> <td>测定中</td> <td>测定中</td> <td>310</td>	土壌		双葉町		Bq/kg幣	\	ON	ON	ND	ND	1.6	ND					(A)		\	40		0.	17	0.05	0.28	测定中	测定中	310
解析 指摘         R.S. 5.28         N.S. 5.29         N			後江町			\	ON	ON	ON	ND	ND	ND			4		(A)		\	1.4		1.10	20	Q.	0. 18	測定中	測定中	290
Mathatificiary		1	真尾村			\	ND	ND	ND	ND	ND	ND					(A)		\	0, 36		.0	17	(N	0.01	測定中	測定中	650
Manufaction for the control		1	南相馬市			\	ND	ND	ND	ND	ND	ND					/		\	1.3		0.6	13	ND	0.14	測定中	測定中	440
Meable With: "The collapse of the coll			南相馬市			\	QN	QN	ON	ND	ND ND	ND					(A)		\	0.71		0.	6.4	R	R	測定中	測定中	340
##Will #### ### ### ### ### ##   No   No   No		1	飯舘村			\	ON	ON	ND	ND	ND	ND			4		(A)		\	0.80		0.	10	ND	ON	测定中	测定中	800
III/OFF   11/15   11		-	飯館村			\	ND	ND	ND	ND	ND	ND					/		\	0.47	.6	0.	8.9	ND	0.05	測定中	測定中	069
		1	川俣町			\	ON	ON	ND	ND	ND	ND					(A)		\	2.4		0.	6.9	ND	0.36	测定中	测定中	530

| <sup>⊕</sup>      | 0.031  | 0.031                                 | QN       | ND  | ON       | QN       | ND                                    | 0.028  | 0.085   
   
  | 0.045   | 0.089   | ND   
  | 0.031  
   | \  | \  
  | \                                     | \  | \           | \        | \          | \  | \  | \   
  | \         | \        | \          | \                                     | `                                     |
|-------------------|--|---------------------------------------|----------|---|----------|----------|---------------------------------------|--
--
--|---|---
--
---|--|--
---|---------------------------------------
--|-------------|----------|------------|--|--|--|-----------|----------|------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 244Cm             | /  | \                                     | \        | /   | \        | \        | \                                     | \  | \   
   
  | \   | \   | /  
  | \  
   | /  | /  
  | \                                     | \  | \           | /        | \          | /  | \  | /   
  | \         | /        | \          | /                                     | ,                                     |
| <sup>241</sup> Am | /  | \                                     | \        | \   | \        | \        | \                                     | \  | \   
   
  | \   | \   | \  
  | \  
   | \  | /  
  | \                                     | \  | \           | /        | \          | /  | \  | /   
  | \         | /        | \          | /                                     |                                       |
| 239+240Pu         | \  | \                                     | \        | \   | \        | \        | \                                     | \  | \   
   
  | \   | \   | \  
  | \  
   | ND   | 0.008  
  | 0.015                                 | ND   | 0.018       | QN       | ND         | 0.007  | 0.011  | 0.010   
  | 0.012     | ND       | ND<br>ON   | ND                                    |                                       |
| 238Pu             | /  | \                                     | \        | /   | \        | \        | \                                     | \  | \   
   
  | \   | /   | /  
  | \  
   | Ð  | ©.   
  | Ø                                     | Ø  | Ð           | ©.       | Ø          | ON.  | Ð  | ©.  
  | Ð         | ©.       | Ð          | Ø                                     |                                       |
| <sup>90</sup> Sr  | /  | \                                     | \        | \   | \        | \        | \                                     | \  | \   
   
  | \   | /   | \  
  | \  
   | 0.0009   | 0. 0013  
  | 0.0009                                | 0.0009   | 0.0009      | 0.0012   | 0.0008     | 0.012  | 0. 0072  | 0.0009  
  | 0.0009    | 0. 0016  | 0.0007     | QN                                    |                                       |
| s <sub>68</sub>   | /  | \                                     | \        | \   | \        | \        | \                                     | \  | \   
   
  | \   | /   | \  
  | \  
   | \  | \  
  | \                                     | \  | \           | \        | \          | \  | \  | \   
  | \         | \        | \          | \                                     |                                       |
| $I_{181}$         | /  | \                                     | \        | \   | \        | \        | \                                     | \  | \   
   
  | \   | /   | \  
  | \  
   | \  | \  
  | \                                     | \  | \           | \        | \          | \  | \  | \   
  | \         | \        | \          | \                                     |                                       |
| Н,                | ND   | QN                                    | ON.      | ON.   | QN       | QN       | QN                                    | 0.40   | QN.   
   
  | QN  | ND  | ON.  
  | QN.  
   | <u> </u>   | ND<br>0.05   
  | ₩ I                                   | <b>⊗</b> I   | ND<br>0.05  | - N      | <b>∂</b> I | ND<br>0. 21  | 0.39   | ON -  
  | 8 8       | ON –     | <b>⊗</b> I | ON ON                                 | ND                                    |
| 144Ce             | ON.  | Ð                                     | Ð        | Ø   | R        | Ð        | Ð                                     | Ð  | Ð   
   
  | Ð   | N N   | Ø  
  | Ð  
   | Q.   | Q.   
  | Ð                                     | Ð  | Q.          | Q.       | Ð          | ON.  | Ð.   | Q.  
  | Ð         | QV       | Q.         | Q.                                    |                                       |
| 137 Cs            | ND   | QN                                    | QN       | QN  | QN       | QN       | QN                                    | ON.  | ON.   
   
  | ON.   | ND  | 0.017  
  | QN   
   | 0.006  | 0.014  
  | 0.010                                 | 0.008  | 0.011       | 0.11     | 0.006      | 0.14   | 0.12   | 0.004   
  | 0.010     | 0.025    | 0.004      | 0.008                                 |                                       |
| 134Cs             | ON.  | Ð                                     | ON O     | QN  | ON       | ND       | ND                                    | ND   | ND  
   
  | QN  | ND  | QN   
  | ND   
   | Ø  | QN   
  | Q.                                    | Q.   | Ð           | QN       | Q.         | 0.003  | 0.003  | ND  
  | Ð         | ND       | Q.         | ON.                                   |                                       |
| <sup>125</sup> Sb | ON.  | Ð                                     | Ð        | QN  | R        | R        | R                                     | R  | R   
   
  | R   | ND  | QN   
  | Ð  
   | \  | \  
  | \                                     | \  | \           | \        | \          | \  | \  | \   
  | \         | \        | \          | \                                     | ,                                     |
| 106 Ru            | ND   | ON.                                   | ON O     | ND  | QN       | QN       | QN                                    | QN   | QN  
   
  | QN  | ND  | ND   
  | QN   
   | QN.  | QN   
  | QN                                    | QN   | QN.         | QN       | QN         | ND   | - E  | ND  
  | - Q       | ND       | QN .       | QN                                    |                                       |
| gN <sup>96</sup>  | ON.  | R                                     | Ð        | QV  | R        | R        | R                                     | R  | R   
   
  | R   | ND<br>ND  | QV   
  | R  
   | Ð  | Ð  
  | Ð                                     | Ð  | Ð           | Ð        | Ð          | N  | Ð  | Ð   
  | Ð         | Ð        | Ð          | Ð                                     |                                       |
| 95Zr              | ND   | N N                                   | N N      | ND  | N        | ND       | ND                                    | N  | N   
   
  | N N   | ND  | ND   
  | ND   
   | Q.   | QN   
  | QN<br>QN                              | QN<br>QN   | Ð           | ON ND    | QN<br>QN   | ND   | Ø  | ON.   
  | Q.        | ON ND    | Ð          | QN                                    |                                       |
| °C <sub>o</sub>   | QN.  | Ð                                     | Ð        | QN.   | Ð        | Ð        | Ð                                     | Ð  | Ð   
   
  | Ð   | ND  | QN.  
  | Ð  
   | Ø  | QN   
  | Ð                                     | Ð  | R           | Ø        | Ð          | W  | Ð  | Ø   
  | Ð         | ON.      | Ð          | ON.                                   |                                       |
| . 59 <b>Fe</b>    | ND   | Ð.                                    | QN.      | ND  | ON       | QN       | QN                                    | QN   | QN  
   
  | ON.   | ND  | ND   
  | QN   
   | Ð  | QN   
  | QN .                                  | QN .   | R           | ND       | QN .       | ND   | Ø  | ND  
  | g         | ND       | QN .       | ND                                    |                                       |
| °C°               | ND   | QN                                    | QN       | QN  | ON       | ND       | ND                                    | ND   | ND  
   
  | ON  | ND  | QN   
  | ND ND  
   | Ð  | QN   
  | QN                                    | QN   | Ø           | QN       | QN         | ND   | Ø  | QN  
  | Ð         | QN       | Q.         | QN                                    |                                       |
| ≥4 Mn             | ON.  | Ð                                     | Ð        | Ø   | Ø.       | Ø        | Ø                                     | Ø  | Ø   
   
  | R   | QN.   | Ø  
  | Ø  
   | Ð  | Ð  
  | Ð                                     | Ð  | Ð           | Ð        | Ð          | N)   | Ð  | Ð   
  | Ð         | Ð        | Ð          | Ð                                     |                                       |
| 51 Cr             | ON   | QN                                    | Q.       | QN  | ON       | ON       | ON                                    | ON   | ON  
   
  | ON  | ON  | QN   
  | QN   
   | \  | \  
  | \                                     | \  | \           | \        | \          | /  | \  | \   
  | \         | \        | \          | \                                     | `                                     |
| 濃度                | \  | \                                     | \        | \   | \        | \        | \                                     | \  | \   
   
  | \   | /   | \  
  | \  
   | 0.02   | 0.01   
  | 0.01                                  | 0.01   | 0.01        | 0.01     | 0.02       | 0.02   | 0.02   | 0.02  
  | 0.01      | 0.02     | 0.01       | 0.01                                  | 00                                    |
|                   |  |                                       |          | _   |          | Bq/L     | Puct                                  | mBq/L  |   
   
  |   |   | _  
  |  
   |  |  
  |                                       |  |             |          |            | Bq/L<br>Pu/t   |  |   
  |           |          |            |                                       |                                       |
| 1                 | R5. 4. 5   | R5. 4. 7                              | R5. 4. 5 | R5. 4. 5  | R5. 4. 7 | R5. 4. 7 | R5. 4. 6                              | R5. 4. 6   | R5. 4. 6  
   
  | R5. 4. 4  | R5. 4. 6  | R5. 4. 4   
  | R5. 4. 4   
   | R5. 4.25   | R5. 5.10   
  | R5. 6. 7                              | R5. 4.25   | R5. 5.10    | R5. 6. 7 | R5. 4.25   | R5. 5.10   | R5. 6. 7   | R5. 4.25  
  | R5. 5. 10 | R5. 6. 7 | R5. 4.25   | R5. 5.10                              | 20 20                                 |
| A DAY FEWARE      | いわき市   | 田村市                                   | 広野町      | 楢葉町   | 富岡町      | 川内村      | 大熊町                                   | 双薬町  | 浪江町   
   
  | 葛尾村   | 南相馬市  | 飯館村  
  | 川俣町  
   |  | 第一(発)南放水口付近  
  |                                       |  | 第一(発)北放水口付近 |          |            | 第一(発)取水口付近<br>(港湾出入口の外側)   |  |   
  | 第一(発)沖合2屆 |          |            | 夫沢・熊川 沖2km<br>(大熊町)                   |                                       |
| 形位                | 1  | 23                                    | 60       | 4   | ľ        | 9        | 7 7                                   | ∞  | 6   
   
  | 10  | 11  | 12   
  | 13   
   |  | п  
  |                                       |  | 63          |          |            | 8 3  |  | | |
  | 4         |          |            | ιΩ                                    |                                       |
| 箍                 |  |                                       |          |   |          |          | 上水配                                   |  |   
   
  |   |   |  
  |  
   |  |  
  |                                       |  |             |          |            | 第  |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
  |           |          |            |                                       |                                       |
|                   | 36 September 20 Se | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |          | 1         1 |          |          | 1   1   1   1   1   1   1   2   2   2 | Figure   Figure | 時日         大きさい         (%) <td>時日         11</td> <td>排析         中央         中央</td> <td>High         Line         High         <th< td=""><td>HIND         Line Application         Line Application         HIND         Incharactering         100</td><td>  Miles   Mile</td><td>HUMBART         HUMBART         <t< td=""><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td><td>  This continue with the conti</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  Marie   Mari</td><td>  This color color</td><td>  Marie   Mari</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td></t<></td></th<></td> | 時日         11 | 排析         中央         中央 | High         Line         High         High <th< td=""><td>HIND         Line Application         Line Application         HIND         Incharactering         100</td><td>  Miles   Mile</td><td>HUMBART         HUMBART         <t< td=""><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td><td>  This continue with the conti</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  Marie   Mari</td><td>  This color color</td><td>  Marie   Mari</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td></t<></td></th<> | HIND         Line Application         Line Application         HIND         Incharactering         100 | Miles   Mile | HUMBART         HUMBART <t< td=""><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td><td>  This continue with the conti</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  Marie   Mari</td><td>  This color color</td><td>  Marie   Mari</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1</td><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td><td>  1   1   1   1   1   1   1   1   1   1</td></t<> | 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1 | This continue with the conti | 1           | 1        | 1          | Marie   Mari | This color | Marie   Mari | 1         | 1        | 1          | 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1 | 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1 |

横 禁	\$ <b>X</b>	\	\	\	\	\	\	\	\	460	480	540	460	460	430	480	949
	244 Cm	\	\	\	\	\	\	\	/	/	\	\	/	\	\	/	,
	241Am	\	\	\	\	\	\	\	/	/	\	\	/	\	\	/	\
	239+240 <b>Pu</b>	QN	0.008	QN	0.010	QN	QN	0.009	0.013	0.23	0.26	0.25	0.41	0.40	0.28	0.22	0 02
	<sup>238</sup> Pu	Ø	Ø	R	R	Ð	Ø	Ð	ND ND	Ø	Ð	®	N N	Ð	Ð	Ø	Ę
	°S.	0, 0008	0, 0009	0.0007	0.0009	0.0011	0.0013	0.0007	0.0009	ON	ON.	ON	ND	ON.	Q.	ON	Ę
	389Sr	\	\	\	\	\	\	\	/	/	\	\	/	\	\	/	\
	$\mathbf{I}_{\text{ISI}}$	\	\	\	\	\	\	\	/	/	\	/	/	/	\	/	\
椡	Ξ	ON I	Ø Ø	ON I	ON ON	ON ON	Ø Ø	ON.	ND	/	\	\	/	\	\	/	\
B)	144Ce	Ð	Ð	Ð	Ð	Ð	Ð	Ø	ND	Ø	R	N)	ON.	Ð	Ð	Ø	E
熊	137 Cs	0.003	0.008	0.006	0.009	0.009	0. 020	0.013	0.012	180	140	190	38	24	24	41	5.9
種	134 Cs	QN	ND	QN	QN	QN	ND	Ð	ON.	3.5	3.1	4.1	(N)	N N	ND ND	ΩN	EN.
颒	$^{125}\mathrm{Sb}$	\	\	\	\	\	\	\	/	®.	®	Ð	(N)	Ð	Ð	®.	E
	106 Ru	QN	QN	Q.	Q.	Q.	QN	ND	ND	QN	ND	ND	QN	ND	ON.	QN	ē
	qN 98	Ð	Ð	Ð	Ð	Ð	Ð	©.	ND	(N	®	Ð.	(N)	Ð.	Ð	(N	Ø
	<sup>96</sup> Zr	ŒΝ	QN	QN	QN	QN	QN	QN	QN	ΩN	ND	ON	ΩN	ON	(N	ΩN	UN
	°C <sub>∞</sub>	Ø	Ø	Ø	Ø	Ð	Ø	Ð	QN	ŒN.	®	Ø	ŒN	Ð	Ð	ŒN.	Ø
	<sub>69</sub> Fe	ON.	QN	QN	Ø	Q.	QN	QN.	ND	QN	QN.	ON.	ΩN	QN.	Ð	QN	E
	°C°	ON.	Q.	Q.	Ø	R	Q.	QN.	ND	QN	QN.	ON.	MD	ON.	Ð	QN	N
	<sup>54</sup> Mn	R	R	R	R	R	R	R	N	Ø	R	R	Ø	Ð	Ð	Ø	E
	Q <sup>[6]</sup>	\	\	\	\	\	\	\	/	ND	ON.	ND	ND	ND	ND	ND	N.
全~。一9 放射能	谦两	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	\	\	\	\	\	\	\	\
単位					Bq/L Pu(‡			ı			T	T	4	Dq/KgWZ	T		
探取年日日	I F	R5. 4.25	R5. 5.10	R5. 6. 7	R5. 5.10	R5. 5.10	R5. 5.10	R5. 5.12	R5. 5.12	R5. 5.10	R5. 5.10	R5. 5.10	R5. 5.10	R5. 5.10	R5. 5.10	R5. 5.12	R5 5 19
探取地点番号 及水线距离片	XOTKK地市出		双葉・前田川沖2km (双葉町)		ALPS処理水放出口予定場所北 2km西0.5km	ALPS処理水放出口予定場所 北1km	ALPS処理水放出口予定場所 南 1 km	第二(発)南放水口	第二(発)北放水口	第一(発)南放水口付近	第一(発)北放水口付近	第一(発)取水ロ付近(港湾出入ロの外側)	第一(発)沖合2km	未沢・熊川沖5km (大熊町)	双葉・前田川沖2km (双葉町)	第二(発)南放水口	御一(線) - 字表十二
種類又は	部位		9		表面水 7	-	6	10	11	1	2	8	4	14年	9	7	œ
試料名					朱								i i				

(注) 1 海水のトリチウム濃度の測定は、上段が減圧蒸留法、下段が電解濃縮法による。

<sup>2</sup> 土壌及び色葉のNoの網帯け部分は東京電力ホールディングス株式会社高島第一原子力発電評から半径5m未満の地域、海水及び海底土のNoの細帯け部分は東京電力ホールディングス株式会社高島第一原子力発電所の放阪水口付近

<sup>3 「</sup>ND」:検出限界未満 「/」:対象外核種 「-」:測定値なし

<sup>4</sup> 第一(発):東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所 第二(発):東京電力ホールディングス㈱福島第二原子力発電所

<sup>5</sup> 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

390 750 270 450 370 340 e 0.41 0.04 0.25 R Ø R R R Ø Ø 0.26 0.87 0.39 2 Ø 2 e Ð P 無 1600 800 1900 7.1 790 340 27 颒 6.9 Ð 1.9 43 18 32 R 2 R Ø R e R R Ð 2 Ø e e e R Ø R R R R 2 R Ø P Ð Ø Ð 2 R R R Ø Ø R R 2 e e R e e 2 R R R R R e Ð e e Ð Ð e e R R R Ð Ð R Ø 全~"一/ 放射能 濃度 Bq/kg乾 単位 R5. 5.17 R5. 5.17 R5. 5.16 R5. 5.16 R5. 5.18 R5. 5.18 R5. 5.16 探取 年月日 5-2-5(2) 環境試料中の核種濃度(比較対照地点) 关信限声 採取地点番号 及び採取地点名 川部町 # # 会津若松市 3 いわき市 7 南会津町 郡山市 白河市 無対対対 八瀬

(世

試料名

拼

# 5-3 試料採取時の付帯データ集 (原子力発電所周辺等環境放射能測定)

# 1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (℃)	水温 (℃)	рΗ
1	いわき市	R5. 4. 5	21.6	13. 9	7. 2
2	田村市	R5. 4. 7	17. 9	12. 1	7.8
3	広野町	R5. 4. 5	18. 7	11.5	7. 1
4	楢葉町	R5. 4. 5	20.3	13. 0	7. 0
5	富岡町	R5. 4. 7	20.5	17. 1	7.4
6	川内村	R5. 4. 7	18. 4	16. 1	7.4
7	大熊町	R5. 4. 6	22.9	14.8	7. 2
8	双葉町	R5. 4. 6	19. 9	14.0	7. 1
9	浪江町	R5. 4. 6	20.5	14. 2	7. 5
10	葛尾村	R5. 4. 4	15. 0	11.0	7. 2
11	南相馬市	R5. 4. 6	19.0	15. 3	7. 1
12	飯舘村	R5. 4. 4	11.5	11.5	7.4
13	川俣町	R5. 4. 4	16. 2	11.0	7. 2

## 2 海水

No.   採取地点名							
第一(発)南放水口付近   R5. 5.10	No.	採取地点名	採取年月日			рΗ	
R5. 6. 7   21.0   16.5   7.8   21.1     R5. 4.25   11.0   13.0   8.1   22.3     R5. 6. 7   20.5   17.0   7.9   21.6     R5. 6. 7   20.5   17.0   7.9   21.6     R5. 5.10   14.5   13.5   8.1   23.2     R5. 6. 7   20.5   17.5   8.0   21.2     R5. 4.25   10.5   13.5   8.1   22.3     R5. 5.10   14.5   13.5   8.1   22.3     R5. 5.10   15.0   14.5   8.1   22.0     R5. 6. 7   19.0   17.0   7.9   21.2     R5. 4.25   9.5   14.0   8.1   22.7     R5. 4.25   9.5   14.0   8.1   22.7     R5. 6. 7   18.5   16.5   7.9   20.9     R5. 4.25   11.0   12.5   8.1   22.5     R5. 5.10   15.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     A L P S 処理水放   R5. 5.10   15.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     A L P S 処理水放   R5. 5.10   15.0   14.5   8.1   21.4     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.4     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.8     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.8     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.0   17.0   7.9   21.5     R5. 6. 7   19.0   17.0   7.9   21.5     R5. 6. 7   19.0   17.0   7.9     R5. 6. 7   19.0   17.0   7.9     R5. 6. 7			R5. 4.25	10. 5	13. 2	8. 1	22. 5
R5. 4.25	1	第一(発)南放水口付近	R5. 5.10	14. 5	14.8	8. 1	21.8
第一(発)北放水口付近   R5. 5.10			R5. 6. 7	21.0	16. 5	7.8	21. 1
R5. 6. 7   20. 5   17. 0   7. 9   21. 6   R5. 4. 25   10. 5   13. 5   8. 1   23. 2   R5. 5. 10   14. 5   15. 0   8. 0   21. 6   R5. 6. 7   20. 5   17. 5   8. 0   21. 2   R5. 6. 7   20. 5   17. 5   8. 0   21. 2   R5. 6. 7   20. 5   17. 5   8. 0   21. 2   R5. 6. 7   10. 5   13. 5   8. 1   22. 3   R5. 6. 7   19. 0   17. 0   7. 9   21. 2   R5. 6. 7   19. 0   17. 0   7. 9   21. 2   R5. 6. 7   19. 0   17. 0   7. 9   21. 2   R5. 6. 7   18. 5   14. 5   8. 1   22. 7   R5. 6. 7   18. 5   16. 5   7. 9   20. 9   R5. 6. 7   18. 5   16. 5   7. 9   20. 9   R5. 4. 25   11. 0   12. 5   8. 1   22. 5   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5   R5. 5. 10   15. 0   14. 5   8. 1   21. 4   R5. 5. 10   15. 0   14. 5   8. 1   21. 4   R5. 10   R5. 5. 10   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   19. 5   17. 0   14. 5   8. 1   21. 8   R5. 5. 10   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   19. 5   14. 5   8. 1   21. 8   R5. 5. 10   14. 5   14. 5   8. 1   21. 8   R5. 5. 10   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   8. 1   21. 7   R5. 6. 7   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14. 5   14			R5. 4.25	11.0	13.0	8. 1	22. 3
第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側) 第一(発)沖合 2 km 第一(発)沖合 2 km 第5. 6. 7 20.5 17.5 8.0 21.2 R5. 4. 25 10. 5 13. 5 8. 1 22. 3 R5. 5. 10 15. 0 14. 5 8. 1 22. 0 R5. 4. 25 9. 5 14. 0 8. 1 22. 7 R5. 6. 7 19. 0 17. 0 7. 9 21. 2 R5. 4. 25 9. 5 14. 0 8. 1 22. 7 R5. 6. 7 18. 5 16. 5 7. 9 20. 9 R5. 4. 25 11. 0 12. 5 8. 1 22. 5 R5. 5. 10 15. 5 14. 5 8. 1 21. 7 R5. 6. 7 19. 5 17. 0 7. 9 21. 5 A L P S 処理水放 出口予定場所 北 2 km西0. 5 km A L P S 処理水放 出口予定場所 北 1 km A L P S 処理水放 出口予定場所 北 1 km R5. 5. 10 14. 5 14. 5 8. 1 21. 4 R5. 5. 10 15. 0 14. 5 8. 1 21. 4 R5. 5. 10 15. 0 14. 5 8. 1 21. 4	2	第一(発)北放水口付近	R5. 5.10	14. 5	14.8	8. 1	22.0
第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側) R5. 5.10 14.5 15.0 8.0 21.6 R5. 6. 7 20.5 17.5 8.0 21.2 R5. 4.25 10.5 13.5 8.1 22.3 R5. 4.25 10.5 13.5 8.1 22.0 R5. 6. 7 19.0 17.0 7.9 21.2 R5. 4.25 9.5 14.0 8.1 22.7 R5. 4.25 9.5 14.0 8.1 22.7 R5. 6. 7 18.5 16.5 7.9 20.9 R5. 4.25 11.0 12.5 8.1 21.7 R5. 6. 7 19.5 17.0 7.9 21.5 R5. 6. 7 19.5 17.0 7.9 21.5 ALPS処理水放 出口予定場所 北2km西0.5km R5. 5.10 15.0 14.5 8.1 21.4 R5. 5.10 15.0 14.5 8.1 21.7 R5. 6. 7 19.5 17.0 7.9 21.5 ALPS処理水放 出口予定場所 北1km R5. 5.10 14.5 8.1 21.4			R5. 6. 7	20. 5	17.0	7.9	21.6
(港湾出入口の外側)   R5. 5.10   14.5   15.0   8.0   21.6     R5. 6. 7   20.5   17.5   8.0   21.2     R5. 4.25   10.5   13.5   8.1   22.3     R5. 5.10   15.0   14.5   8.1   22.0     R5. 6. 7   19.0   17.0   7.9   21.2     R5. 4.25   9.5   14.0   8.1   22.7     R5. 4.25   9.5   14.0   8.1   22.7     R5. 6. 7   18.5   16.5   7.9   20.9     R5. 4.25   11.0   12.5   8.1   22.5     R5. 4.25   11.0   12.5   8.1   22.5     R5. 4.25   11.0   12.5   8.1   22.5     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     A L P S 処理水放		## (#\) T.   - / D.	R5. 4.25	10. 5	13. 5	8. 1	23. 2
R5. 6. 7   20.5   17.5   8.0   21.2	3		R5. 5.10	14. 5	15. 0	8.0	21.6
第一(発)沖合2km   R5. 5.10   15.0   14.5   8.1   22.0     R5. 6. 7   19.0   17.0   7.9   21.2     表決・熊川沖2km   R5. 5.10   13.5   14.0   8.1   22.7     表決・熊川沖2km   R5. 5.10   13.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   18.5   16.5   7.9   20.9     R5. 4.25   11.0   12.5   8.1   22.5     R5. 5.10   15.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     ALPS処理水放   出口予定場所   北2km西0.5km   R5. 5.10   15.0   14.5   8.1   21.4     ALPS処理水放   出口予定場所   北1km   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.8     ALPS処理水放   出口予定場所   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.8     ALPS処理水放   出口予定場所   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   14.5   8.1   21.8     ALPS処理水放   出口予定場所   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   14.5   8.1   21.8     ALPS処理水放   出口予定場所   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   14.5   14.5   8.1   21.8     R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   14.5   14.5   8.1   21.8     R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.8     R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   14.5   14.5   8.1   21.8     R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   14.5   14.5   14.5   14.5     R5. 6. 7   19.5   14.5   14.5   14.5   14.5     R5. 6. 7   19.5   14.5   14.5		(福特田ノマロマノバト関)	R5. 6. 7	20. 5	17. 5	8.0	21. 2
R5. 6. 7   19.0   17.0   7.9   21.2     R5. 4.25   9.5   14.0   8.1   22.7     R5. 5.10   13.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   18.5   16.5   7.9   20.9     R5. 4.25   11.0   12.5   8.1   22.5     R5. 4.25   11.0   12.5   8.1   22.5     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     A L P S 処理水放   日子定場所   R5. 5.10   15.0   14.5   8.1   21.4     R5. 5. 10   14.5   14.5   8.1   21.4     A L P S 処理水放   日子定場所   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.8     A L P S 処理水放   日子定場所   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.8     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.5   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.8     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.8     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.8     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 処理水放   R5. 5.10   14.5   14.8   8.1   21.7     A L P S 心理 → 日本 → 日			R5. 4.25	10. 5	13. 5	8. 1	22. 3
5     夫沢・熊川沖2km     R5. 4.25     9.5     14.0     8.1     22.7       R5. 5.10     R5. 5.10     13.5     14.5     8.1     21.7       R5. 6. 7     18.5     16.5     7.9     20.9       R5. 4.25     11.0     12.5     8.1     22.5       R5. 5.10     15.5     14.5     8.1     21.7       R5. 6. 7     19.5     17.0     7.9     21.5       ALPS処理水放出口予定場所北2km西0.5km     R5. 5.10     15.0     14.5     8.1     21.4       ALPS処理水放出口予定場所末1km     R5. 5.10     14.5     14.5     8.1     21.8       ALPS処理水放出口予定場所末1km     R5. 5.10     14.5     14.8     8.1     21.7       B     ALPS処理水放出口予定場所末1km     R5. 5.10     14.5     14.8     8.1     21.7       B     10     第二(発)南放水口     R5. 5.12     18.4     16.7     8.1     18.8	4	第一(発)沖合2km	R5. 5.10	15.0	14. 5	8. 1	22.0
5     夫沢・熊川沖 2 km     R5. 5.10     13.5     14.5     8.1     21.7       R5. 6. 7     18.5     16.5     7.9     20.9       R5. 4.25     11.0     12.5     8.1     22.5       R5. 5.10     15.5     14.5     8.1     21.7       R5. 6. 7     19.5     17.0     7.9     21.5       ALPS処理水放出口予定場所北2 km西0.5 km     R5. 5.10     15.0     14.5     8.1     21.4       ALPS処理水放出口予定場所北1 km     R5. 5.10     14.5     14.5     8.1     21.8       ALPS処理水放出口予定場所南1 km     R5. 5.10     14.5     14.8     8.1     21.7       10     第二(発)南放水口     R5. 5.12     18.4     16.7     8.1     18.8			R5. 6. 7	19.0	17.0	7.9	21. 2
R5. 6. 7   18.5   16.5   7.9   20.9     R5. 4.25   11.0   12.5   8.1   22.5     R5. 5.10   15.5   14.5   8.1   21.7     R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     ALPS処理水放			R5. 4.25	9.5	14.0	8. 1	22. 7
R5. 4. 25   11. 0   12. 5   8. 1   22. 5     R5. 4. 25   11. 0   12. 5   8. 1   21. 7     R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5     A L P S 処理水放 出口予定場所 北 2 km西0. 5 km   R5. 5. 10   15. 0   14. 5   8. 1   21. 4     A L P S 処理水放 出口予定場所 北 1 km   R5. 5. 10   14. 5   14. 5   8. 1   21. 8     A L P S 処理水放 出口予定場所 北 1 km   R5. 5. 10   14. 5   14. 8   8. 1   21. 7     A L P S 処理水放 出口予定場所 南 1 km   R5. 5. 12   18. 4   16. 7   8. 1   18. 8     10 第二(発)南放水口 R5. 5. 12   18. 4   16. 7   8. 1   18. 8	5	夫沢・熊川沖2km	R5. 5.10	13. 5	14. 5	8. 1	21.7
R5. 5. 10   15. 5   14. 5   8. 1   21. 7     R5. 6. 7   19. 5   17. 0   7. 9   21. 5     A L P S 処理水放 出口予定場所 北 2 km西0. 5 km   R5. 5. 10   15. 0   14. 5   8. 1   21. 4     A L P S 処理水放 出口予定場所 北 1 km   R5. 5. 10   14. 5   14. 5   8. 1   21. 8     A L P S 処理水放 出口予定場所 北 1 km   R5. 5. 10   14. 5   14. 8   8. 1   21. 7     A L P S 処理水放 出口予定場所 南 1 km   R5. 5. 10   14. 5   14. 8   8. 1   21. 7     同 第二(発)南放水口 R5. 5. 12   18. 4   16. 7   8. 1   18. 8			R5. 6. 7	18. 5	16. 5	7.9	20.9
R5. 6. 7   19.5   17.0   7.9   21.5     A L P S 処理水放			R5. 4.25	11.0	12.5	8. 1	22. 5
7     ALPS処理水放 出口予定場所 北2km西0.5km     R5. 5.10     15.0     14.5     8.1     21.4       8     ALPS処理水放 出口予定場所 北1km     R5. 5.10     14.5     14.5     8.1     21.8       9     ALPS処理水放 出口予定場所 南1km     R5. 5.10     14.5     14.8     8.1     21.7       10     第二(発)南放水口     R5. 5.12     18.4     16.7     8.1     18.8	6	双葉・前田川沖2km	R5. 5.10	15. 5	14. 5	8. 1	21.7
7     出口予定場所 北 2 km西0. 5 km     R5. 5. 10     15. 0     14. 5     8. 1     21. 4       8     出口予定場所 北 1 km     R5. 5. 10     14. 5     14. 5     8. 1     21. 8       9     出口予定場所 南 1 km     R5. 5. 10     14. 5     14. 8     8. 1     21. 7       10     第二(発)南放水口     R5. 5. 12     18. 4     16. 7     8. 1     18. 8			R5. 6. 7	19. 5	17.0	7.9	21.5
8     出口予定場所 北 1 km     R5. 5. 10     14. 5     14. 5     8. 1     21. 8       9     A L P S 処理水放 出口予定場所 南 1 km     R5. 5. 10     14. 5     14. 8     8. 1     21. 7       10     第二(発)南放水口     R5. 5. 12     18. 4     16. 7     8. 1     18. 8	7	出口予定場所	R5. 5.10	15. 0	14. 5	8. 1	21. 4
9     出口予定場所 南 1 km     R5. 5. 10     14. 5     14. 8     8. 1     21. 7       10     第二(発)南放水口 R5. 5. 12     18. 4     16. 7     8. 1     18. 8	8	出口予定場所	R5. 5.10	14. 5	14. 5	8. 1	21. 8
	9	出口予定場所 南 1 km	R5. 5.10	14. 5	14. 8	8. 1	21. 7
11 第二(発)北放水口 R5. 5.12 19.0 16.0 8.1 19.1	10		R5. 5. 12	18. 4	16. 7	8. 1	18.8
	11	第二(発)北放水口	R5. 5.12	19. 0	16. 0	8. 1	19. 1

令和5年度月別降水データ表

富岡町富	Я	R5. 4	C	9	2	8	6	10	11	12	R6. 1	2	3	1 1
盲岡	日数	9	10	14										30
	時間(h)	42	69	06										901
	降水量(mm)	58.0	107.0	204.0										0 988
大熊	月	R5.									R6			41
大熊町大野		5.4	2	9	2	∞	6	10	11	12	R6. 1	2	3	1111
野	日数	9	13	13										32
	時間(h)	45	73	86										216
	降水量(mm)	52.5	113.0	209. 5										375 0
南相	月	R5.									R6.			11111
南相馬市萱浜	日数	4	5 1	6 1	2	8	6	10	11	12	1	2	3	
	時間(h)	7 28	12 79	13 99										32 206
	降水量(mn	30.	135.	166.										331

#### 環境試料測定日

試料名	採取地点名	採取年月日				測定年月日				
政府有	採取地点有		<b>全α・</b> β	γ	$^{131}I$	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.24						
	いわき市 小川	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.15						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.23						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.24						
	田村市 都路馬洗戸	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.16						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.24						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.20						
	広野町 小滝平	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.17						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.14						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.21						
	楢葉町 木戸ダム	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1	連続	R5. 6.18						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.15						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.19						
	楢葉町 繁岡	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.16						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.16						
		R5. 4. 1 ∼ R5. 5. 1	連続	R5. 5.21						
	富岡町 富岡	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.17						
大気浮游じん		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.17						
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.25						
	川内村 下川内	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.18						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.24						
	I data mana I more	R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5. 19						
	大熊町 大野	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.16						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.14						
	Letome de Mo	R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.21						
	大熊町 夫沢	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.21						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.19						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.28						
	双葉町 郡山	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.18						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.21						
	Nata Nava Phone Alfa III 195	R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.21						
	浪江町 幾世橋	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.18						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.22						
	No. No. of the Late of	R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.28						
	浪江町 大柿ダム	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.25						
	1	R5. 6. 1 ∼ R5. 7. 1	連続	R5. 7.23						

試料名	採取地点名	採取年月日				測定年月日				
武作石	休取地点名	採取平月日	<b>全α・</b> β	γ	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.29						
	葛尾村 夏湯	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1	連続	R5. 6.19						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.19						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.29						
	南相馬市 泉沢	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1	連続	R5. 6.19						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.24						
		R5. 4. 1 ∼ R5. 5. 1	連続	R5. 5.19						
	南相馬市 萱浜	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1	連続	R5. 6.20						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.15						
		R5. 4. 1 ∼ R5. 5. 1	連続	R5. 5.20						
	飯舘村 伊丹沢	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1	連続	R5. 6.22						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.16						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1	連続	R5. 5.19						
	川俣町 山木屋	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1	連続	R5. 6.22						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1	連続	R5. 7.17						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1		R5. 5.15						
	いわき市 久之浜	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6.12						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1		R5. 7.13						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1		R5. 5.16						
大気浮遊じん	いわき市 下桶売	R5. 5. 1 $\sim$ R5. 6. 1		R5. 6.12						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1		R5. 7.14						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1		R5. 5.17						
	いわき市 川前	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1		R5. 6.13						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1		R5. 7.14						
		R5. 4. 1 ∼ R5. 5. 1		R5. 5.12						
	大熊町 向畑	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 8						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1		R5. 7.10						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1		R5. 5.13						
	双葉町 山田	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 8						
		R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 1		R5. 7.11						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1		R5. 5.14						
	双葉町 新山	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 9						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1		R5. 7.12						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1		R5. 5.12						
	双葉町 上羽鳥	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6.10						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1		R5. 7.12						
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1		R5. 5.13						
	浪江町 南津島	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6.11						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 1		R5. 7.13						

試料名	採取地点名	採取年月日				測定年月日				
Project Apr	1X4X40/1/14		<b>全α・β</b>	γ	$^{131}I$	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm
		R5. 4. 1 ~ R5. 5. 1		R5. 5.14						
	南相馬市 横川ダム	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1		R5. 6. 9						
		R5. 6. 1 ∼ R5. 7. 1		R5. 7.13						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 2						
	広野町 二ツ沼	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 5						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7. 8						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 3						
	楢葉町 山田岡	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 6						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7. 9						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 4						
	楢葉町 松館	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1		R5. 6. 7						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7.10						
		R5. 4. 3 ∼ R5. 5. 1		R5. 5. 5						
	楢葉町 波倉	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1		R5. 6. 8						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7.11						
		R5. 4. 3 ∼ R5. 5. 1		R5. 5. 6						
	富岡町 上郡山	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 9						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7.12						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 7						
大気浮遊じん	富岡町 下郡山	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6.10						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7.13						
		R5. 4. 3 ∼ R5. 5. 1		R5. 5. 8						
	富岡町 夜の森	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6.11						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7.14						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 9						
	大熊町 南台	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6.12						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7.15						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5.10						
	浪江町 浪江	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6.13						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7.16						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 3						
	田村市 滝根	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1		R5. 6. 2						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7. 5						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 4						
	田村市 船引	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 3						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7. 5						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 5	_					
	田村市 上移	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 4	_					
		R5. 6. 1 ∼ R5. 7. 3		R5. 7. 5						

試料名	採取地点名	採取年月日				測定年月日				
政府石	1米以地点冶		全α · β	γ	$^{131}I$	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 6	_					
	川内村 上川内	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 2						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7. 5						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 7						
	南相馬市 馬場	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 2						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7. 7						
	*****	R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 4						
	南相馬市 大木戸	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 4						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7. 7	_					
	南相馬市 檮原	R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1 R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 5. 4 R5. 6. 4						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 6. 4						
		R5. 4. 5 ~ R5. 4. 6		R5. 4. 10						
	福島市 方木田	R5. 5. 9 ~ R5. 5. 10		R5. 4. 10	-					
	田岡川 万木田	R5. 6. 6 ~ R5. 6. 7		R5. 6. 19						
		R5. 4. 4 ~ R5. 4. 5		R5. 4. 10	-					
大気浮游じん	会津若松市 追手町	R5. 5. 8 ~ R5. 5. 9		R5. 5. 18						
) () ((1) ME 0 / 0	AFTERN ZIII	R5. 6. 1 ~ R5. 6. 2		R5. 6. 12	-					
		R5. 4. 6 ~ R5. 4. 7		R5. 4.12						
	郡山市 麓山	R5. 5.10 ~ R5. 5.11		R5. 5.29						
		R5. 6. 5 ~ R5. 6. 6		R5. 6.14						
		R5. 4. 4 ~ R5. 4. 5		R5. 4.10						
	白河市 昭和町	R5. 5. 8 ~ R5. 5. 9		R5. 5.17						
		R5. 6. 1 ~ R5. 6. 2		R5. 6.12	_					
		R5. 4. 6 ~ R5. 4. 7		R5. 4.11						
	相馬市 玉野	R5. 5.10 ~ R5. 5.11		R5. 5.18						
		R5. 6. 5 ~ R5. 6. 6		R5. 6.13						
	1	R5. 4. 6 $\sim$ R5. 4. 7		R5. 4.12						
	伊達市 富成	R5. 5.10 ∼ R5. 5.11		R5. 5.29						
		R5. 6. 5 ~ R5. 6. 6		R5. 6.14						
		R5. 4. 4 ~ R5. 4. 5		R5. 4.11						
	南会津町 田島	R5. 5. 8 $\sim$ R5. 5. 9		R5. 5.17						
		R5. 6. 1 ~ R5. 6. 2		R5. 6.13						

試料名	採取地点名	採取年月日				測定年月日				
政府有	1水以地点冶	採取平月日	全β	γ	$^{131}I$	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1				R5. 6.1				
	楢葉町 繁岡	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1				R5. 6.25				
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3				R5. 8. 2				
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1				R5. 6. 1				
	富岡町 富岡	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1				R5. 6.26				
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3				R5. 8. 2				
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1				R5. 6. 2				
	大熊町 大野	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1				R5. 6.26				
大気中水分		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3				R5. 8. 3				
3 43 4 7 7 7 7 7	Lakema Lake	R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1				R5. 6. 3				
	大熊町 夫沢	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		$\overline{}$		R5. 6.27				
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3				R5. 8. 3				
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1				R5. 6. 3				
	双葉町 郡山	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1				R5. 6.27				
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3				R5. 8. 4				
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1				R5. 5. 18				
	福島市 方木田	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1				R5. 6. 15				
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3				R5. 7. 14				

試料名	採取地点名	採取年月日				測定年月日				
PVIT 4D	1本4×45/10/11/11		全β	γ	131 I	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cn
		R5. 4. 4 ~ R5. 5. 2		R5. 5.12						
	いわき市 久之浜	R5. 5. 2 $\sim$ R5. 6. 2		R5. 6. 9						
		R5. 6. 2 $\sim$ R5. 7. 4		R5. 7.17						
		R5. 4. 4 ~ R5. 5. 2		R5. 5.14						
	田村市 都路	R5. 5. 2 $\sim$ R5. 6. 2		R5. 6.14						
		R5. 6. 2 $\sim$ R5. 7. 4		R5. 7.16						
		R5. 4. 3 ∼ R5. 5. 1		R5. 6. 4						
	富岡町 富岡	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 7.29						
		R5. 6. 1 $\sim$ R5. 7. 3		R5. 8. 2						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 6. 4						
	大熊町 大野	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 7.30						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 8. 3						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 6. 5						
	双葉町 郡山	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 7.31						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 8. 4						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 6. 6						
	南相馬市 萱浜	R5. 5. 1 ∼ R5. 6. 1		R5. 8. 1						
tr/s — show		R5. 6. 1 ∼ R5. 7. 3		R5. 8. 5						
降下物		R5. 4. 4 ~ R5. 5. 2		R5. 5.12						
	浪江町 浪江	R5. 5. 2 ~ R5. 6. 2		R5. 6. 9						
		R5. 6. 2 ~ R5. 7. 4		R5. 7.13						
		R5. 4. 4 ~ R5. 5. 2		R5. 5.15						
	浪江町 津島	R5. 5. 2 ~ R5. 6. 2		R5. 6.13						
		R5. 6. 2 ~ R5. 7. 4		R5. 7.14	_					
		R5. 4. 4 ~ R5. 5. 2		R5. 5.13						
	葛尾村 柏原	R5. 5. 2 ~ R5. 6. 2		R5. 6.11						
		R5. 6. 2 ~ R5. 7. 4		R5. 7.14						
		R5. 4. 4 ~ R5. 5. 2		R5. 5. 14						
	川俣町 山木屋	R5. 5. 2 ~ R5. 6. 2		R5. 6. 9						
		R5. 6. 2 ~ R5. 7. 4		R5. 7. 13						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 15						
	福島市 方木田	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 19						
	100 mg 114 22 7 7 1 1 1 mg	R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 7. 27						
		R5. 4. 3 ~ R5. 5. 1		R5. 5. 15						
	三春町 深作	R5. 5. 1 ~ R5. 6. 1		R5. 6. 15						
		R5. 6. 1 ~ R5. 7. 3		R5. 8. 1						

試料名	採取地点名	採取年月日				測定年月日				
政府省	採取地点名	1未以十月日	全 β	γ	$^{131}I$	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm
	いわき市 久之浜	R5. 5.12		R5. 7.27			R5. 9.7	R5. 8. 1	R5. 6. 5	
	田村市 古道	R5. 5.18		R5. 7.28			R5. 9.7	R5. 8. 4	R5. 6. 23	
	広野町 下北追	R5. 5.12		R5. 7.29			R5. 9.7	R5. 8. 1	R5. 6. 5	
	楢葉町 波倉	R5. 5.12		R5. 7.30			R5. 9.7	R5. 8. 17	R5. 6. 5	
	富岡町 小浜	R5. 5. 1		R5. 7.31			R5. 9.7	R5. 8. 1	R5. 7. 6	
	川内村 上川内	R5. 5.18		R5. 8.1			R5. 9.8	R5. 8. 4	R5. 6. 23	
	大熊町 小入野	R5. 5.31		R5. 8.2			R5. 9.11	R5. 8. 18	R5. 7. 3	
土壌	双葉町 郡山	R5. 5.31		R5. 8.3			R5. 9.8	R5. 8. 15	R5. 7. 3	
	浪江町 北幾世橋	R5. 5.25		R5. 8.4			R5. 9.11	R5. 8. 15	R5. 7. 3	
	葛尾村 柏原	R5. 5.18		R5. 8.5			R5. 9.11	R5. 8. 15	R5. 6. 30	
	南相馬市 浦尻	R5. 5.25		R5. 8.5			R5. 9.11	R5. 8. 15	R5. 7. 3	
	南相馬市 馬場	R5. 5.25		R5. 8.6			R5. 9.11	R5. 8. 15	R5. 7. 3	
	飯舘村 蕨平	R5. 5.17		R5. 8.7			R5. 9.11	R5. 8. 4	R5. 6. 23	
	飯舘村 長泥	R5. 5.17		R5. 8.8			R5. 9.12	R5. 8. 4	R5. 7. 6	
	川俣町 山木屋	R5. 5.17		R5. 8.9			R5. 9.12	R5. 8. 4	R5. 6. 23	

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日									
PV17141			全β	γ	131 I	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm		
	福島市 荒井	R5. 5.16		R5. 6. 7			R5. 7.4	R5. 8. 1	R5. 6. 21	R5. 7. 26		
	郡山市 逢瀬町	R5. 5.17		R5. 5.31			R5. 8. 10		R5. 6. 15			
	いわき市 川部町	R5. 5.18		R5. 5.31			R5. 8. 10		R5. 6. 15			
土壌	白河市 大信隈戸	R5. 5.17		R5. 6. 5			R5. 7. 20		R5. 6. 15			
	相馬市 中村	R5. 5.18		R5. 6. 5			R5. 7. 20		R5. 6. 20			
	会津若松市 一箕町	R5. 5.16		R5. 6. 6			R5. 8. 10		R5. 6. 15			
	南会津町 糸沢	R5. 5.16		R5. 6. 6			R5. 7. 20		R5. 6. 15			

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日										
PAT-41		1米以十万口	全β	γ	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm			
	いわき市	R5. 4. 5		R5. 5.16		R5. 6. 9							
	田村市	R5. 4. 7		R5. 5.17		R5. 6. 9							
	広野町	R5. 4. 5		R5. 5.11		R5. 6.10							
上水	楢葉町	R5. 4. 5		R5. 5. 3		R5. 6.10							
上水	富岡町	R5. 4. 7		R5. 5. 3		R5. 6.11							
	川内村	R5. 4. 7		R5. 5.10		R5. 6.12							
	大熊町	R5. 4. 6		R5. 5. 7		R5. 6.12							
	双葉町	R5. 4. 6		R5. 5. 7		R5. 6.13							
	浪江町	R5. 4. 6		R5. 5.14		R5. 6.13							
	葛尾村	R5. 4. 4		R5. 6. 7		R5. 4.25							
上水	南相馬市	R5. 4. 6		R5. 5.15		R5. 6.14							
	飯舘村	R5. 4. 4		R5. 6. 8		R5. 4.25							
	川俣町	R5. 4. 4		R5. 6. 9		R5. 4.26							

試料名	採取地点名	採取年月日				測定年月日				
B. Al. L. H	DV-4V-FJW-F	1X4X   73 H	全β	γ	131 I	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm
		R5. 4.25	R5. 4.28	R5. 5.29		R5. 5. 9	R5. 6.29		R5. 5. 10	
	第一(発)南放水口付近	R5. 5.10	R5. 5.18	R5. 6.10		R5. 5. 25 R5. 6. 12	R5. 7.14		R5. 5. 23	
		R5. 6. 7	R5. 6.13	R5. 8. 6		R5. 6. 20	R5. 8. 4		R5. 6. 20	
		R5. 4.25	R5. 4.28	R5. 5.30		R5. 5. 10	R5. 6.29		R5. 5. 10	
	第一(発)北放水口付近	R5. 5.10	R5. 5.18	R5. 6.13		R5. 5. 26 R5. 6. 12	R5. 7.14		R5. 5. 23	
		R5. 6. 7	R5. 6.13	R5. 8.6		R5. 6.21	R5. 8. 4		R5. 6. 20	
		R5. 4.25	R5. 4.28	R5. 5.31		R5. 5.11	R5. 6.29		R5. 5. 10	
	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	R5. 5.10	R5. 5.18	R5. 6.14		R5. 5. 26 R5. 6. 13	R5. 7.14		R5. 5. 23	
海水		R5. 6. 7	R5. 6.13	R5. 8.7		R5. 6.21	R5. 8. 4		R5. 6. 20	
一一一	第一(発)沖合2km	R5. 4.25	R5. 4.28	R5. 6.1		R5. 5.11	R5. 6.29		R5. 5. 10	
		R5. 5.10	R5. 5.18	R5. 6.15		R5. 5. 27 R5. 6. 14	R5. 7.14		R5. 5. 23	
		R5. 6. 7	R5. 6.13	R5. 8.8		R5. 6. 22	R5. 8. 4		R5. 6. 20	
		R5. 4.25	R5. 4.28	R5. 6.2		R5. 5. 12	R5. 6.29		R5. 5. 10	
	夫沢・熊川沖2km (大熊町)	R5. 5.10	R5. 5.18	R5. 6.15		R5. 5. 27 R5. 6. 14	R5. 7.14		R5. 5. 23	
		R5. 6. 7	R5. 6.13	R5. 8.9		R5. 6.22	R5. 8. 4		R5. 6. 20	
		R5. 4.25	R5. 4.28	R5. 6.3		R5. 5. 12	R5. 6.29		R5. 5. 10	
	双葉町・前田川沖2km (双葉町)	R5. 5.10	R5. 5.18	R5. 6.17		R5. 5. 28 R5. 6. 15	R5. 7.14		R5. 5. 23	
		R5. 6. 7	R5. 6.13	R5. 8.10		R5. 6.23	R5. 8. 5		R5. 6. 20	

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日									
武行右			全β	γ	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm		
	ALPS処理水放出口 予定場所北2km西0.5km	R5. 5.10	R5. 5.18	R5. 6. 18		R5. 5. 29 R5. 6. 15	R5. 7.15		R5. 5. 22			
海水	ALPS処理水放出口 予定場所北1km	R5. 5.10	R5. 5.19	R5. 6. 18		R5. 5. 29 R5. 6. 16	R5. 7.15		R5. 5. 22			
	ALPS処理水放出口 予定場所南1km	R5. 5.10	R5. 5.19	R5. 6. 19		R5. 5. 30 R5. 6. 17	R5. 7.15		R5. 5. 22			
	第二(発)南放水口	R5. 5.12	R5. 5.19	R5. 6. 26		R5. 5.31	R5. 7.15		R5. 6. 8			
	第二(発)北放水口	R5. 5.12	R5. 5.19	R5. 6. 27		R5. 5.30	R5. 7.15		R5. 6. 8			

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日									
PV/1741		1米以十万口	全β	γ	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	Sr	U	Pu	Am, Cm		
	第一(発)南放水口付近	R5. 5.10		R5. 6. 20			R5. 7.25		R5. 6. 6			
	第一(発)北放水口付近	R5. 5.10		R5. 6. 21			R5. 7.25		R5. 6. 6			
	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	R5. 5.10		R5. 6.22			R5. 7.25		R5. 6. 6			
	第一(発)沖合2km	R5. 5.10		R5. 6.23			R5. 7.25		R5. 6. 6			
海底土	夫沢・熊川沖2km (大熊町)	R5. 5.10		R5. 6.24			R5. 7.25		R5. 6. 6			
	双葉町・前田川沖2km (双葉町)	R5. 5.10		R5. 6.25			R5. 7.25		R5. 6. 6			
	第二(発)南放水口	R5. 5.12		R5. 6.28			R5. 7.26		R5. 6. 5			
	第一(発)北放水口	R5. 5.12		R5. 6. 29			R5. 7. 26		R5. 6. 5			

<sup>(</sup>注) 1 「/」:対象外核種 「一」: 測定値なし 2 トリチウム濃度の測定は、上段が減圧蒸留法、下段が電解濃縮法による。

# 第6 参考資料

6-1 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出 に伴う海水モニタリング結果(公表資料)

### 【地下水バイパス水関係】

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、南放水口付近 (T-2) の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和5年9月13日公表資料

## 【サブドレン・地下水ドレン処理水関係】

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理水の海域への排出に際し、5・6号機放水口北側(T-1)の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和5年9月13日公表資料

## 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について(6月調査分)

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際 し、環境への影響を確認するため、海水モニタリングを定期的に実施しております。

## 【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所南放水口付近(T-2)<sup>※1</sup>の海域1地点における、地下水バイパス水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度(単位: Bq/L)は、全ベータ放射能は 0.01、放射性 セシウム (Cs-134、Cs-137)及びトリチウムは検出下限値未満でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値、告示濃度限度\*\*2及びWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

## ○6月調査分における海水の放射能濃度(単位:Bg/L)

排出時刻10時21分~16時28分、排出量1,673m3

****	<u> </u>								
採取日時		全ベータ	放射性也	トリチウム					
		放射能	Cs-134	Cs-137					
		0. 01	検出下限値未満	検出下限値未満	検出下限値未満				
6月7	日		(<0.064)	(<0.049)	(<0.37)				
11:0	0	(検出下限値	(検出下限値	(検出下限値	(検出下限値				
		未満~0.22)	未満~0.54)	未満~1.6)	未満~8.8)				

()内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

(参考)	全ベータ	放射性セ	トリチウム	
(参与)	放射能	Cs-134	Cs-137	トップラム
東京電力の運用目標値	5	1	1	1,500
告示濃度限度※2	30**4	60	90	60, 000
WHO 飲料水水質ガイドライン	10 <sup>**4</sup>	10	10	10,000

※1 試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を南放水口から南側に約 1300m の地点に一時的に変更 ※2 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則(周辺監視区域外等の濃度限度) ※3 検出下限値未満は 0 として計算

※4 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

速報

## 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の排出に伴う海水モニタリングの結果

〇今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和5年9月13日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島	県による測	定結果(Bq/	′L)
武术十二	26.杰石	1本4X十万口	全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
		R5. 6. 7	0, 01	検出下限値未満	検出下限値未満	検出下限値未満
				(<0.064)	(<0.049)	(<0.37)
		令和4年度	0.02~0.04	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.069	検出下限値未満
		令和3年度	0.02~0.03	検出下限値未満	0.056~0.14	検出下限値未満 ~4.9
		令和2年度	0.02~0.04	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.063	検出下限値未満 ~3.3
海水	南放水口付近(T-2) (地下水排出中)	令和元年度	0. 02	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.072	検出下限値未満 ~8.6
加小		平成30年度	0.02~0.03	検出下限値未満	検出下限値未満	検出下限値未満 ~7.9
		平成29年度	検出下限値未満 ~0.04	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.13	検出下限値未満 ~8.8
		平成28年度	0. 03~0. 15	検出下限値未満	0.061~0.19	検出下限値未満 ~3.0
		平成27年度	0.03~0.13	検出下限値未満 ~0.11	0. 080~0. 40	検出下限値未満 ~0.86
		平成26年度	0. 04~0. 22	検出下限値未満 ~0.54	0.12~1.6	検出下限値未満 ~3.5

〇東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

 $\verb|http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html| \\$ 

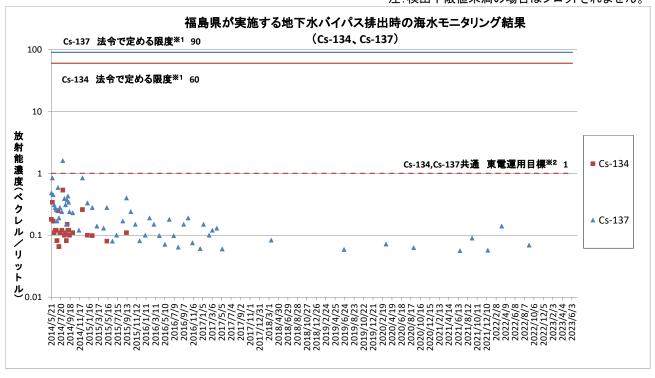
## 平成26年5月21日 (初回排出日) 以前のモニタリング結果

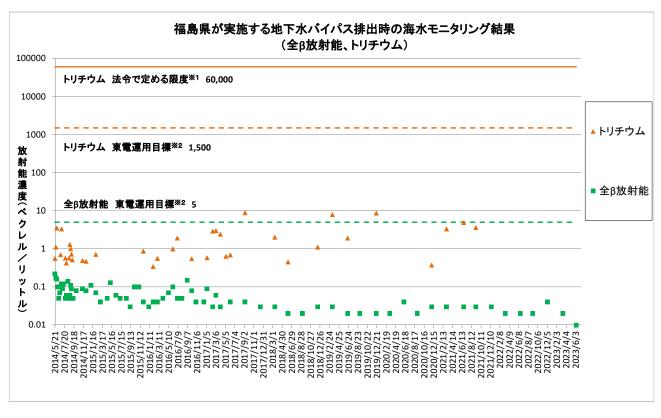
	福島県による測定結果 (Bq/L)								
試料名	地点名	採取年月日							
17477 TJ	76 M. L	1x4x + 71 u	全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム			
(参考) 県が平成25年度以 降に実施した海域 モニタリングにお ける測定値の範囲	南放水口付近(T-2) (陸側から採取)	H25. 10. 3、H25. 10. 17 H25. 10. 21、H27. 2. 25	0. 16~0. 48	0. 082~0. 80	0. 33~1. 8	検出下限値未満 ~0.69			
	南放水口付近(T-2-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27 H27. 2. 25	0. 07	0.31~0.36	0.59~1.2	0. 32~0. 91			
	南放水口付近(F-P01) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H28. 12. 12	0.02~0.64	検出下限値未満 ~0.35	検出下限値未満 ~0.71	検出下限値未満 ~2.4			
(参考) 県が測定し た原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	検出下限値未満 ~0.05	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.003	検出下限値未満 ~2.9			

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

## 測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

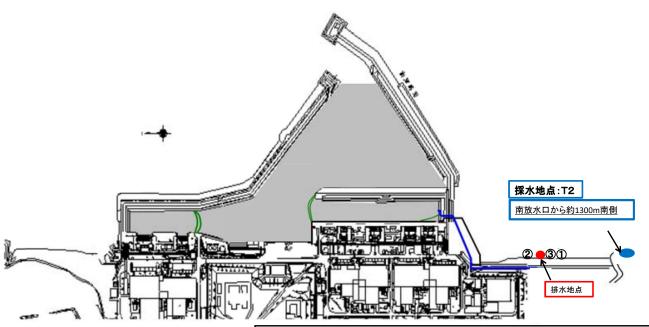
注:検出下限値未満の場合はプロットされません。





- ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
- ※2 福島第一原子力発電所 地下水バイパス水一時貯留タンクの運用目標値 ※3 平成26年9月13日排水時まで排出毎に調査実施。但し、平成26年7月21日及び8月5日の排出時の海水試料は採取できず。 平成26年9月13日以降は毎月1回、平成29年6月6日以降は四半期1回のモニタリングに変更しています。

## 採水地点及び排水地点 (東京電力資料より)



- ① 旧旧旧探水地点:平成29年1月探水分までの探水地点(南放水口から約330m南側) ② 旧旧探水地点:平成29年2月探水分から同年12月探水分までの探水地点(南放水口から約280m南側) ③ 旧探水地点:平成30年3月探水分から令和3年9月探水分までの探水地点(南放水口から約320m南側)

## 福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の 海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について (6月調査分)

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に際し、環境への影響を継続的に監視するため、海水モニタリングを定期的に実施しております。

## 【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所港湾口付近\*の海域1地点における、<u>サブドレン・</u>地下水ドレン処理済み水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度(単位: Bq/L)は、全ベータ放射能は 0.02、放射性 セシウムは Cs-134 が検出下限値未満、Cs-137 は 0.11、トリチウムは検出下限値未満でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値、告示濃度限度\*\*1及びWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

※ ALPS 処理水海洋放出に係る取水設備(仕切堤)の設置に伴い、令和5年3月採取分より「5,6号機放水口北側」から「港湾口付近」へ地点を変更しています。

## ○6月調査分における海水の放射能濃度(単位:Bq/L)

排出時刻11時27分~17時51分、排出量956m3

採取日時	全ベータ	放射性も	<b>マシウム</b>	トリチウム	
	放射能 Cs-134		Cs-137		
	0.02	検出下限値未満	0. 11	検出下限値未満	
6月7日		(<0.063)		(<0.37)	
13:10	(0.01	(検出下限値	(検出下限値	(検出下限値	
	$\sim$ 0.10)	未満~0.10)	未満~0.41)	未満~2.3)	

()内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

(参考)	全ベータ	放射性や	トリチウム	
(参与)	放射能	Cs-134	Cs-137	
東京電力の運用目標値	3	1	1	1,500
告示濃度限度**1	30**3	60	90	60, 000
WHO 飲料水水質ガイドライン	10**3	10	10	10,000

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則(周辺監視区域外等の濃度限度)

- ※2 検出下限値未満は0として計算
- ※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

## 福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン 処理済み水の排出に伴う海水モニタリングの結果

〇今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和5年9月13日 福島県放射線監視室

- 5.01.5	地点名		福島県による測定結果 (Bq/L)					
試料名		採取年月日	全ベータ 放射能 <sup>※1</sup>	Cs-134	Cs-137	トリチウム		
	港湾口付近 <sup>※2</sup>	R5. 6. 7	0. 02	検出下限値未満 (<0.063)	0. 11	検出下限値未満 (<0.37)		
	(処理済み水排出中)	令和4年度	0.01~0.07	検出下限値未満	0. 083~0. 14	検出下限値未満 ~0.80		
	北放水口付近(T-1) (処理済み水排出中)	令和3年度	0.02~0.04	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.28	検出下限値未満 ~0.71		
		令和2年度	0.02~0.04	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.15	検出下限値未満 ~1.3		
海水		令和元年度	0.02~0.03	検出下限値未満	0. 098~0. 27	検出下限値未満 ~0.70		
		平成30年度	0.02~0.04	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.22	検出下限値未満 ~0.55		
		平成29年度	0.02~0.04	検出下限値未満 ~0.068	検出下限値未満 ~0.36	検出下限値未満 ~1.5		
		平成28年度	0.04~0.10	検出下限値未満 ~0.068	0.064~0.44	検出下限値未満 ~2.3		
		H27. 9. 14~H28. 3. 2	0.03~0.09	検出下限値未満 ~0.10	0.14~0.41	検出下限値未満 ~1.7		

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。 http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html

## 平成27年9月14日(初回排出日)以前のモニタリング結果

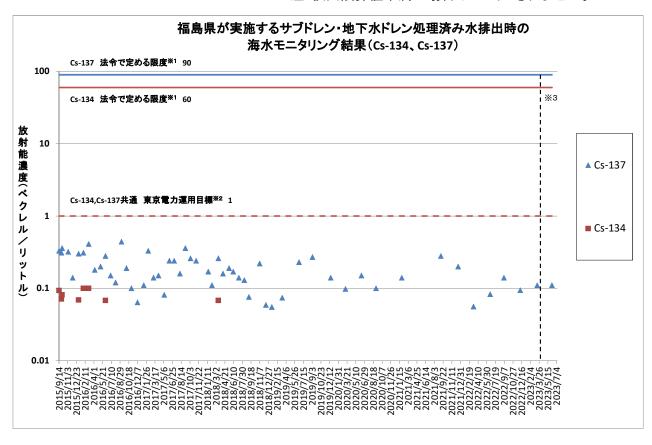
= 15 alos 1.65	W 5-5	福島県による測定結果(Bq/L)					
試料名	地点名 採取年月日		全ベータ 放射能 <sup>※1</sup>	Cs-134	Cs-137	トリチウム	
(参考) 県が平成25~26年 度に実施した海域	北放水口付近(T-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27、H25. 9. 27 H26. 4. 4、H27. 2. 25	0. 10~0. 49	0. 26~2. 4	0.84~5.0	0.61~1.1	
モニタリングにおける測定値の範囲	北放水口付近(F-P02) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H27. 3. 3	0. 03~0. 51	検出下限値未満 ~0.24	検出下限値未満 ~0.56	検出下限値未満 ~2.5	
(参考) 県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	検出下限値未満 ~0.05	検出下限値未満	検出下限値未満 ~0.003	検出下限値未満 ~2.9	

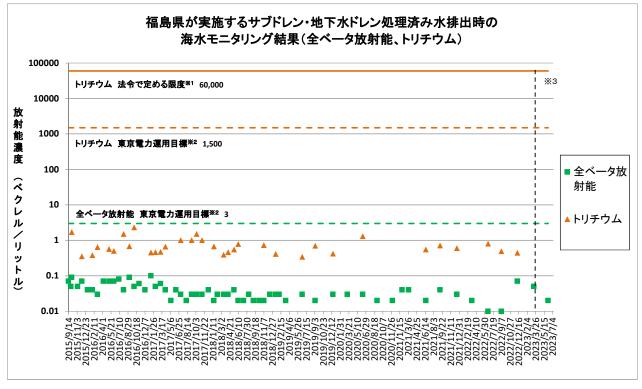
<sup>※1</sup> 全ベータ放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている 鉄バリウム共沈法により実施しています。

<sup>※2</sup> ALPS処理水海洋放出に係る取水設備(仕切堤)の設置に伴い、令和5年3月採取分より「5,6号機放水口北側」から 「港湾口付近」へ地点を変更しています。

## 測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注:検出限界値未満の場合はプロットされません。

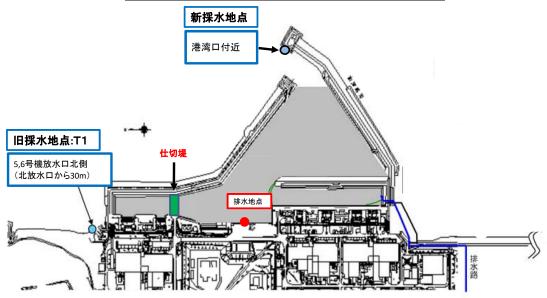




<sup>※1</sup> 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度 ※2 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水一時貯留タンクの運用目標値 ※3 ALPS処理水海洋放出に係る取水設備(仕切堤)の設置に伴い、令和5年3月採取分より「5,6号機放水口北側」から「港湾口付近」へ

地点を変更

## 採水地点及び排水地点(東京電力資料より)



ALPS処理水海洋放出に係る取水設備(仕切堤)の設置に伴い、令和5年3月採取分より「5,6号機放水口北側」から「港湾口付近」へ地点変更

# 各地点の空間線量率等の変動グラフ 令和5年4月~令和5年6月

福島県

## 目次

空間線量率	大気浮遊じん(6時間放置後測定)
1 いわき市小川(1m)・・・・ 82	推移
2 いわき市久之浜(1m)・・・ 82	1 いわき市小川・・・・・・ 102
3 いわき市下桶売(1m)・・・ 83	2 田村市都路馬洗戸・・・・・ 102
4 いわき市川前(1m)・・・・ 84	3 広野町小滝平・・・・・・ 103
5 田村市都路馬洗戸(1m) • • 84	4 楢葉町木戸ダム・・・・・ 103
6 広野町二ツ沼 (3m) ・・・・ 85	5 楢葉町繁岡・・・・・・・ 104
7 広野町小滝平(1m)・・・・ 85	6 富岡町富岡・・・・・・・ 104
8 楢葉町山田岡(3m)・・・・ 86	7 川内村下川内・・・・・・ 105
9 楢葉町木戸ダム(1m)・・・・ 86	8 大熊町大野・・・・・・・ 105
10 楢葉町繁岡 (3m)・・・・・ 87	9 大熊町夫沢・・・・・・・ 106
11 楢葉町松館 (3m)・・・・・ 87	10 双葉町郡山・・・・・・ 106
12 楢葉町波倉 (3m)・・・・・ 88	11 浪江町幾世橋・・・・・・ 107
13 富岡町上郡山 (3m) ・・・・ 88	12 浪江町大柿ダム・・・・・ 107
14 富岡町下郡山 (3m) ・・・・ 89	13 葛尾村夏湯・・・・・・・ 108
15 富岡町深谷(1m)・・・・・ 89	14 南相馬市泉沢・・・・・・ 108
16 富岡町富岡 (3m) ・・・・・ 90	15 南相馬市萱浜・・・・・・ 109
17 富岡町夜の森 (3m)・・・・ 90	16 飯舘村伊丹沢・・・・・・ 109
18 川内村下川内 (1m) ・・・・ 91	17 川俣町山木屋・・・・・・ 110
19 大熊町向畑 (3m)・・・・・ 91	
20 大熊町熊川 (1m) ・・・・・ 92	相関図
21 大熊町南台 (3m) ・・・・・ 92	1 いわき市小川・・・・・・ 111
22 大熊町大野 (1m) ・・・・・ 93	2 田村市都路馬洗戸・・・・・ 111
23 大熊町夫沢 (3m)・・・・・ 93	3 広野町小滝平・・・・・・ 112
24 双葉町山田 (3m)・・・・・ 94	4 楢葉町木戸ダム・・・・・ 112
25 双葉町郡山 (3m)・・・・・ 94	5 楢葉町繁岡・・・・・・・ 113
26 双葉町新山 (3m)・・・・・ 95	6 富岡町富岡・・・・・・ 113
27 双葉町上羽鳥 (3m)・・・・ 95	7 川内村下川内・・・・・・ 114
28 浪江町請戸 (1m) ・・・・・ 96	8 大熊町大野・・・・・・・ 114
29 浪江町棚塩 (1m) ・・・・・ 96	9 大熊町夫沢・・・・・・・ 115
30 浪江町浪江 (3m) ・・・・・ 97	10 双葉町郡山・・・・・・ 115
31 浪江町幾世橋 (3m) · · · · 97	11 浪江町幾世橋・・・・・・ 116
32 浪江町大柿ダム(1m)・・・ 98	12 浪江町大柿ダム・・・・・ 116
33 浪江町南津島 (1m)・・・・ 98	13 葛尾村夏湯・・・・・・・ 117
34 葛尾村夏湯 (1m) ・・・・・ 99	14 南相馬市泉沢・・・・・・ 117
35 南相馬市泉沢 (1m)・・・・ 99	15 南相馬市萱浜・・・・・・ 118
36 南相馬市横川ダム(1m)・・・100	16 飯舘村伊丹沢・・・・・・ 118
37 南相馬市萱浜(1m)・・・・ 100	17 川俣町山木屋・・・・・・ 119
38 飯舘村伊丹沢(1m)・・・・ 101	
39 川俣町山木屋(1m)・・・・ 101	
※ 図中の「事故前の最大値」は 平成23年3日	10日までに観測された最大値

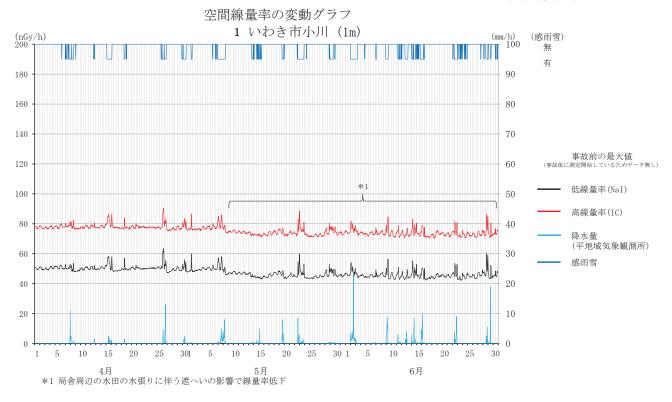
## 目次

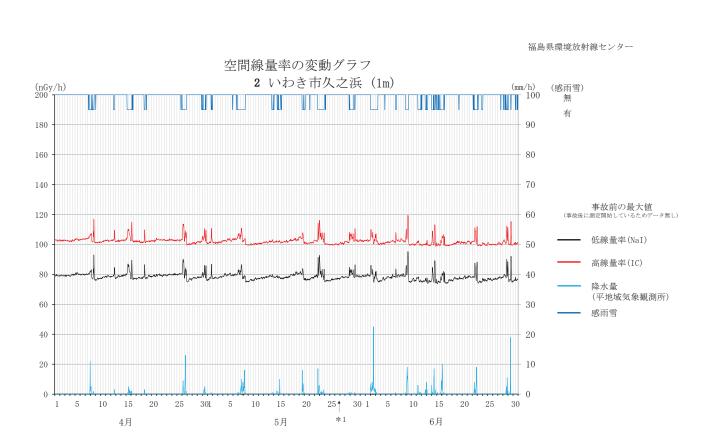
14	Th
111	T/L
7#	イタ

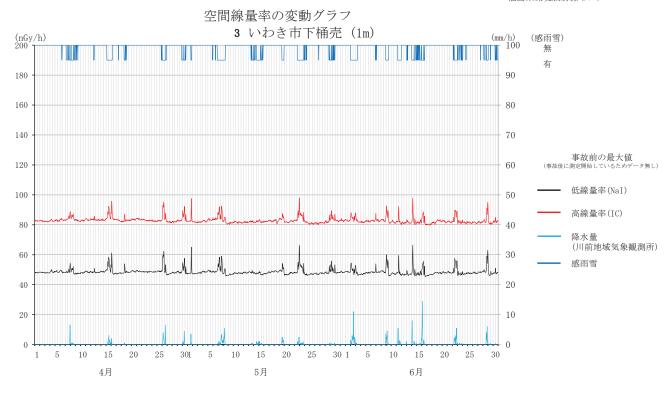
1	いわき市小川・・	•	•	•	•	•		120
2	田村市都路馬洗戸	•	•	•	•	•		120
3	広野町小滝平・・	•	•	•	•	•		121
4	楢葉町木戸ダム・	•	•	•	•	•		121
5	楢葉町繁岡・・・	•	•	•	•	•		122
6	富岡町富岡・・・	•	•	•	•	•		122
7	川内村下川内・・	•	•	•	•	•		123
8	大熊町大野・・・	•	•	•	•	•		123
9	大熊町夫沢・・・	•	•	•	•	•		124
10	双葉町郡山・・・	•	•	•	•	•		124
11	浪江町幾世橋・・	•	•	•	•	•		125
12	浪江町大柿ダム・	•	•	•	•	•		125
13	葛尾村夏湯・・・	•	•	•	•	•		126
14	南相馬市泉沢・・	•	•	•	•	•		126
15	南相馬市萱浜・・	•	•	•	•	•		127
16	飯舘村伊丹沢・・	•	•	•	•	•		127
17	川俣町山木屋・・	•	•	•	•	•		128
18	いわき市久之浜・	•	•	•	•	•		128
19	いわき市下桶売・	•	•	•	•	•		129
20	いわき市川前・・	•	•	•	•	•		129
21	大熊町向畑・・・	•	•	•	•	•		130
22	双葉町山田・・・	•	•	•	•	•		130
23	双葉町新山・・・	•	•	•	•	•	•	131
24	双葉町上羽鳥・・	•	•	•	•	•		131
25	浪江町南津島・・	•	•	•	•	•		132
26	南相馬市横川ダム	•	•	•	•	•		132

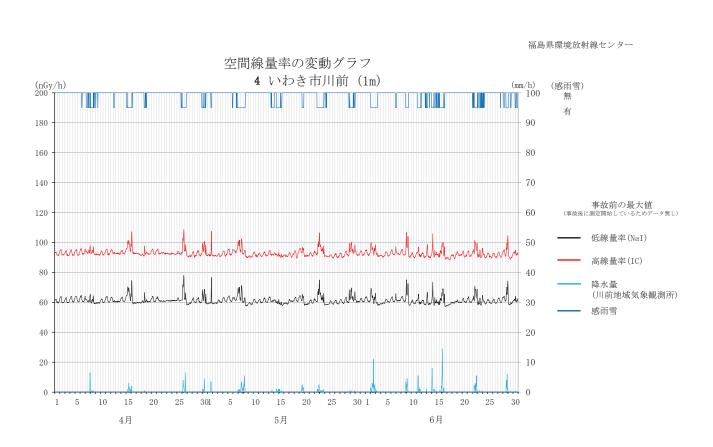
## 空間線量率 (比較対照)

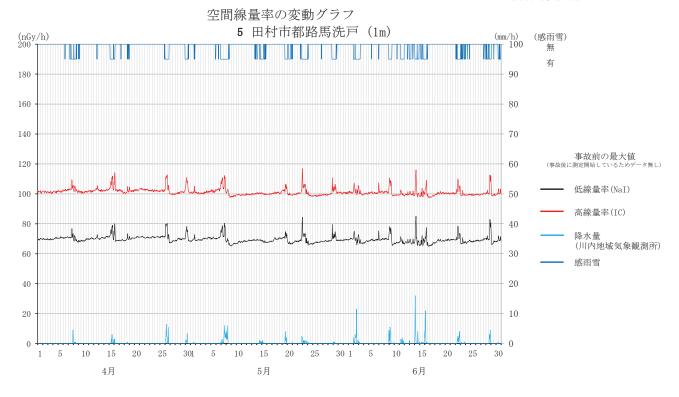
1 福島市紅葉山(1m)	•	•	•	•	٠	133
2 郡山市日和田(1m)	•	•	•	•		133
3 いわき市平 (1m) ・	•	•	•	•	•	134

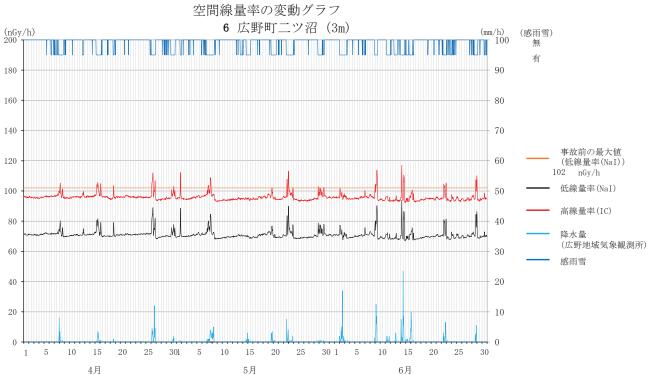


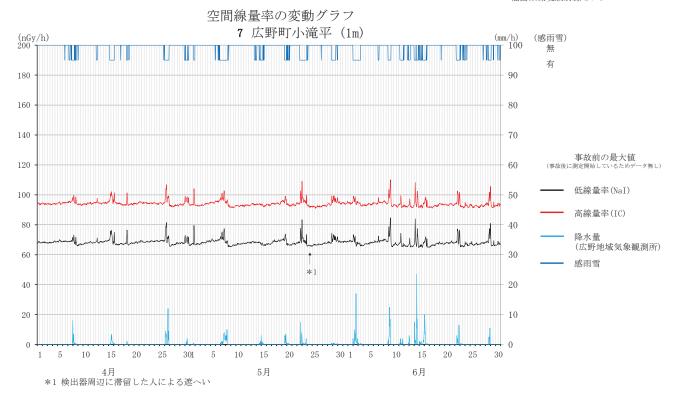


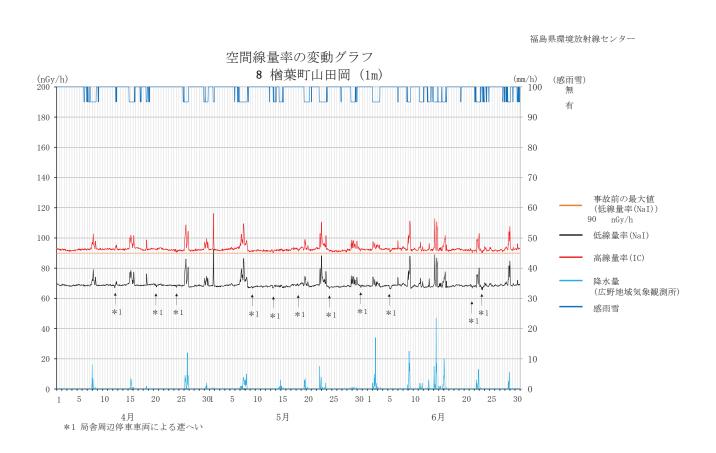


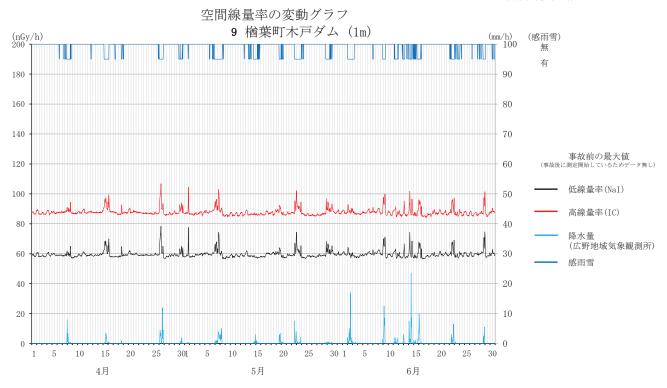


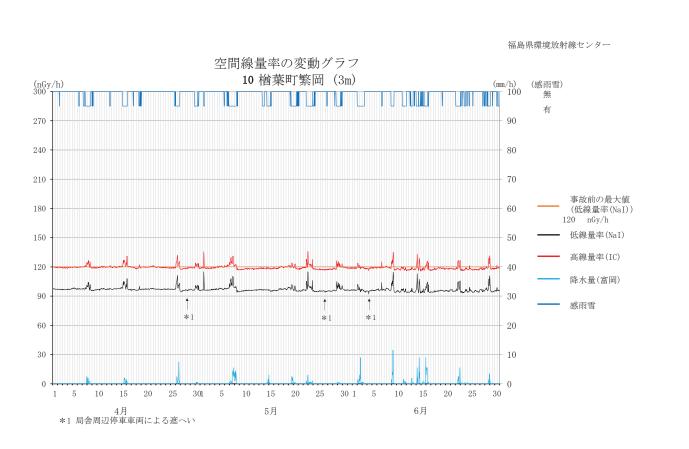


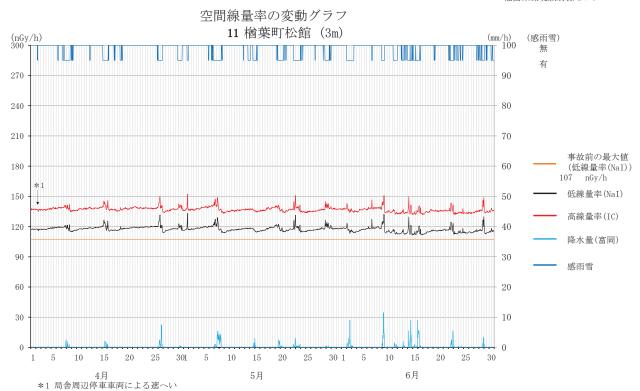


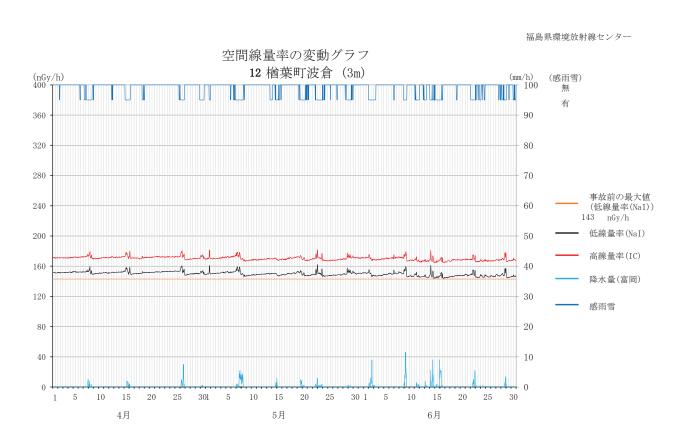


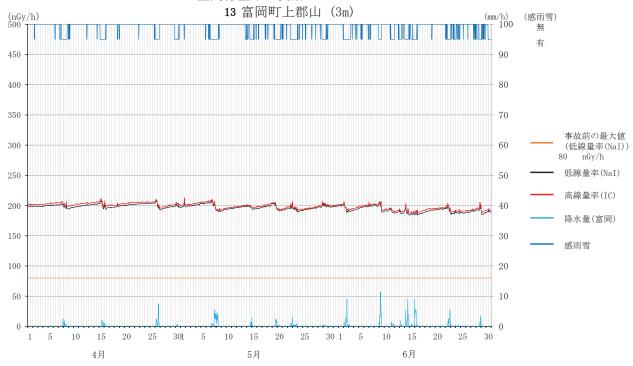






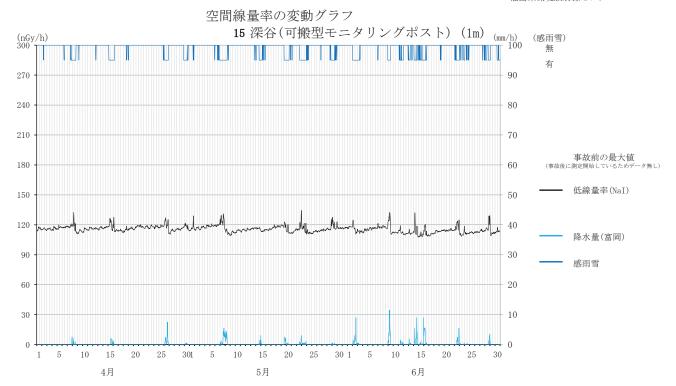




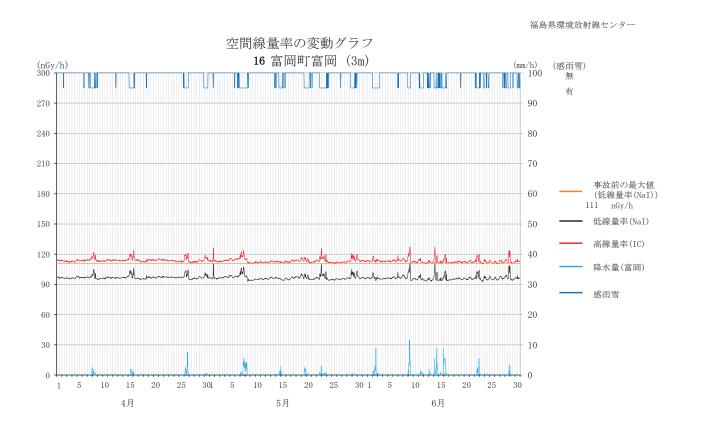


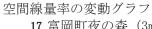
### 福島県環境放射線センター

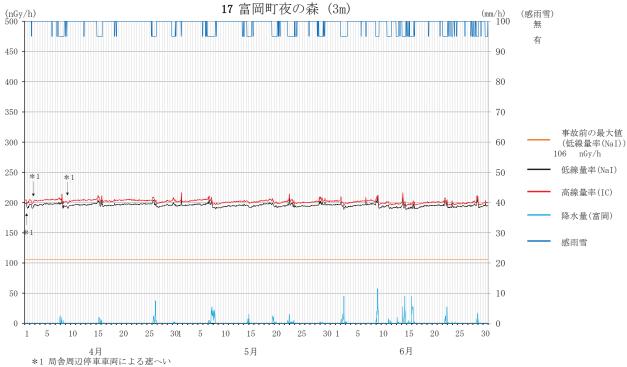
#### 空間線量率の変動グラフ 14 富岡町下郡山 (3m) (nGy/h) 300 (mm/h) 100 (感雨雪) 無 有 事故前の最大値 (低線量率(NaI)) 11 nGy/h 低線量率(NaI) 高線量率(IC) 降水量(富岡) 感雨雪 30 1 4月 5月 6月

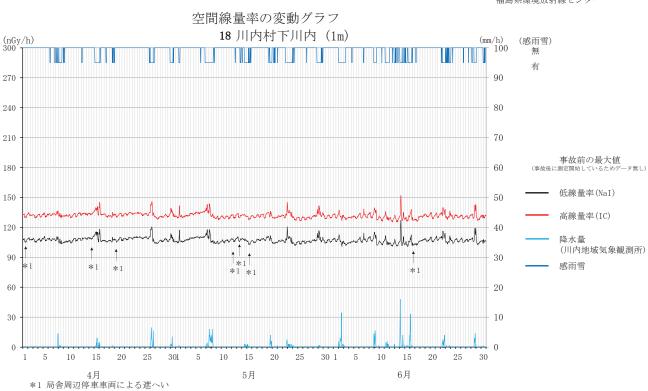


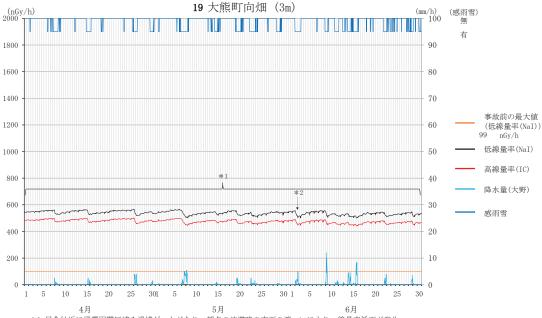
可搬型モニタリングポストには温度制御装置が装備されていないため、線量率が気温の変動による影響を受けて日周期で変動する。







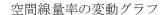


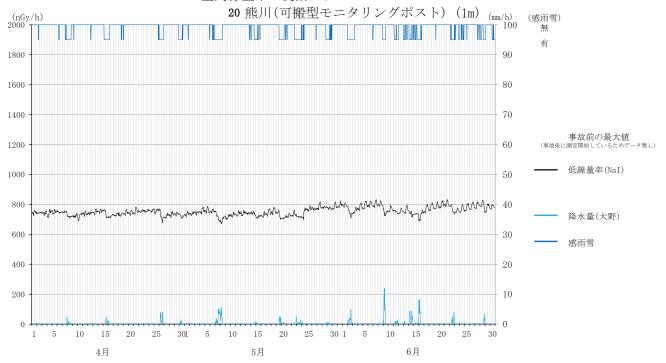


- \*1 局舎付近に帰還困難区域入退域ゲートがあり、朝夕の渋滞時の車両の遮へいにより、線量率低下が発生
- \*2 検出器周辺に滞留した人による遮へい

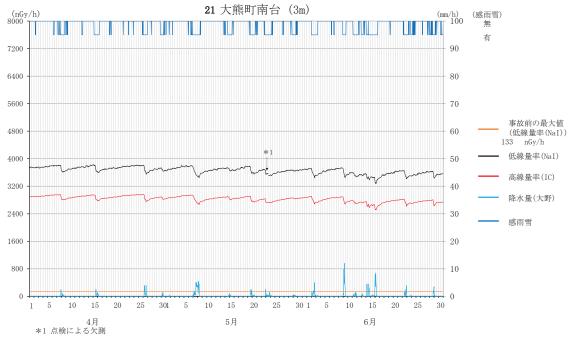
電離箱式検出器(IC)は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI(TI)シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI(TI)シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛値方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子方発電所の事故により改着したCs-134及びCs-137による地表面方向(90度から180度)からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI(TI)シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

福島県環境放射線センター

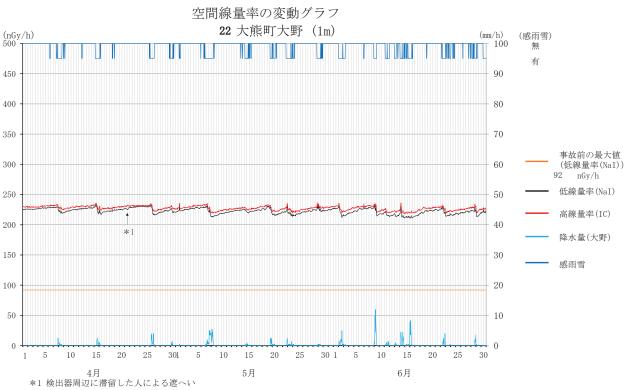


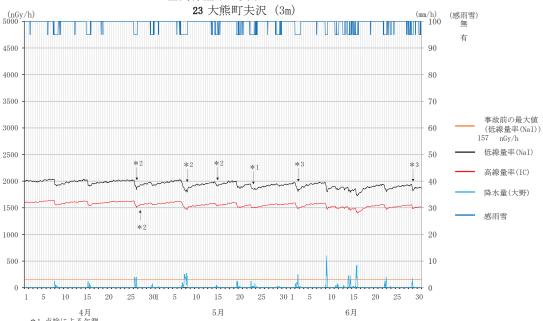


可搬型モニタリングポストには温度制御装置が装備されていないため、線量率が気温の変動による影響を受けて日周期で変動する。

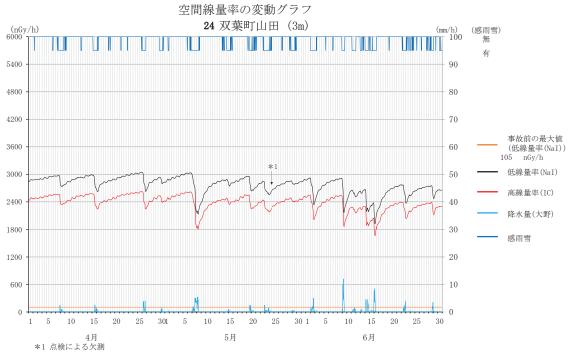


電離箱式検出器(IC)は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI(TI)シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI (TI)シンチレーション式検出器の形状は2ing×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCS-137による地表面方向(90度から180度)からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI(TI)シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。





### 福島県環境放射線センター



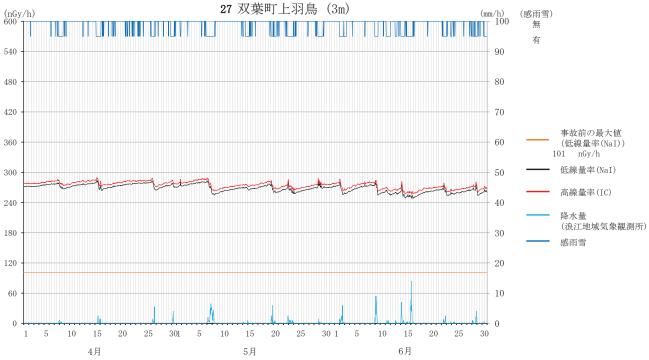
電離箱式検出器(IC)は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、総量率が低レベルのときの測定値はNaI(TI)シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI (TI)シンチレーション式検出器の形状は2in & X2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により抗着したCs-134及でCs-137による地表面方向(90度から180度)からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI(TI)シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

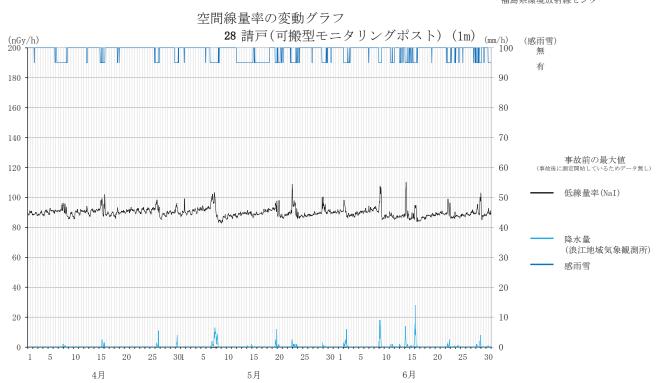
#### 空間線量率の変動グラフ 25 双葉町郡山 (3m) (nGy/h) (mm/h) (感雨雪) 有 540 90 480 80 70 事故前の最大値 (低線量率(NaI)) 02 nGy/h 60 102 低線量率(NaI) 50 300 高線量率(IC) 40 240 降水量(大野) \*1 180 30 威雨雪 20 120 60 10 0 15 301 10 15 25 30 1 10 15 20 25 4月 \*1 局舎周辺停車車両による遮へい 5月 6月

電離箱式検出器 (IC) は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI (TI) シンチレーション式検出 器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI (TI) シンチレーション式検出器の形 状は2in 6×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一 原子分発電所の事故により沈着したCS-134及びCS-137による地表面方向(90度から180g)からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違 いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI (TI) シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

#### 福島県環境放射線センター 空間線量率の変動グラフ 26 双葉町新山 (3m) 有 90 80 630 70 事故前の最大値 60 540 (低線量率(NaI)) nGy/h 低線量率(NaI) 50 450 高線量率(IC) 360 40 隆水量 (浪江地域気象観測所) 270 30 感雨雪 180 20 90 10 10 15 25 301 10 15 25 30 1 10 15 20 25 20 20 4月 6月 5月

電離箱式検出器 (IC) は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI (TI) シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI (TI)シンチレーション式検出器の形状に2in & N2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCS-134及びSC-137による比表面方向(90度から180度)からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI (TI) シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。





可搬型モニタリングポストには温度制御装置が装備されていないため、線量率が気温の変動による影響を受けて日周期で変動する。

#### 空間線量率の変動グラフ 29 棚塩(可搬型モニタリングポスト) (1m) (nGy/h) 200 (感雨雪) 有 90 180 160 80 140 70 事故前の最大値 (事故後に測定開始しているためデ・ 120 60 低線量率(NaI) 100 50 80 40 降水量 (浪江地域気象観測所) 30 60 感雨雪 20 40 10 20 0 0

30 1

5 10 15 20 25

6月

可搬型モニタリングポストには温度制御装置が装備されていないため、線量率が気温の変動による影響を受けて日周期で変動する。

25

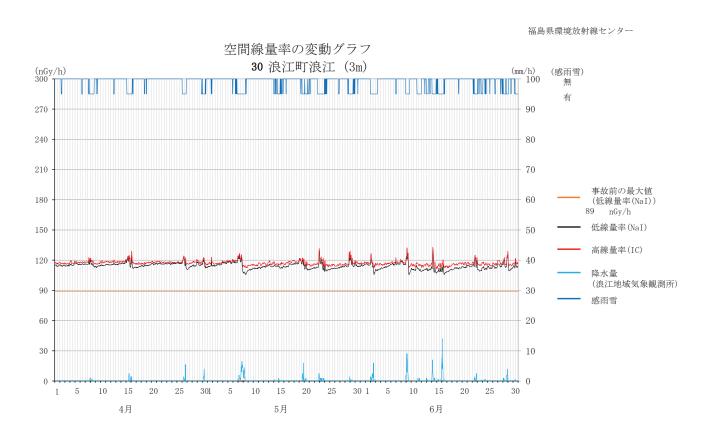
20

5月

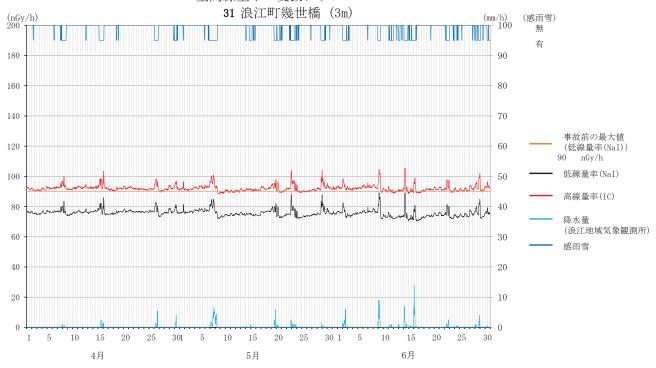
301 5 10 15

10 15 20 25

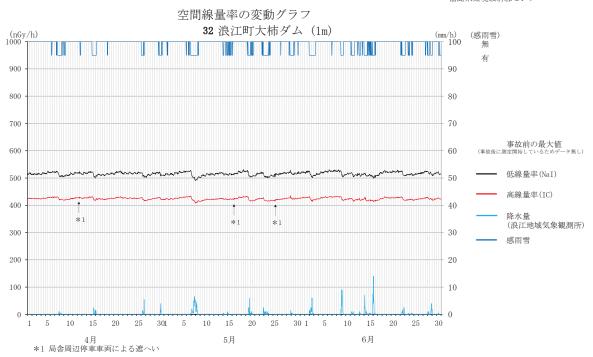
4月



96



### 福島県環境放射線センター

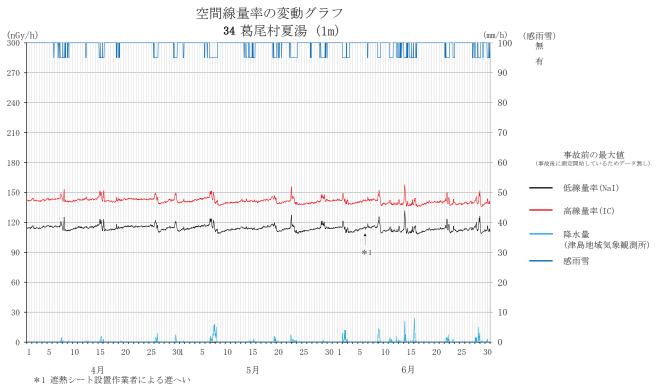


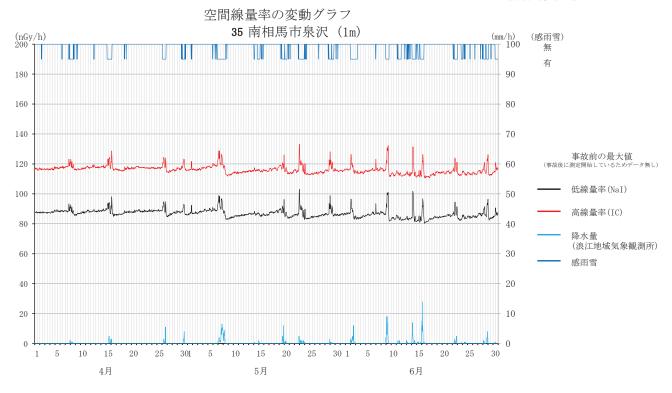
電離箱式検出器 (IC) は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI (TI) シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI (TI) シンチレーション式検出器の形状は2in &×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向(90度から180度)からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI (TI) シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

## 空間線量率の変動グラフ

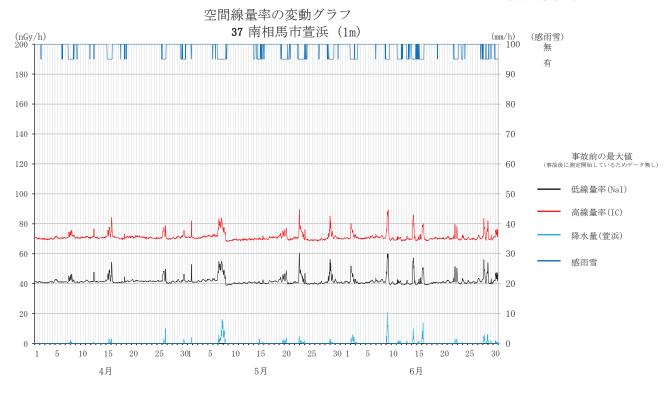


電離箱式検出器(IC)は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI(TI)シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI (TI)シンチレーション式検出器の形状は2in & ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCS-137による地表面方向(90度から180度)からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI(TI)シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

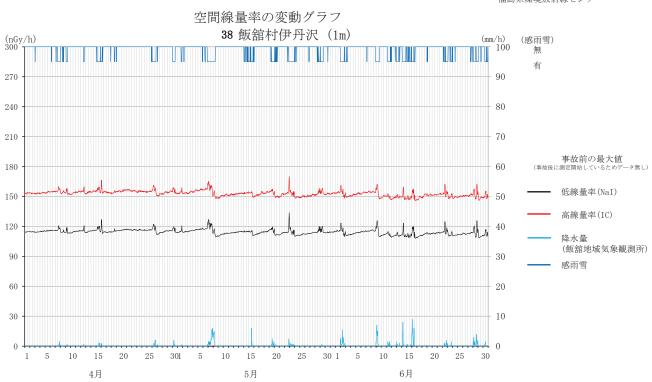


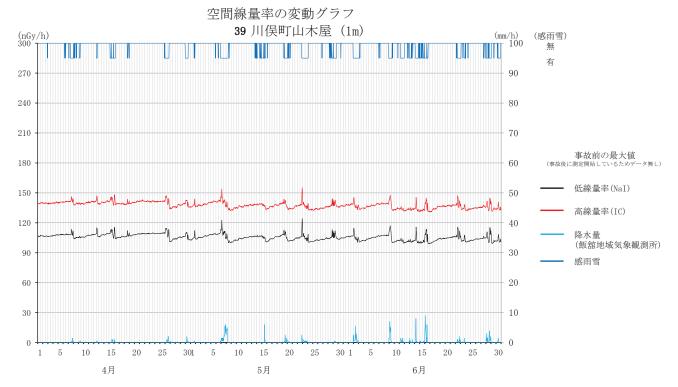


#### 福島県環境放射線センター 空間線量率の変動グラフ 36 南相馬市横川ダム (1m) (nGy/h) 400 (感雨雪) 無 有 事故前の最大値 (事故後に測定開始しているためデ・ 低線量率(NaI) 高線量率(IC) 降水量(萱浜) 感雨雪 30 1 4月 \*1 検出器周辺に滞留した人による遮へい \*2 局舎周辺停車車両による遮へい 5月 6月

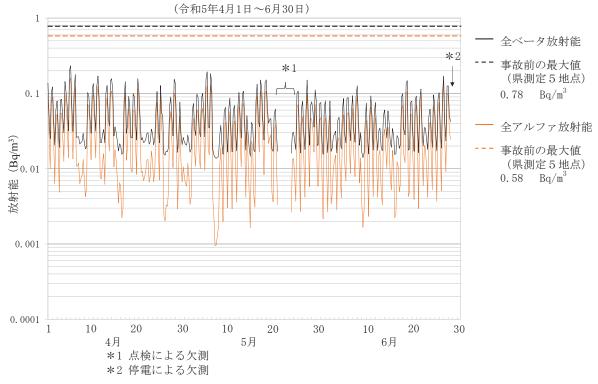








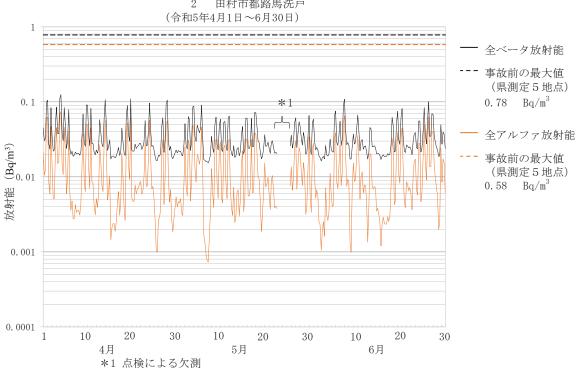
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 1 いわき市小川



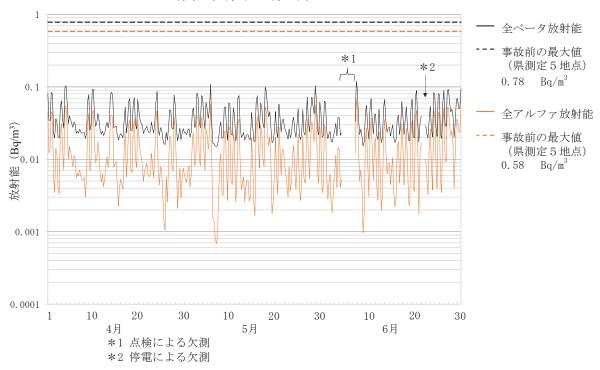
## 福島県環境放射線センター

## 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 2 田村市都路馬洗戸



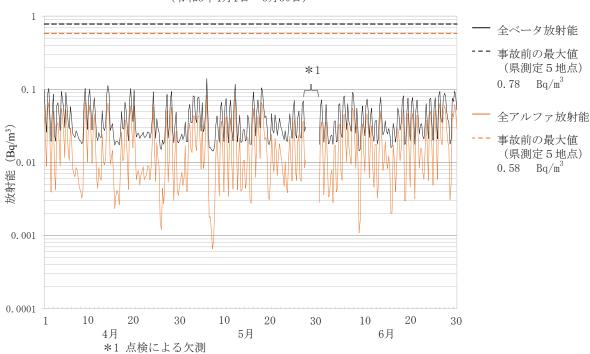
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 3 広野町小滝平 (令和5年4月1日~6月30日)



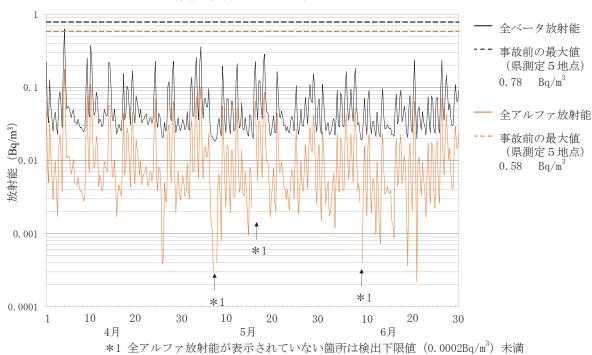
## 福島県環境放射線センター

## 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 4 楢葉町木戸ダム (令和5年4月1日~6月30日)



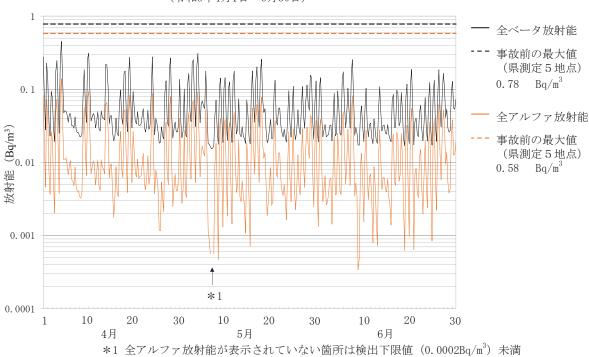
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 5 楢葉町繁岡 (令和5年4月1日~6月30日)



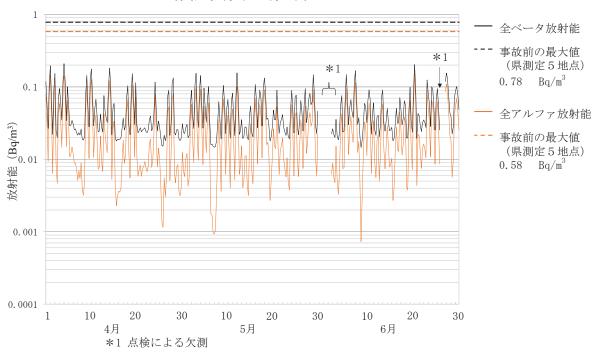
## 福島県環境放射線センター

## 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 6 富岡町富岡 (令和5年4月1日~6月30日)



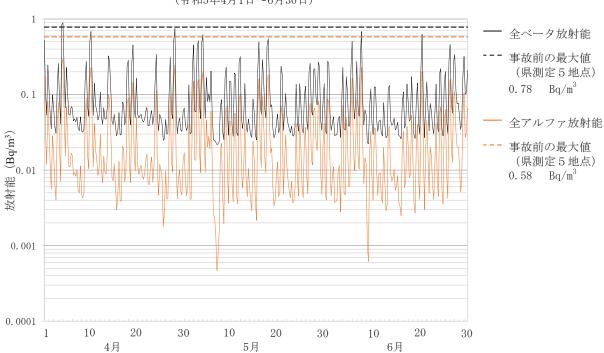
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 7 川内村下川内 (令和5年4月1日~6月30日)



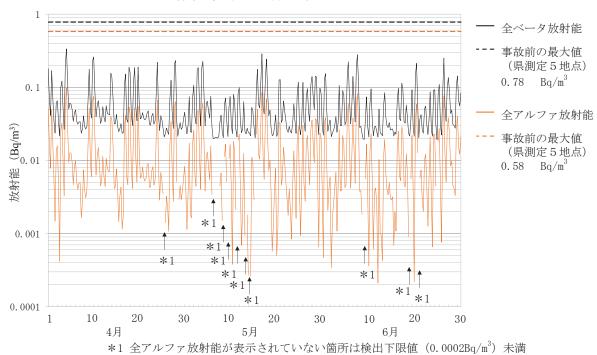
## 福島県環境放射線センター

## 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 8 大熊町大野 (令和5年4月1日~6月30日)



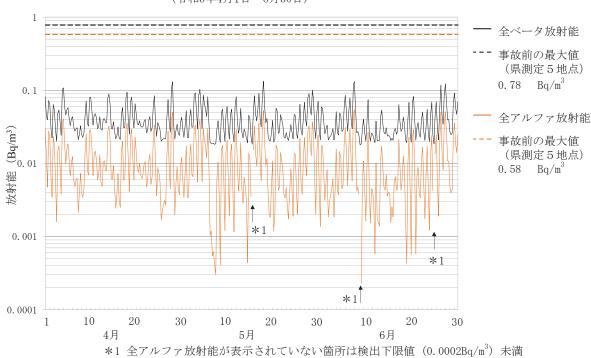
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 9 大熊町夫沢 (令和5年4月1日~6月30日)



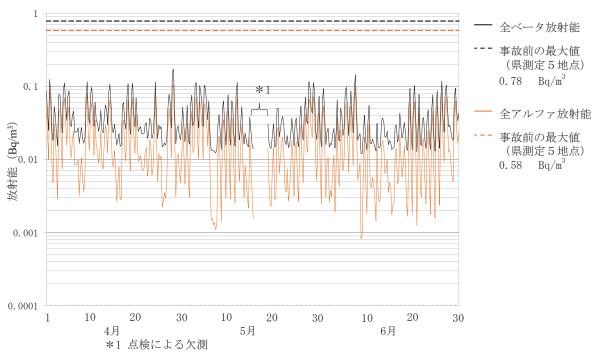
## 福島県環境放射線センター

## 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 10 双葉町郡山 (令和5年4月1日~6月30日)



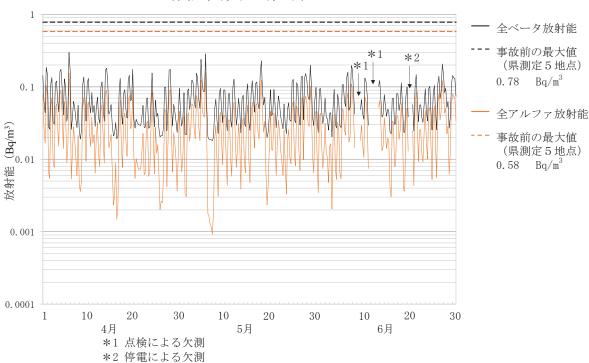
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 11 浪江町幾世橋 (令和5年4月1日~6月30日)



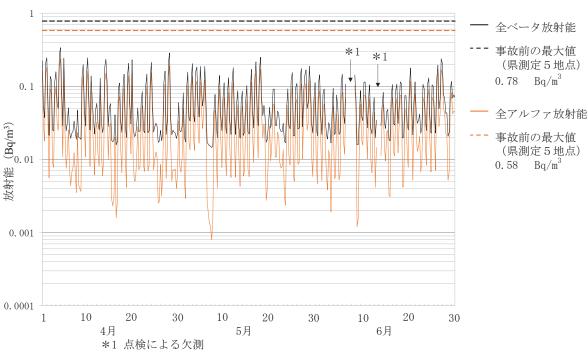
### 福島県環境放射線センター

### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 12 浪江町大柿ダム (令和5年4月1日~6月30日)



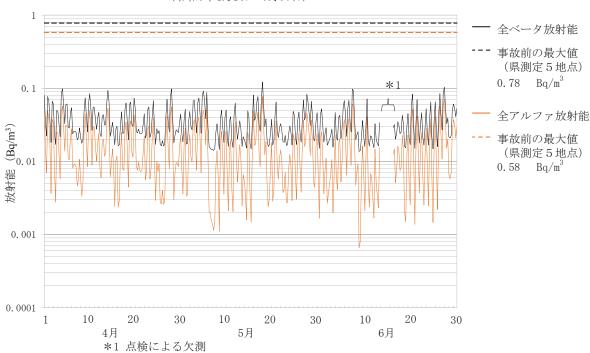
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 13 葛尾村夏湯 (令和5年4月1日~6月30日)



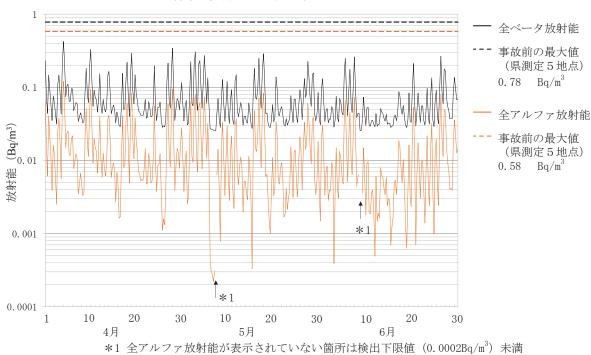
### 福島県環境放射線センター

### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 14 南相馬市泉沢 (令和5年4月1日~6月30日)



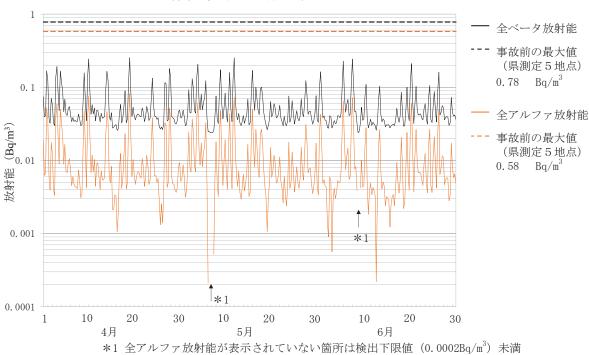
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 15 南相馬市萱浜 (令和5年4月1日~6月30日)



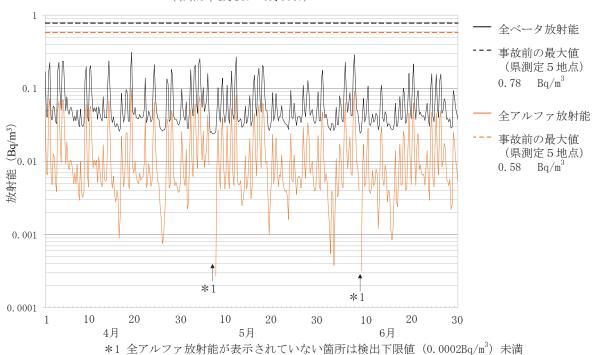
### 福島県環境放射線センター

### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

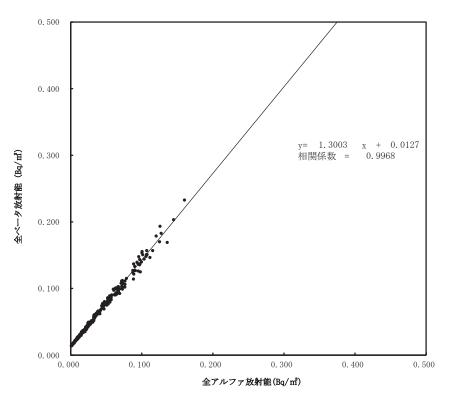
(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 16 飯舘村伊丹沢 (令和5年4月1日~6月30日)



(6時間連続集じん・6時間放置後測定) 17 川俣町山木屋 (令和5年4月1日~6月30日)

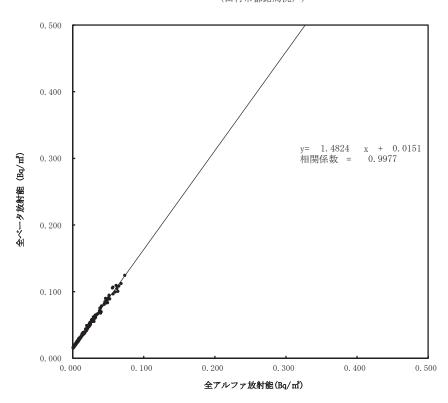


# 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (今和5年4月~6月) (いわき市小川)

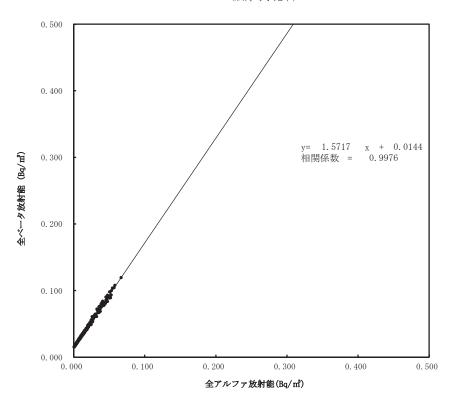


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (今和5年4月~6月)

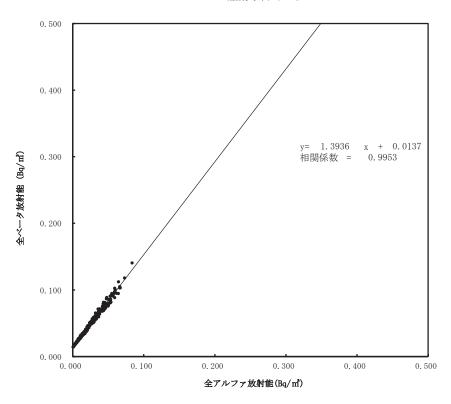
(田村市都路馬洗戸)



## 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (令和5年4月~6月) (広野町小滝平)

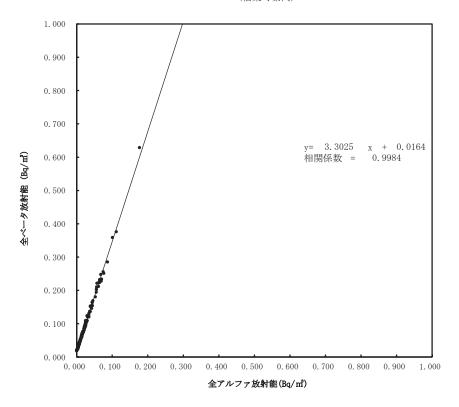


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (令和5年4月~6月) (楢葉町木戸ダム)

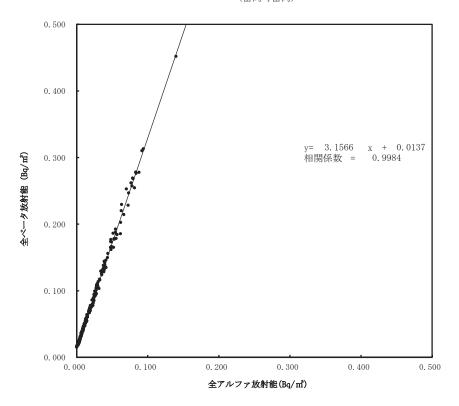


### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和5年4月~6月) (楢葉町繁岡)

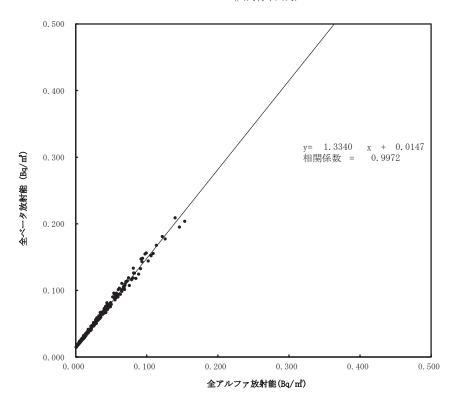


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (令和5年4月~6月) (富岡町富岡)

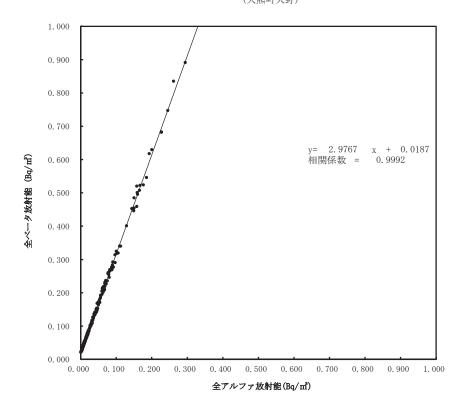


### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後)

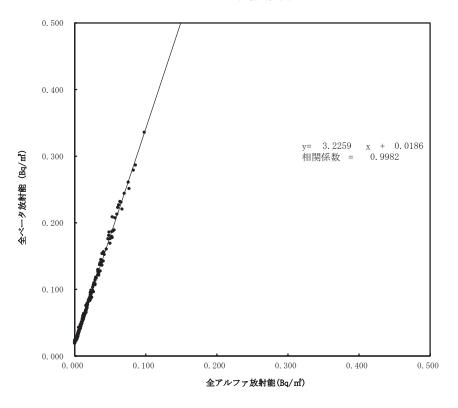
(令和5年4月~6月) (川内村下川内)



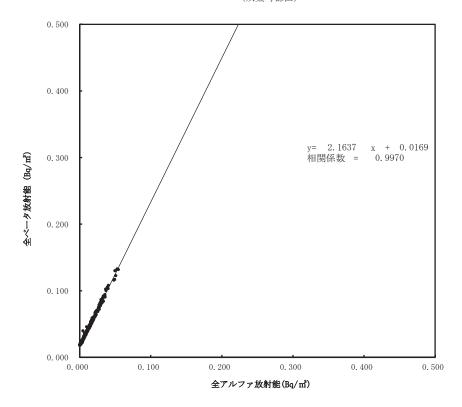
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (令和5年4月~6月) (大熊町大野)



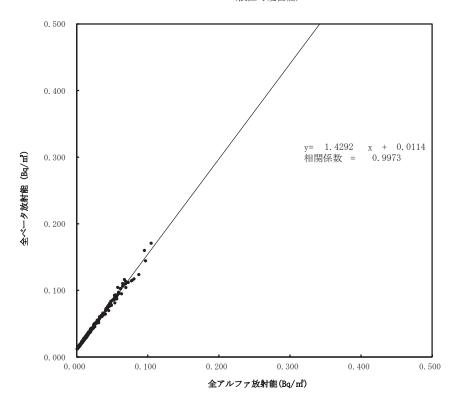
## 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (今和5年4月~6月) (大熊町夫沢)



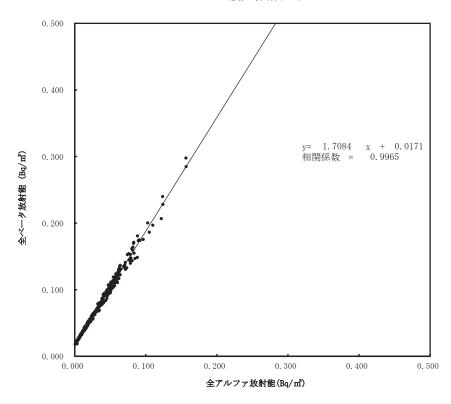
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (今和5年4月~6月) (双葉町郡山)



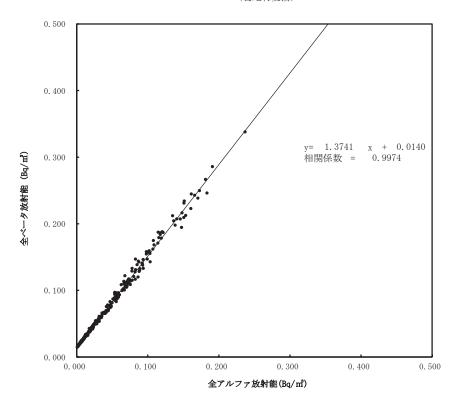
## 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (令和5年4月~6月) (浪江町幾世橋)



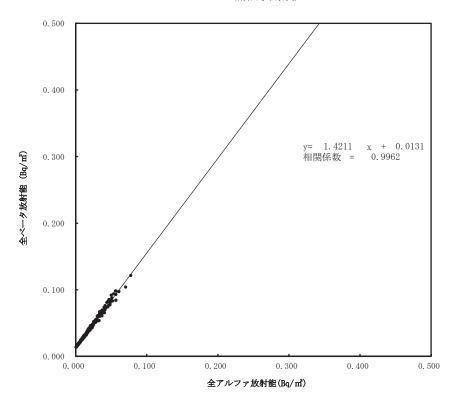
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (令和5年4月~6月) (浪江町大柿ダム)



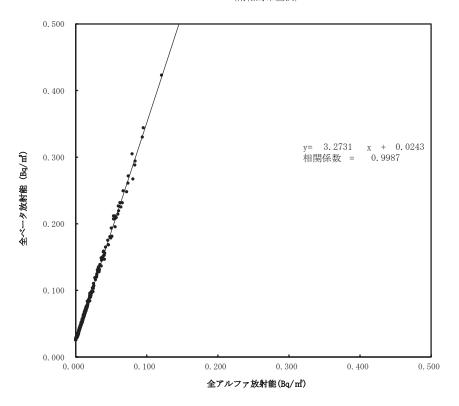
## 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (令和5年4月~6月) (葛尾村夏湯)



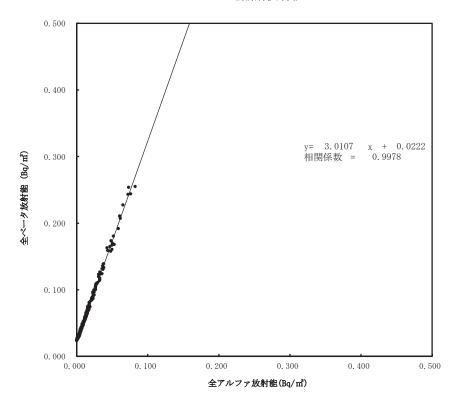
## 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (今和5年4月~6月) (南相馬市泉沢)



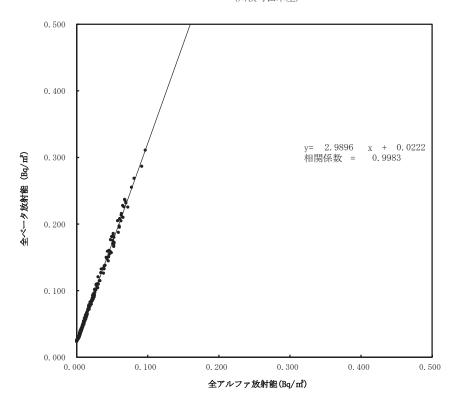
## 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (今和5年4月~6月) (南相馬市萱浜)



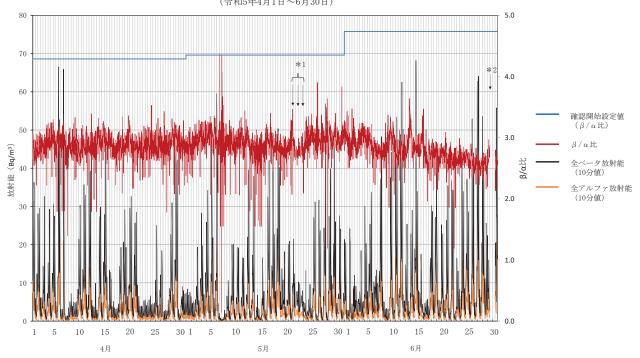
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (今和5年4月~6月) (飯館村伊丹沢)



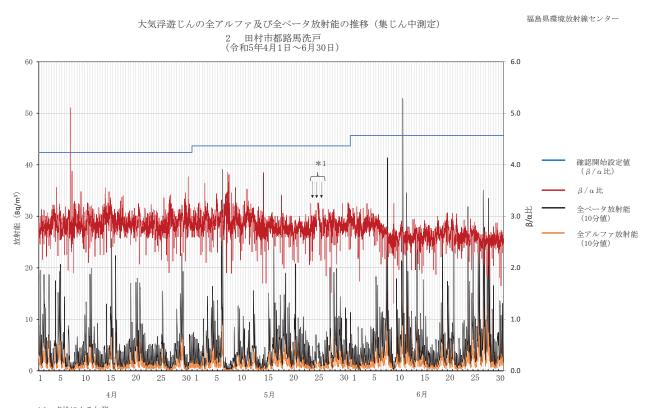
# 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図 (6時間連続集じん・6時間放置後) (今和5年4月~6月) (川俣町山木屋)



### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 1 いわき市小川 (令和5年4月1日~6月30日)

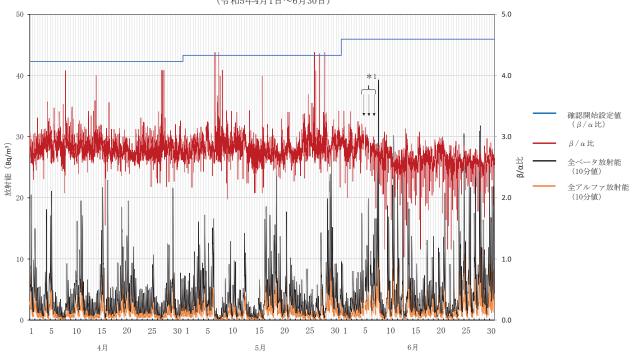


\*1 点検による欠測 \*2 停電による欠測 \*2 停電による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が 高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

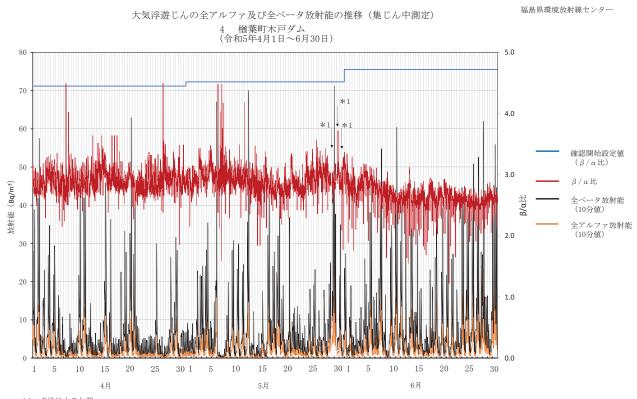


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 3 広野町小滝平 (令和5年4月1日~6月30日)

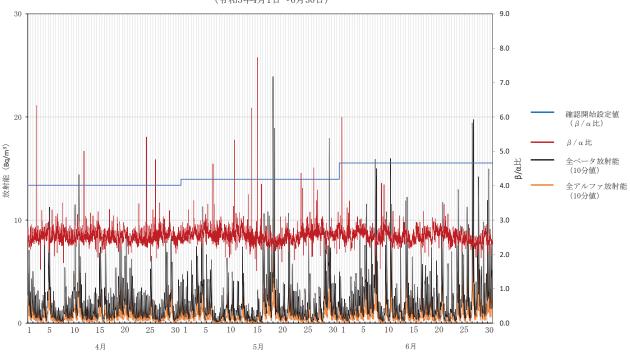


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

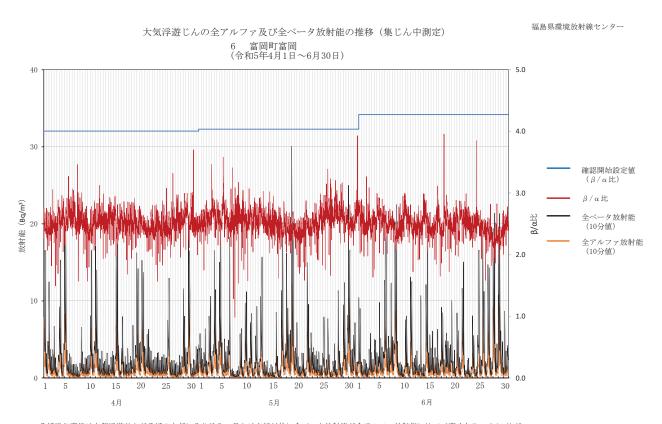


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

#### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 5 楢葉町繁岡 (令和5年4月1日~6月30日)

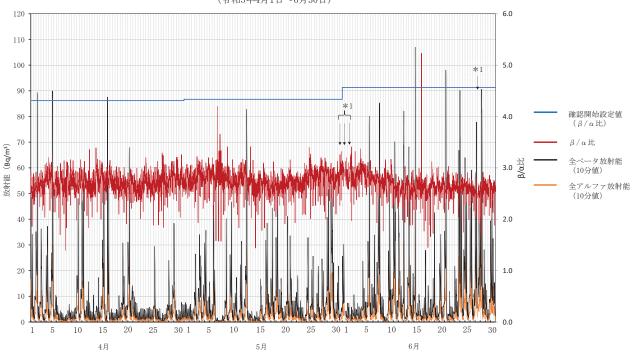


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

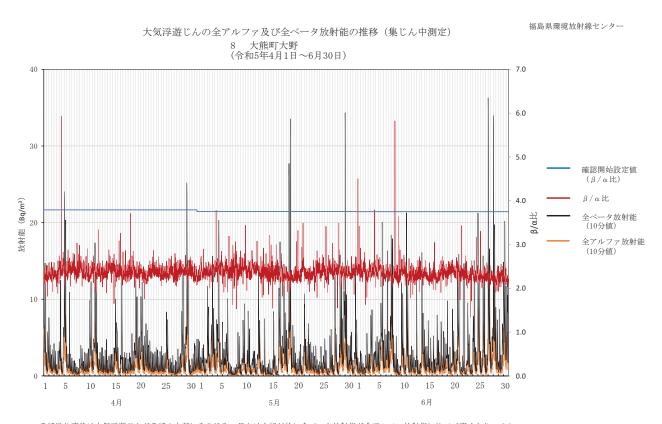


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

#### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 7 川内村下川内 (令和5年4月1日~6月30日)

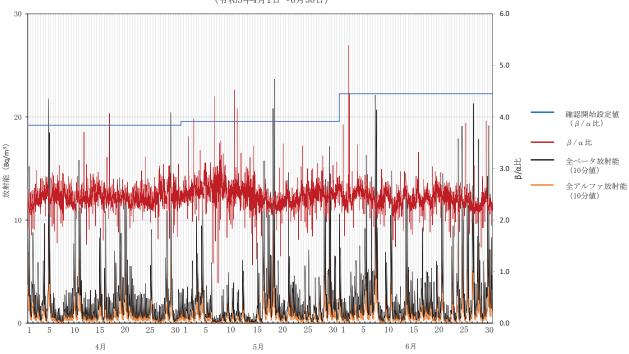


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

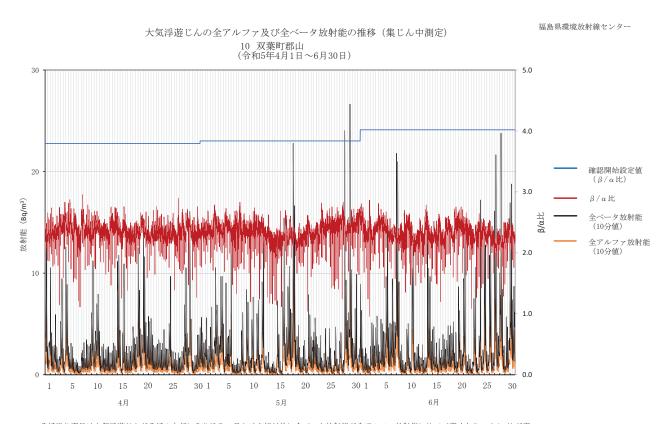


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 9 大熊町夫沢 (令和5年4月1日~6月30日)

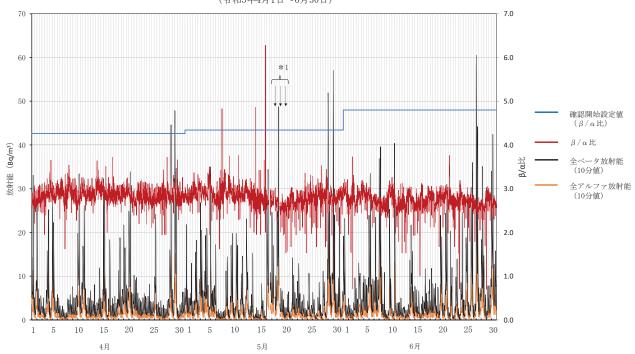


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

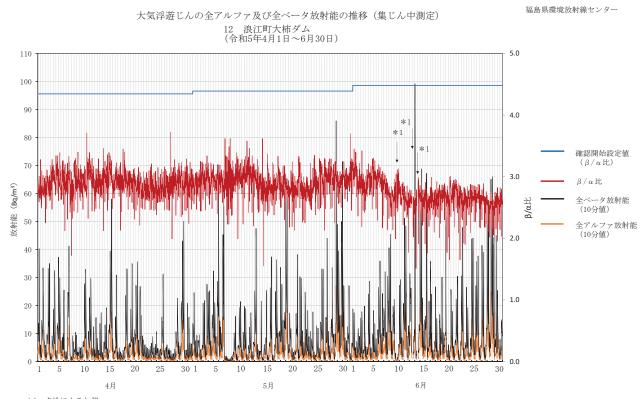


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 11 浪江町幾世橋 (令和5年4月1日~6月30日)

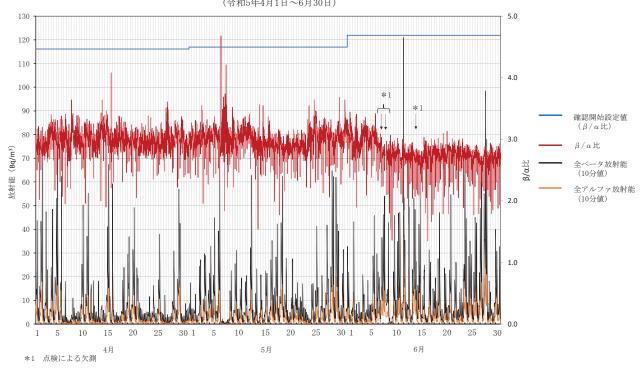


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

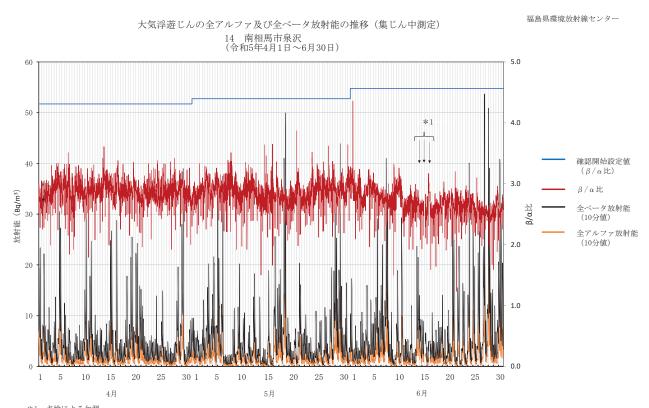


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 13 葛尾村夏湯 (令和5年4月1日~6月30日)

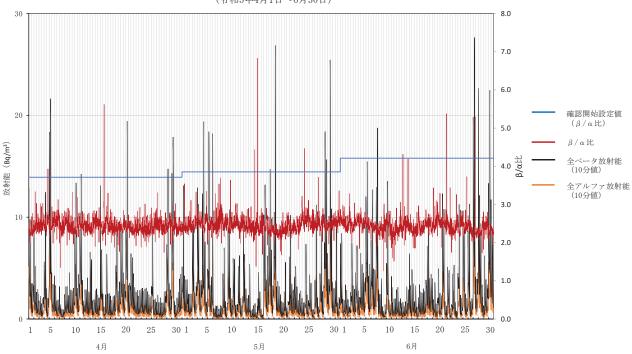


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ペータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

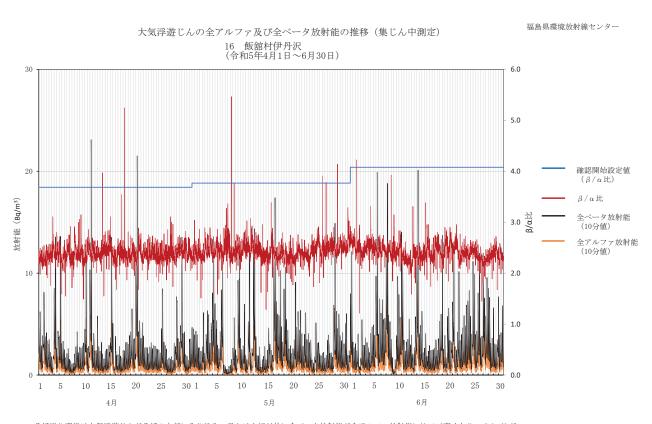


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

#### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 15 南相馬市萱浜 (令和5年4月1日~6月30日)

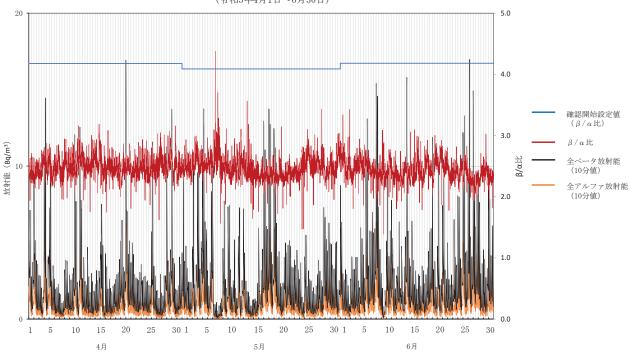


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

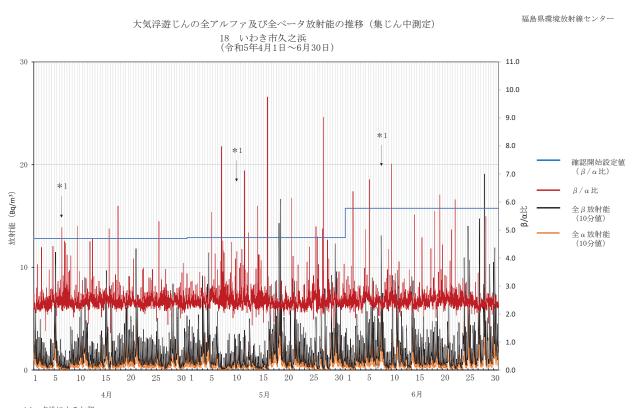


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 17 川俣町山木屋 (令和5年4月1日~6月30日)

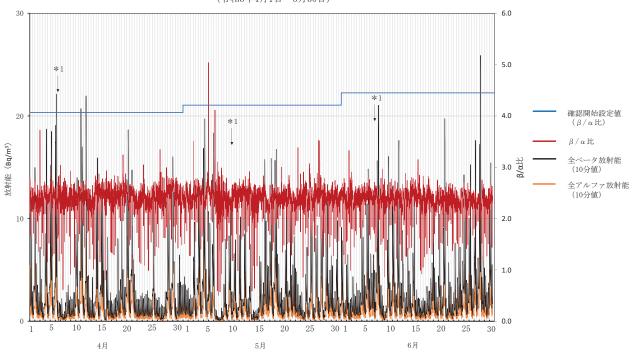


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

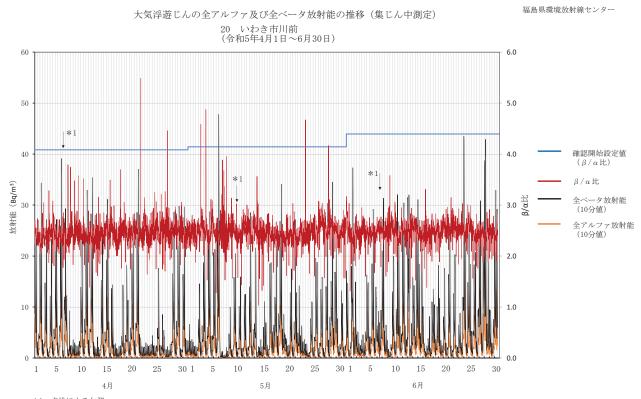


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

#### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 19 いわき市下桶売 (令和5年4月1日~6月30日)

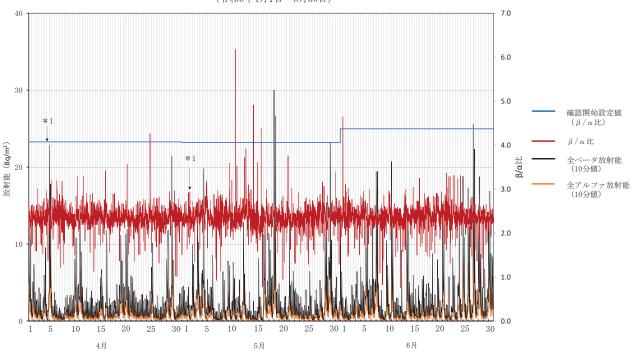


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

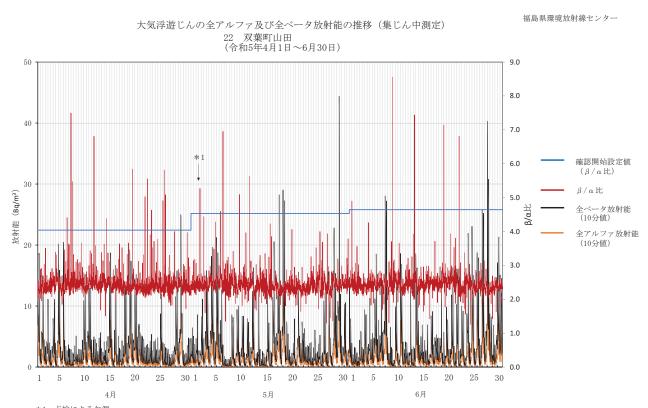


\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

#### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 21 大熊町向畑 (令和5年4月1日~6月30日)



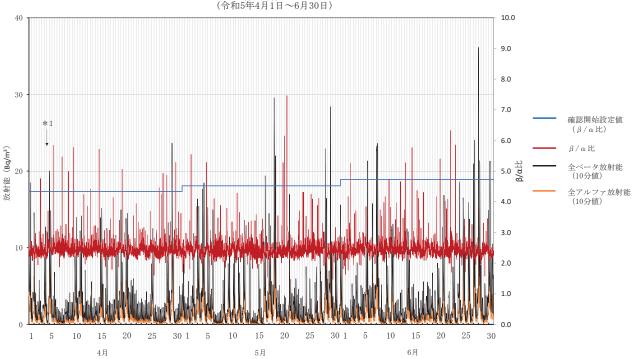
\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。



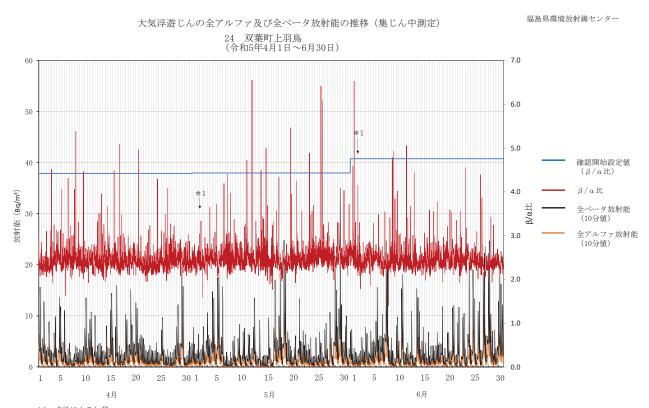
\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。



### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 23 双葉町新山 (令和5年4月1日~6月30日)



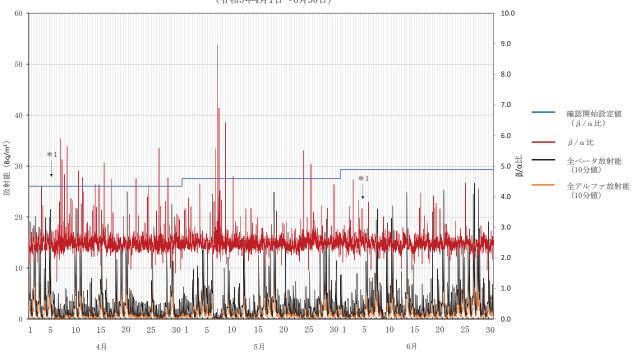
\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。



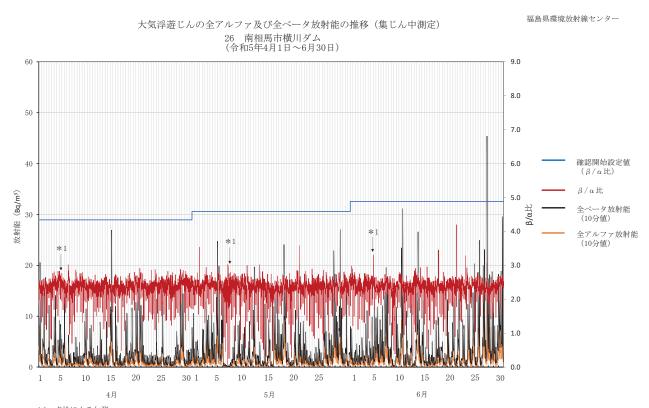
\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。



### 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移(集じん中測定) 25 浪江町南津島 (令和5年4月1日~6月30日)



\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。



\*1 点検による欠測 ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、 $\beta/\alpha$ 比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことにより  $\beta/\alpha$ 比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

